

第六十二回
帝國議會
貴族院

關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和七年六月十三日(月曜日)午前十時三十七分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 只今カラ委員

會ヲ開會イタシマス、昨日ニ引續キ、御質
疑ヲ願ヒマス

○森平兵衛君 商工大臣以外ニ商工當局ノ
御方ハ見エテ居リマスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 見エテ居リマ
ス

○森平兵衛君 ソレデハ先キニ商工大臣ニ
一ツ御出デニナリマスカラ御尋ヲ致シタイ
ト思ヒマス、今日此「製鐵業ト化學工業」ト

云フ印刷物ヲ載イタノデアリマスルガ、此
文書ノ中ニモ製鐵業ト化學工業トガ密接ナ

關係ヲ有スルコトハ今更贅言ヲ要シナイ、
國家ノ産業上、國防上如何ニ重大性ヲ有ス

ルカト云フコトモ、諷テ居ル譯デアリマス
ルガ、昨日私カラ八幡製鐵所ニ對シテ副産

物ノ質問ヲ致シマシテ「ベンゾール」其他ノ
化學原料ニナルト云フコトモ明瞭ニ了解ヲ

シタノデアリマスルガ、是迄八幡製鐵所ニ
於テハ民間各方面ニ配給ナサツテ居リマシ

タ合成化學ノ原料又ハ染料工業ノ原料ハ昨
日衆議院デ御説明ニナリマシタ如ク政府ニ

於テ産業合理化或ハ製鐵獎勵法ノ立場カラ

近キ將來ニ於テ之ヲ合同ナサル御意思ノヤ
ウニ承ルノデアリマス、故ニ是ガ成立シタ

曉ニ於テ其形式ハドウ云フコトニナリマス
カ、全部政府ガ管理ヲ爲サル、或ハ半官半

民ノ會社ニナリマスカ分リマセヌガ、何レ
ニ致シマシテモ我國トシテハ、化學工業ヲ

發達サセヌケレバナラヌト云フ立場ニアル
コトハ申上ゲル迄モナイノデアリマスカラ、

此化學工業ヲ發達サス爲ノ既設ノ化學工業
會社新設ノ化學工業會社ニ對スル、其原料

ノ供給ト云フコトヲ餘程御考慮ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマスガ、是ガ獨占事業ニ萬

一ナリマシテ、其原料ガ十分配給ヲ受ケラ
レナイト云フコトニナレバ、化學工業ノ進

步發達ト云フモノヲ非常ニ阻害スルト私ハ
思フノデアリマスカラ、斯ウ云フ場合ニ於

テモ商工大臣トシテハサウ云フ憂ハナイ、
杞憂ハナイト云フコトヲ、私ハ御答ヲ承ツテ

置キタイト思フノデアリマス、御意見ノア
ル所ヲ共ニ承ルコトヲ得マスレバ仕合デア

リマス
○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今森君
ノ御尋ト同様ノ意味ニ於テ昨日稻畑委員カ

ラモ御尋ガアリマシタ製鐵業合同ノ結果ト

致シマシテ化學工業ニドウ云フ風ナ關係ヲ
與フルカト云フコトハ、此際詳カニ申上ゲル

コトハ出來ナイト思フノデアリマスルケレ
ドモ、只今原料工業ト加工工業トノ關係ニ

於テノ御心配ニ對シマシテハ、昨日斯波男
爵ノ御尋ニ對シマシテ御答ヘ申上ゲマシタ

通り、出來得ル限り原料工業ト加工工業トノ
關係ニ付キマシテハ相互、共榮共存ノ利害

關係ヲ重視イタシマシテ、出來得ル限り原
料工業ノ關係ニ件ウテ加工工業ガ其不利益

ヲ蒙ルガ如キハ工業政策ノ原則トシテ面白
クナイコトト思ヒマス、昨日斯波男爵ニモ

其御尋ニ對シマシテモ右様ノ意味ヲ以テ御
答ヘ申上ゲマシタル通り原料工業ノ關係カ

ラ、延イテ加工工業ガ其煩ヲ受クルト云フ
ガ如キコトハ工業政策ノ上カラ出來得ル限

リ避ケナケレバナラヌト云フコトノ原理ニ
於テハ深ク之ヲ尊重イタシマス

○森平兵衛君 商工大臣ノ御意思ノアル所
ヲ能ク了解イタシマシタ、ドウカ此コトニ

付テハ十分御考慮ヲ拂ハレムコトヲ希望イ
タシマス、續イテ昨日政府ノ方ヨリ鉄鐵十

ヲ載イタノデアリマス、此書類カラ見マス

ルト、此印度鉄鐵ノ輸入ガ若シモ全部防遏
出來レバ百五十万人ノ失業救済ガ出來ルト

云フヤウニ、御説明ニナツテ居リマスルガ、
之ヲ反對側ノ陳情ヲ受取りマシタ書類カラ

參リマス、矢張り約百四十万人程、是ハ
印度鉄鐵ガ入ラヌト云フコトデハナイ、關

稅ノ増徴ニ件ウテ害ヲ受ルモノト云フコト
ノ陳情ヲ私ハ受取タノデアリマス、是ハ政

府ニ於テモ既ニ陳情ハ御聽取ニナツタラウト
思ヒマスガ、製鐵業ノ中、鉄鐵ヲ買入レテ

製鐵原料トスルモノノ從業員ガ約一万二千
人、機械其他鐵製品ノ製作工業ニ從事スルノ

ガ約四萬三千、ソレカラ土木建築業ニ從事ス
ル者ガ百三十三万人バカリ、斯ウ云フノガ

アリマス、之ヲ寄セマスルト約百四十万人
程ノ人數ニナルノデアリマスルガ、是モ必

ズ害ヲ受クルモノデアル、關稅ガ上ツタカラ
ト云ツテ全部失業シテ了フモノデナイ、斯ウ

考ヘルノデアリマス、從テ政府ノ御推定ニ
ナリマシタモノモ十五萬噸ガ全部輸入防遏

ニナツタ時分ニハ是デ救済出來ルト云フ譯
デアル、是ガ半分ニナルカ、三分ノ一ニナル

カト云フコトハ關稅ヲ上ゲテ見ナケレバ分

ラヌ結果デアリマスカラ、斯ウ云フ議論ヲ致シマシタナレバ相殺イタシマシテ別段何等此失業救済ニナルト云フ意味ニハ私ハナラヌト思フノデアル、ソレデ或方ノ議論カラ參リマスルト關稅増徴ハ失業救済セズト云フ結論ニ私ハ到達シヤセヌカト思フノデアリマス、是ニ付テ商工省ノ御意見ヲ承リマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答へ申上ゲマス、只今大臣カラ御答辯ニナリマシタ通り

鉄鐵ノ關稅ヲ引上ゲマシテモ、其主タル目的ハ印度鉄ノ輸入防止ニアルノデアリマシテ、市價ノ値上リト云フコトハ現在ノ鐵鋼界ノ狀況竝ニ消費者ノ狀態カラ致シマシテ到底防止ヲ來シ難イ、非常ニ輕微デハナイカ、斯ノ如ク致シマスレバ私共ノ方デモ消費者ニ及ボス影響ニ付テハ色々慎重ニ考慮イタシテ見マシタノデアリマスガ、大シタ値上リヲ來サヌ、斯ウ云フ結論ニナツテ居リマシテ、例ヘバ普通日常民衆ノ生活必需品デアルトカ、鍋トカ釜トカ云フモノニ付テ考ヘテ見マシテモマア左程値上リハナイト思ヒマスガ、假ニ關稅ヲ四圓掛ケテ、其結果二圓ダケ市價ガ上ツタト斯ウ云フ風ニ假定イタシマシテモ、四十錢位ノ釜ガ四厘幾ラ位ノ値上リニナツテ、百分ノ一ト少シノ値上リ

ニナリハシナイカト思ヒマス、斯ウ云フ風ナコトデアリマス、殊ニ精密ナル機械製品ニナリマス御承知ノ通り單價ガ非常ニ高ウアリマスノデ、其値上リノ程度ハ段々低クナリマシテ、例ヘバ變壓器ノ如キハ萬分臺ニシカナラナイ、又發電機ノ如キモ然リデゴザイマス、「モーター」ノ如キモ千分ノ一カラ千分ノ一三、其程度ノ影響シカナイヤウナ數字ニ相成リマスノデ、日本ノ産業ニ廣ク用キラレルノデハゴザイマスルガ、影響ノ程度カラ申シマス極メテ輕微ナヤウニ思ハレルノデゴザイマシテ、大シタコトデナイ、ソレカラ昨日チヨット御説明申上ゲマシタヤウニ鉄鐵ノ値ハ去年邊リカラ特ニ急激ナ下落ヲ致シテ居リマシテ、昨年ノ平均値段ガ約二十七圓デゴザイマスガ、只今デハ二十五六圓ニ賣ラレテ居ル、斯ウ云フ狀態デゴザイマスカラ、先ヅ昨年或ハ一昨年ノ下半年ノ値ニナリマシテモ從前ニ比べレバ遙ニ安イ値段デゴザイマス、ソレカラ世界的ノ水準カラ見マシテモ日本ノ鉄鐵ノ國內ノ相場ガ非常ニ安イノデゴザイマドモ、比較ヲ申上ゲマス、是ハ爲替相場ノ變動ノナイ時代ノ方ガ、却テ比較ニハ便宜カト存ジマシテ、去年ノ九月十日ノ數字

ヲ取りマシテ 邦貨ニ換算シタモノデスガ是デ見ルト印度ノ國內市價ハ四十七圓五十三錢亞米利加ガ三十七圓二十三錢、英吉利ガ二十八圓七十九錢、獨逸ガ三十八圓五十二錢、其當時ニ於テ日本ノ是ハ實際ノ相場デナクテ、寧ロ「ノミナル」ノ相場ト思ヒマシマス、ソレガ二十七圓トナツテ居リマシテ、歐米先進國ハ勿論日本ニ對シテ非常ナ脅威ヲ與ヘテ居ル印度ノ國內相場ニ比較シテモ、遙ニ安イ相場ニナツテ居リマス、從テ非常ニ値上リガアツテモ、國際的ノ水準ニ達スルカドウカト云フ程度デアリマシテ、國際的ノ競争ヲ減殺セズト云フヤウニ、考ヘラレルノデヤナイカト考ヘテ居リマス、又此内地市場ニ及ボス影響モ只今申上ゲタ通り極メテ輕微デゴザイマスノデ、是ガ爲ニ失業者ヲ生ズルト云フ程ノ打撃ハ無論與ヘナイ、斯ウ云フ風ニ信ジテ居リマス、又無論鐵ハ原料品ノ加工工業デゴザイマスカラ、之ヲ原料トスル製造工業ガ衰ヘルト云フコトハ、間接ニ製鐵業ヲ衰ヘシムル所以デゴザイマスカラ、無論共存共榮ノ理想ニ依ツテ行カナクチャナラヌノデアリマシテ、消費者ニ惡影響ヲ及ボスヤウナコトハ、是ハ努メテ避ケナクチャナラヌト云フヤウナコトニ付キマシテハ、十分ニ考ヘテ此稅ヲ盛ツタ次第デ

ゴザイマス、寧ロ私共ノ立場カラ申上ゲマスレバ假ニ此印度鉄ノ壓迫ノ爲ニ日本ノ製鐵業ガ衰ヘテ、日本ノ市場ガ印度鉄ニ支配サレルヤウナコトニナリマシテ、又從前ノヤウナ高イ値デ印度ノ鉄鐵ガ輸入サレルト云フコトニナレバ、却テ鐵ノ消費工業ヲ衰微セシムル處ガ多分ニアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○森平兵衛君 只今政府委員ノ御答辯ハ印度鉄鐵ノ輸入ヲ防止セヌケレバ、日本ノ製鐵業ガ成立タヌヤウニナルカラト云フヤウナ御話デアリマスガ、私等ハサウ云フ見解ヲ持ツテ居ラスノデアリマスカラ、是ハ見解ノ相違、又失業者ヲ救済セズ、政府デハ失業者ヲ救済スル、是モ矢張り議論ノ岐レル所デアリマスカラ、其質問ハ是ニ於テ中止ヲ致シマス、私ハ茲デ政府ニモウ一點御尋ネシタイノハ、珓瑯鐵器トカ、或ハ小サイ鐵工業ノ如キハ、御承知ノ通り只今東南洋ノ方ヘ向ケテ輸出ヲシテ居ルノデアリマシマスガ、此輸出ニ付テハ相當原料ニ於テ獎勵金トカ、又ハ大キイモノニナレバ戻稅ヲ貰テ居ル譯デアリマスガ、斯ノ如ク政府ニ於テ多大ノ犠牲ヲ御拂ヒニナツテ居ル此鐵製品ガ、南洋ノ市場ニ於テドウ云フ傾向デアルト云フコトヲ取調ベテ見マス

ト、獨逸品ト非常ト競争ニナッテ居リマシテ、殆ド値段ト云フモノハ市價ガ非常ニ混亂ヲシテ居ルト申シテモ宜イノデアリマス、尙ホ獨逸政府ハ輸出品ニ付テ國家トシテ非常ニ獎勵ヲシテ居ル、日本以上ニ輸出ノ獎勵ヲ圖ッテ、國內産業ノ振興ニ努メテ居ルノデアリマスカラ、連モ日本ノ珓瑯鐵器、其他鐵製品ガ南洋ニ於テ競争シテ居ル現狀ヲ見ルト、殆ド原價若クハ原價以下ニ切下ゲテ今日ノ競争ヲシテ賣捌イテ居ルヤウナ實例ガアリマス、是ハ事實デアリマス、サウ云フコトニ拘ラズ、若シモ茲ニ銑鐵又ハ鋼材ニ多少デモ値上リヲ來スト云フコトニナレバ、輸出貿易ニ非常ナ大關係ヲ來シハセヌカ、國內ノ消費ニスレバ、外ノモノノ釣合上、上ッテ參リマスレバ國民ニ消費稅ガ掛カッタヤウナ譯デアルカラ已ムヲ得スト致シマシテモ、輸出ノ方ガ非常ニ阻害ヲサレルノミナラズ、中小ノ鐵製品ノ工業者ト云フモノハ殆ド家庭工業ニ類シタヤウナモノデ、矢張り二十人、三十人、多イ所デハ百人位ノ労働者ヲ使ッテ居ルノデアリマスカラ、是ガ當業者ニ聞イテ見マスルト、私ハ商賣ハ止メタイノデアアル、一時中止ヲスル方ガ餘程樂ナンダケレドモ、若シモ之ヲ止メルト云フコトニナレバ直グニ失業者ヲ

出ス、失業者ドコロデナイ、労働爭議ガ起ル、労働爭議ト云フモノハ多大ナ犠牲ヲ拂フノデアリマシテ、中小ノ工業ト云フモノハ一度労働爭議ガ起キマスルト殆ドモウ一遍復活ノ出來ナイ程ノ打撃ヲ被ムルノデアリマス、是ハモウ政府ニ於テ御承知ノコトト思ヒマスルガ、家族其他ニ於テ非常ニ脅威ヲ受ケル、ソレガ爲ニ或ル工場ノ如キハ其處ノ事務ガ病氣ニナッテ死シタ云フモノモ相當ニアルヤウナ譯デアリマシテ、其労働爭議ニ遭ヘバモウ一遍之ヲヤルト云フコトガ出來スト云フコトデ、今ノ所デハ利益ノ如何ヲ顧ミズシテ、労働者ヲ使ッテ足踏ヲシテ居ル狀態デアリマス、是ガ僅バカリデモ値上リガアルト云フコトハ、私ハ非常ナ關係ヲ及ボスモノデナイカと思フノデアリマスガ、政府ハ僅バカリデアルカラ大シテ阻害モスマイト云フ御見解デアリマサガ、是ニ付テ何カモウ少シク獎勵金ト云フヤウナモノヲ増シテ緩和スルト云フヤウナ御意思ハナイモノデアルカ、或ハサウ云フコトニ付テハ已ムヲ得ヌ、輸出ヲ阻害シテモ構ハスト云フ御意見デゴザイマスル其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答へ申上ゲマス、只今申上ゲマシタ通り私政府當局ト致シマシテ、無論鐵加工業ノ隆盛ト云フコトハ非常ニ深ク念頭ニ置キマシテ、サウシテ而モ此内外ノ情勢ヲ參酌イタシマシテ、矢張り銑鐵ニ對スル保護モ是ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ御提案申上ゲマシタヤウナ次第デゴザイマシテ、御話ノ輸出品、殊ニ鑄鐵管等ニ付キマシテハ鐵ノ使用量モ多量ニ上ルコトデゴザイマスシ、其輸出ガ段々ニ増進シテ參ッテ居ルト云フ事情モ十分ニ承知イタシテ居リマス、併シ若シ内地ノ市價ガ多少デモ騰貴イタシマスストシテ、假ニ現在ヨリモ原料ノ値段ガ高クナルト云フヤウナコトデゴザイマシテモ、此鑄鐵管ニ付キマシテハ御承知ノ通り戻稅ノ制度モゴザイマスシ、又珓瑯鐵器ニ付キマシテモ原料ニ對スル課稅ノ拂戻ガ出來ルト云フヤウナ仕組ニナッテ居リマスノデ、多少ノ手數ハ是ハ已ムヲ得ヌノデゴザイマスガ、原料品ニ付テノ値上リガ此輸出貿易ヲ阻害スルト云フヤウナコトモナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○森平兵衛君 政府ノ御立場カラ見レバ輸出貿易ヲ大シテ阻害ヲスルコトモナカラウ、又戻稅ノ方法モアルカラト云フイツモ御話デアリマスガ、民間ノ事業ヲヤッテ居リマスモノハ、戻稅トカ何トカ云フモノハ實際行ヘルモノデハナイノデアリマス、殊ニ南洋邊リデアレバ支那或ハ近海ト違ヒマシテ、サウ度々交通ノ便ガアル譯デモアリマセズ、月ニ二度トカ三度トカ云フヤウナコトデアリマシテ、至急ノ註文デアリマスレバ戻稅トカ何トカ云フ手續ヲシテ居ル邊ガナイ、ソレヨリハ早く賣ッテ金ニスル方ガ宜イノデアリマス、實際ニ於テ戻稅ト云フヤウナコトハ、大工業ナラ兎ニ角、中小工業デアレバ行ヒ得ルコトガムツカシイ、是ハ全然ナイトハ申シマセヌガ……ト云ッテモ宜イト私ハ思ヒマス、續イテ私ハ數字ニ付テ御尋ヲシタイノデアリマスガ、此輸出品ニ對シテ政府ハ昭和五年六年ニ對シマシテハ、ドレダケノ銑鐵若クハ鋼材ニ付テ戻稅ヲ爲シテ御出デニナルカ、此數字ヲ承リタイ、ソレカラ此獎勵金ガ、是モ年度ニ依ッテ、ドレダケ御支出ニナッテ居ルカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(中島鐵平君) 只今ノ森サンノ輸出品ニ對シテ、銑鐵ニ關シテハ昭和五年六年ニドレダケノ戻稅ヲヤッテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、大藏當局ト致シマシテ御參考ニ申上ゲマス、昭和五年度ハチョット數字ガアリマセヌノデ分リマセヌ、直グ是ハ分リマスガ、昭和六年ヲ申上ゲマス、

銑鐵ノ方ハ鑄鐵管ヲ製造イタシマシタ原料
品ニ對シマシテ約一万八千圓バカリノ税金
ヲ拂戻シテ居リマス、ソレカラ銑鐵ノ瑣瑯
鐵器ノ原料ニシマスル金屬トシテノ鐵板ノ
方ハ約六万三千圓バカリヲ拂戻シ致シテ居
リマス、五年ノ方ハ後程御調ベシテ御答ヘ
致シタイト思ヒマス

○森平兵衛君 獎勵金ハ……製鐵ノ獎勵金
ハドウ云フモノデセウカ

○政府委員(福田庸雄君) 獎勵金ハ御承知
ノ通り、銑鐵ト鋼材ト兩方ニ分レテ居リマ
シテ、合セテ豫算ガ約百十七萬圓ニナッテ居
リマス、サウシテ昨年ノ實績ニ付テ申シマ
スト、銑鐵ニ付テ六十……正確ナ數字ハチ
ヨット持合セマセヌガ、六十萬圓位出テ居ル
ノデヤナイカト存ジマス、サウシテ是ハ豫
算ガ不足シテ居リマシテ、實際ハ尙ホ甚ダ
不足ヲ告ゲテ居リマス、御承知ノ如ク此追
加豫算ニ計上イタシマシテ銑鐵ダケデハゴ
ザイマセヌ、鋼材ノ獎勵金ト共ニ四十四萬
圓程増額ヲ致シタイ、斯ウ云フコトニ致シ
テ居リマス

○森平兵衛君 續イテ數字ノコトヲ御尋ネ
シマスガ、昨日印度銑輸入値段調ト云フ印
刷物ヲ貰ッタノデアリマスルガ、是ハ昨日政
府委員ノ説明デハ本年ノ三月マデデアル、

百十五「ルビー」ト云フモノノ換算ヲシタモ
ノデアルト云フコトデアリマス、是ガ四月
五月六月モノガ御分リニナッテ居リマスレ
バ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 チョットソレニ關聯
シテ居リマスノデ、私カラ御尋ネ致シマス
カラ一緒ニ御答ヲ願ヒマス、金禁止ニナッ
前後ノ註文ニ依ッテ大變違フノデハナイカ
ト思ヒマスガ、其前後ノ註文ノ關係ハドウ
ナッテ居リマスカ、分ッテ居リマスレバ伺ヒ
タイト思ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 五月ノ統計ハ未
ダ貿易表ガ出來マセヌノデ、チョット不明デ
アリマスガ、四月ハ二十五圓八錢、輸入沖
著値段ガ二十五圓八錢、斯ウ云フ數字ニナッ
テ居リマス、ソレカラ併セテ申上ゲマスガ、
爲替相場ノ關係ハ、御承知ノ通り此一月カ
ラ三月マデハ大體ニ於テ百二十六「ルビー」
程度デアッタノデアリマスガ、最近ニ於テハ
百十五、百十六ト云フヤウナ數字ニナッテ居
リマスノデ、斯ノ如キ數字カラ致シマシテ
モ印度銑ノ内地市場著値ハ相當ニ低イモノ
デアルト云フコトヲ御示シ致シマス爲ニ、
御手許ニ之ヲ差上ゲテ居ルノデゴザイマ
ス、サウシテ此表ノ中ノ第一段ハ、詰リ昨
年度カラ掛ケマシテ實際輸入サレタ値段即

チ「カルカッタ・エフ・オー・ビー」二十四「ルビ
ー」ト云フモノヲ基礎ニシテ取ッタノデアリマス
ガ、併シ印度ニ於ケル鐵ノ生産事情並生産費
ニ關スル諸般ノ調査カラ致シマシテ、尙ホ是ハ
値ヲ下ゲテ輸入シ得ル可能性ガアルノデア
ル、少クモ二十二「ルビー」位デ「カルカ
タ・エフ・オー・ビー」ノ値段ガ建テラレルデ
ハナイカ、斯ウ云フ風ナ考カラ致シマシテ、
御參考マデニ次ニ二十二「ルビー」デ印度カ
ラ積出シタ場合ハドウナルカ、爲替相場ニ
對シテドウナルカト云フ表ヲ併セテ附ケマ
シテ御參考ニ供シテ居ルノデゴザイマス、
ソレカラ只今斯波男爵カラノ御尋デアリマ
シタガ、日本ノ銑鐵ノ沖著價格、是ハ大藏
省ノ輸入月報デ調査イタシタノデゴザイマ
スガ、昨年ノ九月、マダ八月九月頃ニ於キ
マシテハ輸入沖著値段ノ平均ガ、八月ニ於
テハ二十三圓、九月ニ於テハ二十四圓、斯
ウ云フ風ニナッテ居リマシタノガ、英吉利ノ
金本位停止ノ爲ニ「パウンド」ガ下落イタシ
マシテ、ソレト比例シテ物品モ下落イタシ
テ參リマシタノデ、沖著價格ノ平均ガ非常
ニ低下イタシマシテ二十一圓臺ニナッタノ
デアリマス、十月ハ二十一圓九十五錢、十
一月ハ二十一圓五十八錢、ソレカラ十二月
ハ二十一圓十三錢、斯ウ云フ風ニナッテ居ル

ノデゴザイマスガ、是ガ又日本ノ輸出再禁
止ノ爲ニ影響サレマシテ、此沖著價格ノ値
上リヲ見マシテ、一月ニハ二十三圓、二月
ニモ二十三圓、三月ハ二十五圓、四月ハ只
今申上ゲマシタヤウニ二十五圓、斯ウ云フ
程度ニ騰貴イタシテ居リマス

○男爵斯波忠三郎君 今御答ヘニナッ
ハハナシマシタアリマセヌカ、十二月以前ノ
註文、即チ金輸出禁止以前ノ註文ニ掛カッタ
モノデハナイノデアリマスカ

○政府委員(福田庸雄君) 註文ハ或ハ金輸
出禁止以前ノ物ガ來テ居ルカモ知レナイト
思ヒマスデゴザイマスガ、只今印度銑ノ輸
出値段、詰リ印度カラ輸出スル値段ガ「カル
カッタ・エフ・オー・ビー」ニ致シマシテ二十四
「ルビー」程度デアルト云フ事實ハ、既ニ昨年
カラノ事實デアリマシテ、印度銑ノ輸入ガ
日本ニ對シテ更ニ不利益ニナリマシタ今日
ニ於キマシテハ、之ヲ高クスレバ尙ホ高ク
シナクテハナリマセヌノデ、恐ラク日本ニ
對抗セントスレバ更ニ安イ値デ輸入シナク
テハナラヌデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
ラレマスノデ、矢張り同ジ二十四「ルビー」
デモ向ウカラ積出シ得ルト云フコトヲ前提
トシテ、日本ニ對スル今後ノ輸入價格ヲ考
ヘナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居

リマス、又現實ニ四月半バ頃ノ取引ヲ考ヘマシテモ相當低イ取引ガアルノデ、此數字ハ決シテ間違ノナイ、相當是ニ依ッテ、寧ロ斯ノ如キ數字ニ依ッテ査定スルト云フコトハ正鵠ヲ得テ居ル數字デアルト、斯ノ如クニ考ヘマシテ之ヲ採用イタシマシタ次第デアリマス

○森平兵衛君 政府ノ、商工省ノ御積リデハ昨日來カラノ御答ヲ綜合シマス、先ヅ印度銑鐵十五萬噸ト云フモノノ輸入ヲ止メルト云フコトガ目的ノヤウナ結論ニナッテ參リマスガ、サウ云フコトデアルナラバ關稅ノ收入ト云フモノハ全部御見積ニナッテ居ナイノデアリマス、私ハ此間大藏省ニ向ケテ、此關稅改正ニ依ル增收ノ見積ノ内容ヲ御聽カセテ願ヒタイト申シマシタガ、是ハ細カク申上ゲルコトガ出來ナイト云フコトデ、關稅定率法中改正ニ關スル案ト輸入稅ノ從量稅率ニ關スル案ト、斯ウ大ザッパニ分ケテ承ッタノデアリマス、商工省トシテハ殆ド是ダケノ關稅ガ上レバ十五萬噸ト云フモノハ殆ド來ナイ、斯ウ云フ御見込デアリマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヘ申上ゲマス、關稅收入ニ付キマシテハ、印度ノ銑鐵ハ從來ノ豫約モアリマスノデ、マダ全然今年度ニ於テ此輸入ガ完全ニナクナルト云フコトハナイト考ヘテ居リマス、ソレデ其方面カラノ收入モ無論アルベキコトダと思ヒマス、ソレカラ一部分ガ、是ハ特種銑鐵ガゴザイマスガ、瑞典ヤ英吉利カラ數千噸ノ、是ハ割合ニ値段ノ高イ銑鐵ノ輸入ガゴザイマス、ソレカラ又滿洲銑鐵ノ輸入ハ寧ロ從前ヨリモ多クナルノデヤナカ、斯ウ考ヘテ居リマス、或ル程度ノ、寧ロ昭和七年度位ニ於テハマダ相當ノ收入ガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 政府ニ於テハ從來ノ約定モアルカラ、此關稅ヲ引上ゲテモ昭和七年度ニ全然來ナイト云フコトハナイト云フ御答辯ノヤウニ承リマスガ、サウ云フコトデアレバ、凡ソドレ位ニ此關稅引上後ト云フモノハ來ルモノダト云フコトデ豫算ヲ御計上ニナッテ居リマス

○政府委員(中島鐵平君) 只今森サンカラノ御質問ハ關稅定率法改正案ニ依ル增收ハ四百七十萬圓位ニ見テ居ルガ其中ニ銑鐵ノ收入ハ幾ラアルカ、即チ印度銑鐵ハ大體ドレ位ニ見テ居ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ福田政府委員カラ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ全然入ラナイモノトハ見テ居ナイノデアリマス、併シ收入ハ全體トシテ見積タ

ノデアリマシテ、二十九品全部ヲ包含イタシテ四百七十萬圓ト云フモノハ確實ダト斯ウ見テ居リマス、一品一品之ヲ計上イタシマシテ四百七十萬圓ト云フモノヲ精確ニ立テタモノデアリマセヌノデ、ソコラデ一ツ御不満足カモ知レマセヌガ……サウ云フコトニ致シテ居リマス、全體ト致シマシテハ千六百餘萬圓デアリマス、法案ガ二ツ出テ居リマスカラシテ關稅定率法改正案ニ依リマス方ハ四百七十萬圓、ソレカラ從量稅ノ輸入稅ニ關スル方ハ千四百四十萬圓デゴザイマス、其處ニ御手許ニ差上ゲテアリマシヤウニサウ云フ風ニナッテ居リマス

○森平兵衛君 イヤ、其以上ハ追究ト云フコトヲ見合ハスコトニ致シマス、前刻商工省ノ御答辯ノ、四、五、六ト云フコトヲ御聽カセテ願ヒタイト申シマシタガ、四月ダケヨリナイト云フコトデアリマスガ、一、二、三アタリノ銑鐵ノ入ッタモノハ是ハ昨年ノ約定ノ分ガ入ッテ居ルノデアリマスカラ、此價格ヲ彼是申上ゲルコトハ無論出來ヌノデアリマス、又私ノ聞イテ居リマスル所ニ依リマスレバ六月アタリ、詰リ本月ニナッテハ餘程爲替モ下ッテ居ル譯デアリマス、百十二三ヲ往來シテ居ルヤウニ聞クノデアリマス、是カラ觀察イタシマスレバ餘

程……百二十カラ申シマスルト約一割程ノ安イモノガ買ヘルト云フ形ニナッテ居ルノデアリマス、政府トシテハサウ云フコトラ御調査ニナッタコトハナイトデアリマス

○政府委員(福田庸雄君) 無論アリマス、爲替相場ガ色々ニ變動スル事情モ考ヘマシテ、又最近ニ於キマシテハ最近ノ爲替相場ヲ基礎トシテ幾ラデ來ルカト云フコトヲ、亦事情モ調査イタシマシテ斯ノ如ク決定イタシタ次第デアリマス、此御手許ニ差上ゲテ居リマスル數字モサウ云フ意味カラ致シマシテ此月日ヲ拔キマシテ只爲替相場、ソレカラ印度カラ積出ス値段ト云フモノヲ之ヲ對照シテ申上ゲタ次第デゴザイマス、印度カラ二十四「ルピー」デ積出セルト云フコトハ是ハ先程御説明申上ゲマシタ通りニ去年以來ノ數字デゴザイマシテ、尙ホ二十二「ルピー」ト云フ値段デモ積出シ得ル可能性ガ印度ノ銑鐵製產事業カラ推定シテアリ得ル、ダカラ安全ナ所ハ二十二「ルピー」ガ或ハ安全カモ知レナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘラマス、サウ云フコトニ致シマスレバ最近ノ「ルピー」相場ハ只今御話ノ通りニ先ヅ百二十五「ルピー」ト云フ所ヲ前後シテ居ルト思ヒマス、ソレニ致シマシテモ日本ノ市場ニ參リマシテ是ハ關稅ハ入ラナイ計算ニ致

シテ居リマスガ、二十四圓八十錢、斯ウ云フ風ニ致シマシテ私共ノ標準ヲ取りマシタ二十五圓幾ラト云フモノヨリモ寧ロ安ク、假ニ二十四「ルピー」ニ致シマシテモ「カル

カッタ・エフ・オー・ビー」二十四「ルビー」ニ致シマシテモ二十四圓八十錢、中間ヲ取りマスレバ矢張り二十五圓或ハ二十五圓五十錢ト云フ程度ノ所ガ宜イデヤナイカト斯ウ考ヘテ居リマス、又近頃ノ成約ノ實蹟モ其邊ノ所ヲ示シテ居ル實蹟デアリマス、ココヲ採用イタシタ次第デゴザイマス

○侯爵德川義親君 私ハ此問題ニ付テ素人デアッテ甚ダ幼稚ナ間ヒヲシテ耻カシイノデアリマスガ今迄ノ調べニ依ッテ見マス、内地ノ鉄鐵生産費トソレカラ印度鉄ノ而モ日本ヘ持ッテ來タ其値段トノ間ニ恐ロシイ開キガアル、何故印度ノ鉄ガコンナニ安イノデアリマセウカ、是ハ印度ノ方デ何モ構ハズ減茶苦茶ニ安ク賣ッテ居ルノデアリマセウカ、假ニサウ致シマス、何時マデモ續クデアリマセウカ、或ハ印度ニ於ケル鉄鐵業ガ日本ヨリ遙ニ發達シテ居テ如何ナル場合ニ於テモ日本ノ生産費ヨリモ何時デモ安ク出來ルデアリマセウカ、若シサウデアッタナラバモウ少シ我ミノ考ヲ考ヘ直シテ此問題ヲ論ジテ見ル必要ガアルノデハナ

イカト思ヒマス、此印度ノ製鐵事業ト我國ノ製鐵事業ノ根本ノ差違ニ付テ、何カ御調べニナッタモノガアリマセウカ、ソレヲ先ヅ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヲ申上ゲマス、印度ノ鉄鐵ノ日本ニ輸入スル値段、ソレカラ日本ノ鉄鐵ノ市場ニ供給シ得ル値段トノ間ニ、著シキ開キガアルノハ如何ナル原因デアアルカト云フコトガ第一ノ御尋ト存ジマス、先ヅソレニ付テ申上ゲマス、印度ニ於キマシテ現在生産イタシテ居リマスル鉄鐵ノ數量ハ、最近ニ於キマシテ約百十萬噸程度ト存ジマス、其中ノ昨年ニ於キマシテハ三十三萬噸、一昨年ニ於キマシテハ五十萬噸程度ガ海外ニ輸出サレテ居ルト存ジマス、サウシテ印度ニ於キマシテハ御承知ノ通り鑛石ノ供給條件ガ非常ニ宜シウゴザイマシテ、埋藏量極メテ豊富ナ山ヲ工場ノ近クニ控ヘテ居リマス、又勞銀ガ御承知ノ通り安イ關係上其鑛石ナリ石炭ナリハ殆ト大部分ガ、其生産費ハ勞銀ノ如何ニ依リマスモノデゴザイマス、其原料費ハ非常ニ安ク付イテ居ルノデアリマス、從テ只今申上ゲマシタヤウニ「カルカタ」カラ積出スヤウナ値段ニ致シマシテ二十四「ルビー」、假ニ「ルビー」ヲ七十錢ト致シマスレバ

十七八圓ト云フ値段デ印度カラ積出サレルト云フヤウナコトニ相成ル次第デゴザイマス、是ハ獨リ日本ニ對シテ印度鉄ガ日本市場ヲ脅威シテ居ルノミナラズ、英吉利ヤ亞米利加ト云フヤウナ先進製鐵國ニ對シテスラ非常ナ脅威ヲ與ヘテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、而モ印度ノ政府ハ印度ノ製鐵業ノ獎勵ニ對シテ非常ニ熱心デゴザイマシテ、鐵ノ値段ガ下ッテ困ル時ニハ相當高イ値段鉄鐵ヲ買上ゲテヤル、或ハ國內ニ於キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ海外ニ輸出スル際ニ十五六圓ト云フヤウナ値段デ輸出スルニ拘ラズ、國內ニ於テハソレヲ四十圓ト云フヤウナ、最近ニ於テモ四十五圓ト云フヤウナサウ云フ高イ値段デ賣ッテ居ルノデアリマス、又外國ニ輸出スルニ際シテモ日本ノヤウニ競争ガ非常ニ激甚ノ所ニハ其競争ニ應ジテ安ク賣ッテ參リマス、デアリマスガ、輸出國ノ市價ガ割合ニ高イ所デハ又其市價ニ追隨シテ比較的高ク賣ルト云フヤウナ事情ニゴザイマシテ、サウシテ平均シテ採算ガ取レバ宜イト云フヤウナ狀態ニナリマス、日本ニ對シテ非常ナ脅威ニナル譯デアラウト考ヘテ居リマス、サウシマシテ印度ノ此鉄鐵ノ關稅デゴザイマスガ、斯ノ如キ殆ト世界無比ノ良好ナル

生産條件ヲ具備シナガラ、而モ其鉄鐵ニ對シテハ相當高イ課稅ヲ付シテ居ルノデゴザイマス、從來一割程度ノモノガ一割二分、最近ニ於テハ一割五分八分ノ一ト云フヤウナ從價稅ヲ課シテ居リマス、而モ其從價稅ノ計算ノ基礎タル輸入價格ハ別ニ之ヲ公定イタシテ居リマス、一千九百三十年以來七十三「ルビー」、斯ウ云フヤウナ値段ニ公定シテ居リマス、今「ルビー」ハ高クナッテ居リマスガ、七十圓ト假定イタシマシテモ、五十圓位ノ沖著價格ニ算定イタシマシテ、ソレニ對シテ一割五分何厘カノ稅ヲ掛ケテ居ル、詰リ日本ノ金デ申シマスレバ七十圓以上七圓五十錢、一噸ニ對シテサウ云フ篤イ保護稅ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、サウシテ此世界無比ノ優良ナル生産條件ヲ以テマシテ、サウシテ國內ニハ高ク賣リ、外國デモ高ク賣レル所ハ高ク賣ル、斯ウ云フヤウナコトカラ致シマシテ採算ヲ取ルコトニ致シテ居ルノデゴザイマス、日本トシテモ勢ヒ之ニ對スル對抗上相當ノ保護ヲ致サナケレバ相成ラマスト云フ、斯ウ云フ羽目ニナッテ居リマス、御承知ノ通り大正十五年ニ於キマシテハ一定ノ獎勵金ヲ支出シテ、ソレニ依ッテ印度ノ鉄鐵ヲ防ギ得ルト云フヤウナ計算ヲ立テテ居タノデアリマスケレ

ドモ、段々其競争が盛シニナリマシテ、輸入値段が四十圓ニナリ三十圓ニナリ二十圓ニナルト云フヤウナ状態デゴザイマシテ、日本ノ生産設備ノ擴張改良ト云フコトモ相當ニ行ハレマシテ、生産費モ段々低下イタシテハ參リマシタガ、尙且此印度鉄ノ脅威ニ堪ヘナイ、サウシテ昨日來申上ゲテ居リマスヤウニ滞貨ハ既ニ六十萬噸、民間ノ生産スル一年分以上ノ「ストック」ガ山積イタシテ居リマス、サウシテ二百八十萬噸ノ熔鑛爐ノ中八十萬噸ハ既ニ働カナイ、斯ウ云フ状態ニナッテ居リマス、今生産イタシテ居リマス數量ハ約百十四萬噸ト云ッテ居リマスガ、是ハ内地ノ市場ノ國內ノ需要ヲ僅ニ満たシ得ル程度デアリマシテ、是以上減産ヲ餘儀ナクサレルト云フコトニナレバ、徒ラニ是ハ又印度鉄ニ好市場ヲ與ヘルト云フコトニナリマスガ、此多大ナル「ストック」ヲ擁シマシテ運轉資金其他ニ付テ非常ナ苦シミヲ揚ゲテ居ル次第デゴザイマス、今日之ニ對シマシテ相當ノ防衛策ヲ講ジマセヌト、印度鉄ノ輸入ハ益、多クナリハシナイカ、現ニ一昨年アタリマデハ……昭和四年度ハ四十萬噸以上モ輸入サレテ居ルト云フ状態デゴザイマスノデ、斯ノ如キ状態ニ立至リマシタナラバ國際貸借ノ關係ニ於テ非

常ニ憂フベキ結果ニナリマスノミナラズ、失業問題其他重大ナ問題ヲ惹起スルコトト思ヒマスノデ、此際一刻モ早ク此輸入ヲ防遏イタシマシテ、内地製鐵業ノ確立ニ資スルコト云フコトガ極メテ必要デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシタ次第デゴザイマス、今是以上ニ減産ヲヤルトカサウ云フコトニナリマスレバ、益、内地ノ生産費ヲ高メ失業者ヲ多クシテ、歸スル所ハ印度鉄ニ乗ゼラレテ又從來ノヤウナ高イ輸入値段ニナリハシナイカ、サウ致シマスレバ關稅ノ引上ノ影響ドコロノ騷ギデヤナイ、モット高イ數年前ノヤウナ高イ値段ニ歸ルト云フヤウナコトモ想像シ得ラレルコトデゴザイマスノデ、コチラノ方ノ日本ノ製鐵業ガ衰ヘテ、其爲ニ市場ヲ外國ノ鉄鐵ニ支配サレルト云フ結果ノ方ガ、此消費工業ニ取リマシテ寧ロ多大ノ脅威ニナルノデヤナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、先ヅ此際一刻モ早ク此印度鉄ノ輸入ヲ防遏イタシマシテ、サウシテ事業ノ確立ニ資シタイ、而シテ無論其事業ノ合理化其他ノ方法ニ依リマシテ、此上トモ生産費ヲ低下イタシマシテ、行ク行クハ内地ノ供給ノミナラズ海外ニマデ日本ノ鐵、鋼材マデ販路ヲ十分擴張スルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デ

ゴザイマス

○侯爵徳川義親君 只今ノ御説明デゴザイマスガ、印度ニ於テハ原料ノ供給、又石炭、工賃、勞働費ガ非常ニ安イカラト云フ御話デゴザイマシタケレドモ、然ラバ滿洲ニ於ケル將來ノ製鐵事業ハドウナルノデゴザイマセウカ、滿洲ニ於ケル鐵鑛、ソレカラ石炭ノ供給ノ状態及勞働賃銀ト云ッテヤウナモノヲ考ヘテモ、將來滿洲ニ於ケル製鐵事業ガ到底印度ニ於ケル製鐵事業ト拮抗、對抗出來ナイモノデゴザイマセウカ、其邊ハドウナッテ居リマスカ

○政府委員(北島謙次郎君) 滿洲ノ鉄鐵ノ生産費ニ付キマシテハ、昨日一噸三十五圓五十何錢ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、ソレハ内地ニ於ケル滿洲鉄鐵ノ到著價格デアリマシテ、滿洲鞍山ノ生産費ト致シマシテハ、二十四圓四十二錢ト云フコトニナッテ居リマス、只今御話ニナリマシタ通りニ、石炭ソレカラ勞銀、サウ云フ點ニ於キマシテハ内地ヨリモ餘程有利ニナッテ居リマシテ、從ヒマシテ内地ニ於ケル鉄鐵ノ生産費ニ較ベマスルト、約四圓ナニガシノ開キガアルヤウニ現在相成ッテ居リマスルガ、將來更ニ能ク此鉄鐵ノ生産ノ方法、或ハ經營ノ合理化ト云フコトヲ圖リマスレバ、尙ホ

一層改善サレル見込ガアルト思ヒマスルケレドモ、唯印度ニ於ケル鉄鐵ニ競争出來ル程迄ニ現在ノ所デハナッテ居マセヌ、ソレデ印度鐵トノ競争ニ於テハ只今ノトコロ到底ムツカシクハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○侯爵徳川義親君 只今ノ御答ハ私甚ダ漠然トシタ御尋ナノデ、其滿洲ノ鐵ノ工業ト云フモノハ、其原料ノ供給ノ方法トカ、ソレカラ石炭ノ供給トカ、或ハ勞働賃銀トカ云フモノガ、印度ト比較シテ是モ甚ダ漠然トシタ質問カモ知レマセヌケレドモ、勞働賃銀ノ如キハ滿洲ト印度ト餘程違フノデゴザイマセウカ、ソレカラ石炭ノ供給ノ方法トカ、ソレカラ鐵鑛、原鑛供給ノ値段トカ云フモノガ、ドウ云フ次第デソナニ違フノデアリマスカ、何カ其處ニ餘程大キナ原因ガナケレバソレ程違フ筈ハナイト思ヒマスガ、其邊ハ如何デアリマスカ

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヘ申上ゲマス、滿洲ノ鉄鐵ノ生産費ニ關スル細カイ内容ハ只今此處ニ持合セマセヌノデゴザイマスガ、此印度ノ生産費ニ付テハ無論推定デゴザイマシテ、非常ニ精密ナルモノデアルト云フコトモ申上ゲ兼ネマスガ、併シ各般ノ事情カラ推シマシテ大體當ヲ得テ居ルモノト

存ジマスガ、此鐵ノ鑛石ガ三「ルビー」乃至四「ルビー」或ハ石炭モ非常ニ安イ結果、「コークス」ノ單價モ六圓五六十錢位ニツイテ居ルト云フヤウナ狀態デゴザイマシテ、或ハ主トシテ只今申上ゲマシタヤウニ、其勞銀ガ非常ニ安イト斯ウ云フ關係デゴザイマスガ、滿洲ノ石炭ノ生産費ヲ承リマシテモ、ナカ／＼サウ云フ風ニハ參ラヌヤウデゴザイマス、又鐵ノ鑛石ニ付キマシテモ、御承知ノ通り滿洲ノ銑鐵、鐵鑛石ハ金鑛ガ主デゴザイマスカラ、之ヲ一度燒結イタスト云フヤウナ手數モカカリマスノデ、遙ニ高イ單價ニツイテ居ルト思ヒマスガ、併シ是ハ尙ホ色々研究ノ結果猶ホ安クナルガラウト思ヒマスガ、現在ニ於キマシテハ相當高クツキマシテ、内地迄ノ運賃諸掛リヲ加ヘレバ、昨日拓務省ノ政府委員カラ御答辯ニナリマシタ通り、約内地ノ銑鐵ノ市場著ノ價格ト同ジヤウナコトニナッテ居リマス、何レ細カイコトハ是ハ技術上ノ問題ニ相成リマスルノデ、製鐵所ノ技監カラ一ツ御説明申上ゲタラ如何カト思ヒマス

○田村新吉君 關稅定率ニ關シマスル……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 田村サン今ノ

ニ關聯シタ問題デヤナイノデスカ、今ノ質問ノ滿洲ノ鐵ニ關係ガアリマスカ

○田村新吉君 鐵ニハ關係ガアリマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット御待ヲ願ヒマス、其前ニ野田技監ノ説明ヲ聽イタ方ガ順序ダラウト思ヒマスカラ……

○説明員(野田鶴雄君) 鑛山局長ニ代リマシテ印度銑鐵、滿洲銑鐵ノコトニ付キ私ノ知ッテ居リマスダケノ範圍ノコトヲ御話申上ゲマス、印度ノ銑鐵ヲ造リマス原料タル鐵ノ鑛石ハ、印度ハ非常ニ惠マレテ居リマシテ、六十四「パーセント」以上ノ立派ナ鑛石ガ殆ド山ヲ崩セバ取レルヤウナ狀態ニナッテ居リマス、私自分デマダ觀察シタコトハナイノデゴザイマスガ、色々ナ書類ニ依ッテ見デモ、石炭モ灰分ハ比較的多イノデゴザイマススケレドモ、「コークス」ニナリ易イ石炭ガ是ハモウ非常ニ豐富ニアル、或ハ鑛石ノ山ニ近ク、或ハ石炭ノ出マス方ニ近ク製鐵所ヲ設ケテ居リマシテ、勞銀ハ日本ノ爲替ノ……前ノ爲替ノ時代ニ於キマシテ一日一人四十錢以下位ノ人間ガ鑛石ヲ掘ッテ居ル、殆ド勞銀マデ條件ノ中ニ入レマスルト世界デ一番好イ狀況ダト思フノデアリマス、爐ノ大キサモ初メハ四百噸五百噸、一日四百噸五百噸位デヤッテ居リマシタケレドモ、是モ「コークス」ニナル天然ノ石炭ノ

品質ガ良イ爲ニ非常ニ固イ「コークス」ガ出來マシテ、千噸以上ヲ一日ニ出銑スルヤウナ大キナ爐デモ「コークス」ガ十分持ツト云フヤウナ狀況ニアルノデアリマス、滿洲ノ方ト只今鑛山局長カラモ説明ガアリマシタヤウニ、アスコノ鞍山站ヲ圍ンデ居リマス鑛石ノ山ハ只今太孤山ト云フノヲ掘ッテ居リマスガ、是ハ約三十五「パーセント」内外ノ貧弱ナ鑛石デゴザイマス、而モソレガ又技術上ノ細カイコトヲ申上ゲマスガ、赤鐵鑛ノ種類ニ變ッテ居リマシテ、ソレヲ粉ニシマシテ、其儘磁石ニハカカラナイ爲ニ態之ヲ瓦斯ニ相當費用ヲカケマシテ、燒イテ磁鐵鑛ニ變ヘマシテ、ソレヲ粉ニシテ、篩デ申シマスト二百目ト申シマス非常ナ細カイ所マデ篩ヒマシテ、ソレヲ「マグネット」デ分ケマシテ、ソレヲ更ニ燒キマシテ鑛石ニ固メル、唯山ガ崩スダケノ山デゴザイマスカラ、同時ニ支那ノ苦力ガ非常ニ安イカラ、出來上リ鑛石トシテ非常ニ安イモノデゴザイマス、矢張り五十八「パーセント」位ノモノシカ採レナイト心得マス、石炭ハ撫順ノ石炭デゴザイマスガ、撫順炭ハ概シテ日本ノ筑後炭田ト同ジヤウナ地質デゴザイマシテ、「コークス」ニナリニクイ石炭デゴザイマス、之ヲ「コークス」ニ致シマスルニ

ハ本溪湖ノ石炭ヲ混ゼマスカ、或ハ開平アタリノ石炭ヲ混ゼマス、兎ニ角筑後炭田ノ炭ト同ジヤウニ「コークス」ニナリニクイ、ナリマシテモ又粉ニナリ易イト云フノデ鞍山デハ一番大キイ爐ヲ……現在五百噸爐ヲカケテ居リマス、ソレノ操業ガ先ヅ今ノ所デハ大キナ方ト考ヘナケレバナラヌ、サウ云フコトデ滿洲ノ方ガ條件ガ非常ニ惡イノデゴザイマス、先程拓務當局カラ御話ガゴザイマシタヤウニ、苦力ガ安イカラ石炭ガ比較的安イコト、多量掘リマス爲ニ、サウ云フヤウナ結果デ本邦内地ヨリハ安ク出來ル、併シマダ印度ノ非常ナ天惠ニ浴シテ居ル所カラ較ベマスト劣ッテ居リマス、ソレニ申シマスレバズツ劣ッテ居リマス、ソレニ印度ハ……是ハ少シ經濟ノ方ニ互リマスガ、輸出シマスノ鐵道運賃ガ非常ニ輕減シテヤッテ居リマス、假ニ若シ日本ガ非常ニ大キナ製鐵國デアリマシテ、鐵ノ需要モ只今ノ五倍モ十倍モアルヤウナ所デゴザイマスレバ、印度ノ方カラ十五萬噸ヤ二十萬噸來タ所デ敢テ脅威ヲ關ジナイト思フガ、如何ニモ日本ノ需要ガ少ナイ爲ニ、少シバカリ這入ッテ參リマスモノガ直チニ「ストック」ニナル、日本ノ造ル人ノ「ストック」ニナルト云フヤウナ關係デ、日本デ製鐵業ト云フモ

ノヲ作り、副産物ヲ採り、殊ニ鋼材マデ造ルト云フ日本ノ全體ノ方針ニ對シテ非常ニ印度鉄鐵ガ防害ニナルト云フ狀況ニアリマス

○侯爵德川義親君 只今ノ御説明デ大體ノ印度、滿洲、日本ニ於ケル製鐵ノコトハ承知イタシマシタ、ソレトハ少シ別デ、内地ニ於ケル鉄鐵ノ生産費ト云フモノガモウ少シ下ゲラレルモノデハナイノデアリマセウカ、此鉄鐵ノ關稅引上ニ依ッテ利益ヲ受クルモノハ日本ノ製鐵業者デアルシ、ソレカラ

其引上ニ依ッテ兎ニ角打撃ヲ蒙ルモノハ鉄鐵ヲ原料トシテ小サナ工業ヲヤッテ居ルモノガ比較的打撃ヲ受ケル、日本ノ製鐵業ノ主ナモノハ日本ノ大キナ財閥デアルシ、ソレカラ其鉄鐵ヲ利用シテ工業ヲヤッテ居ルモノハ割合ニ小サイ資本デヤッテ居ルモノ、此結果ガドチラカト云フト財閥ノ保護ト云ツヤウナコトニナリ、又サウ云ツヤウ

ナ感ジテ非常ニ國民ニ與ヘルモノデハナイノデアリマセウカ、又此内地ノ製鐵ノ生産費ノ如キモ當然マダモウ少シハ簡單ニ引下ゲラレルモノデヤナイカ、ソレハ石炭ノ價格ト云フモノガ、日本ノ石炭ノ價格ト云フモノハ日本ノ大キナ財閥ニ依ッテ「モノボライズ」サレテ居ル爲ニ非常ニ石炭ノ價格ガ

高イノデアリマス、自分カラ高クシタ其高イ石炭ヲ使ッテ、高イ鐵ヲ造ッテ居ッテ、サウシテ尙ホ製鐵ガ引合ハナイ、製鐵ノ事業ガ引合ハナイト云フ風ニ見テ居ルノハナニカソコニ非常ニ無理ガアルノデヤナイノデア

リマセウカ、若シサウ云ツヤウナ無理ヲ取去ッテ、ソレダケデモ内地ノ製鐵ノ價格ガマダノ引下ゲラレルモノデハナイノデアリマセウカ、此邊ハドウ云フ風ナコトニナッテ居リマセウカ

○政府委員(福田庸雄君) 只今御手許ニ差上ゲテ居リマス生産費ニハ尙ホ切下ノ餘地ガアルノデヤナイカト、斯ウ云フ御尋ノヤウニ承リマス、私共ト致シマシテモ御話ノ通り製鐵業ハ各種ノ産業ノ基礎工業デゴザイマシテ、從テ原料費ハ成ルベク低廉ニ致

サナケレバナラヌト云フコトハ十分ニ承知イタシテ居リマスノデゴザイマス、サウシテ今日マデニ於キマシテモ此生産費ノ引下ト云フコトニ付テハ相當ニ考究モ致サレ、又昨日モ此委員會デ御説明ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、内地ノ三社ダケニ付キマシテモ此大正十五年以來ノ最近ノ數字ニ於キマシテモ千二百何十萬圓カノ資本ヲ投ジマシテ設備費ノ擴張改善ヲ計ツヤウナコトモゴザイマシテ、段々ニ生産費ガ低下シテ

參ッタノデゴザイマスガ、兎ニ角御承知ノ通り非常ナ不況時代ニ襲ハレマシテ生産能力ヲ十分ニ發揮イタスコトガ出來ナイノデ、只今減産ニナッテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態デゴザイマシテ、ナカノ多量生産ニ依ル單價ノ切下モ困難デアルト云フヤウナ實情

ニゴザイマスガ、ソレニ致シマシテモ數年前ニ比シテ其生産費ハ確ニ十圓位安クナッテ居ル、斯ウ云フ事情デゴザイマス、サウシテ石炭ニ付テノ御話ガゴザイマシタノデゴザイマスガ、此内地ノ石炭モ段々ト此企業組織ヲ能率化シテ參リマシテ、餘程生産費ヲ減ジテ參リマシタ、デ只今ニ於キマシ

テハ山元ノ値段、山元ノ販賣價格ト云フモノハ平均イタシマシテ色々ニナッテ居リマスガ、先ヅ普通ノ標準ヲ取リマスレバ、五圓ト少シデハナイカト斯ウ考ヘテ居リマス、其五圓ノ中ニモ勞銀ガ大半ヲ占メテ居リマシテ、其勞銀ガ歐洲大戰前ニ比シテマ

ダ遙ニ高イガ爲ニ、是ハ已ヲ得ヌ事情ダト思ヒマスガ、サウ云フ事情ノ爲ニ、山元ノ生産費モ歐洲大戰前ノ狀態ニ復スルコトガ出來ナイガ、兎ニ角、一時ノ非常ニ高イ生産費ガ餘程切下ゲラレテ居ル、斯ウ云フ事情デゴザイマス、從テ此鉄鐵製造業ニ使ヒマス石炭モ餘程ハ低目ニ……各社ノ實情

ガサウデゴザイマスガ、低目ニ見積ッテ居リマシテ、噸一圓五十錢ノ石炭ヲ使ヒマシテ、是ダケノ「コークス」ノ値段ニナル原料ニナル値段ガ斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、是ガ餘程切詰メラレタ現在ニ於キマシテハ餘程切詰メラレタ生産費デアルト斯ウ考ヘテ居リマス、ソコデ此日本ノ石炭ノ値段ガ所謂財閥ノ「モノボライ」ノ爲ニ高クナッテ

居ルノデヤナイカ、斯ウ云フ御話モゴザイマスガ、私共ノ調査イタシマシタ所ニ依リマス、日本ノ石炭ノ値段ガ比較的何ノ物價ニ比シテ下ラナイト云フノハ、此石炭ノ生産費ニ只今申上ゲマシタヤウニ勞銀ガ非常ニ重要ナ部分ヲ占メテ居ルト云フ點、竝

ニ此日本ノ鐵道運賃ガ、石炭ニ對スル鐵道運賃ニ付テ申シマスガ、戰爭前ト比較イタシマスト矢張り倍トナッテ居ル、北海道炭ノ如キハ鐵道運賃ダケニ二圓五十錢モ支拂ッテ居ルト云フ狀態デゴザイマス、又此積込ミ積下シノ諸費用モ、是ハ勞銀ガ主トナッテ

居ル關係デ、是モ已ムヲ得ヌコトダト思ヒマスガナカノ下リマセヌ、戰爭前ヨリモズツト高ク付イテ居リマス、先ヅ戰爭前ニ復歸シテ居ルノハ船運賃位ナモノデゴザイマシテ、サウ云フ事情ガ綜合イタシマシテ、此石炭ノ値ガ割合ニ平均シタ物價指數ヨリ

モ上ノ所ニアルト云フ譯デゴザイマシテ、決シテ企業者ガ暴利ヲ貪テ居ルノデヤナイ、又會社ノ實蹟カラ申シマシテモ、石炭業ノ利廻リト云フヤウナモノハ殆ド近年ニ於テハ、マア缺損ト云フ程デモゴザイマセヌガ、平均イタシマシテ或年ハ缺損ニナルカモ知レマセヌシ、或年ハマア極ク僅少ナ利益ニシカナラナイ、逆モ配當ト云フコトハ、石炭業ニ依ッテ配當ヲ相當期待スルト云フコトハ多クノ石炭業ニ於テ困難デアル、斯ウ云フヤウナ狀態ナノデゴザイマシテ、決シテ無理ニ内地ノ市價ガ鈞上グラレテ居ル狀態トハ考ヘテ居リマセヌ、サウシテ又只今申シマシタヤウニ、製鐵原料ニ使ヒマス石炭ノ値ハ、此製鐵工業ガソレノ又炭山ト關係ヲ持ッテ居リマスノデ、其特殊ノ關係ニ基キマシテ、安イ石炭ヲ使ッテ斯ウ云フ生產費ニナッテ居ル、尙ホ此上ニ整理節約ノ餘地ガアルト云フコトニナレバ、所謂大合同ト云フヤウナコトデモ致シマシテ間接費ノ節減ヲヤリ、或ハ原料ノ共同購入ヲヤル、ソレカラ市場ヲ適當ニ分配スルト云フコトニ依リマシテ一層ノ合理化ヲ圖レバ、此生產費ニモ多少ノ裕リヲ生ジテ參ルモノダト考ヘテ居リマスガ、其合同ト云フヤウナ問題モナカク實現イタシマスルニ付テハ困難ナ

事情モゴザイマスシ、又假ニ合同ガ實現イタシマシテモ、其翌日カラ直チニ其生產費ガ下ルト云フ事情デモゴザイマセヌデ、玆數年ノ間少クトモ或ル程度保護ヲ致シテ置キマシテ、會社ガ儲カラヌ迄モ、今日ノヤウナヒドイ損ニナラヌヤウナコトニ致シテ事業ノ基礎ヲ固メテ置キマシテ、其基礎ノ上ニ更ニ徹底的ノ合理化ヲ圖ル、斯ウ云フコトガ當面ノ急デヤナイカト考ヘマシテ、此關稅ヲ取敢ズ引上ガヤウト致シタ次第デアリマス

○田村新吉君 時間ガ大分迫ッテ居リマスガ、委員長ニ御願ヒシタイコトガアリマスカ……

○侯爵德川義親君 私マダ大分疑問ハゴザイマススケレドモ、時間ガゴザイマセヌカラ私ノ質問ハ是デ打切りマス

○稻畑勝太郎君 私モソレニ關聯シテ質問ガゴザイマスガ、今ノ滿洲ノ鐵、印度ノ鐵、ソレニ關聯シタ問題デアリマス

○田村新吉君 此度提出ニナリマシタ關稅定率ニ關シマスル本改正法律案ヲ調査シ研究イタシマスルト、其中ニハ大ニ疑問ヲ生ズルモノガアリマス、又極メテ適當デアルト思ハレルモノモアルノデアリマス、只今小麥ノ如キ、本邦產ガ非常ニ價格ガ下落イタ

シマシテ、生產費ヲ償ハナクナッテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ狀態ノ此際ニ於キマシテ關稅増率ハ適當デアルト思フ、從テ小麥粉ノ増率モ亦當然デアルト思フノデアリマシテ、併シ鐵ノ如キニ關シマシテハ、ナカナカ幾多ノ疑問モ生ジマス、殊ニ商工業ノ方面カラ考察イタシマシテ、研究スベキ點ガ多々アルト同時ニ、鐵ノ如キハ國防上ニ少カラズ關係ヲ有シテ居ルノデ、又今回ノ改正法律案中「ベンゾール」ノ如キ、其他國防ニ關係ノ物品ガ少カラズアリマス、ソレデ一應陸軍省ノ所見ヲ承リタイト思ヒマス、委員長ニ於カレマシテ其機會ヲ御作り下サルヤウニ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 承知イタシマシタ、午後一時半カラ開キマスカラ、其劈頭ニ於テ陸軍大臣ノ御説明ヲ願フコトニ致シマス、其コトヲ傳ヘテ置キマス

○稻畑勝太郎君 拓務關係ノ御當局ニ伺ヒタイノデスガ、滿洲ノ鐵鐵ハ内地デノ鐵鐵ヨリ遙ニ四圓以上モ安イノデアアル、而シテ今ヤ滿洲ト内地トハ特別ノ關係モアリ、將來ハ其特別ノ關係ト云フモノハ益、密接ニナルモノデアリマスガ、滿洲ノ鐵ニ對シテハ何カ特別ノ關稅デモ、關稅トカ、獎勵トカ、割戻ト云フヤウナモノヲ政府トシテ御

設ケニナルヤウナ御考ハアルノデスカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(北島謙次郎君) ソレハ昨日モ御質問ガアリマシテ御答ヘ致シタ積リデアリマスガ、此關稅ガ増額ニナリマスレバ、當然滿洲產ノ鐵鐵ニ對シテモ相當ノ打撃ヲ與ヘルト考ヘテ居リマスガ、次ノ通常議會ニ於テ適當ニ考慮スルト云フコトニ相成ッテ居リマス

○稻畑勝太郎君 實ハ印度カラ電報ガ參リマシテ、日本デハ滿洲ノ鐵ニ對シテ特別ノ關稅ヲ考慮サレル、特別ノ扱ヒヲサレルト云フコトニナレバ、印度ニ於テハ其復讐トシテ、日本カラ輸出シテ居リマス所ノ綿絲綿布ニ課稅スルカモ知レヌ、ソレハ來ル七月頃ニ「オツタワ」加奈陀ニアリマスガ、「オツタワ」ニ於テ英帝國ノ經濟會議ガ開催サレル、是ハ英國ノ植民地皆寄ッテ、濠洲、印度加奈陀、其他ノ皆代表者ガ寄ッテ、英帝國經濟會議ト云フモノガ「オツタワ」ニ開催サレル、其七月頃ニ若シモ滿洲ノ鐵ヲ日本ガ特別ノ扱ヒヲスルト云フコトデアレバ、印度ニ於テモ日本カラ輸入スルモノニ復讐稅ヲカケル、斯ウ云フ電報ヲ受取ッタノデアリマスガ、又印度ニ於テハ綿絲布問題ノ特別調査會ト云フモノガ印度ニアリマシテ、是亦

八月カ九月頃ニ開會サレル時ニハ、各方面

ノ意見ヲ今印度方面デ聽取シテ居ルヤウデ

アリマス、サウスルト印度ノ鉄鐵ニ稅ヲカ

ケルト云フコトニナリマス、我國ノ最モ

輸出上重キヲ置イテ居ル綿絲綿布ニ又復讎

稅ヲカケラレルト云フコトガ最近ノ電報デ

參タノデアリマスガ、此點ヲ私ハ甚ダ憂慮

シテ居ルコトデアリマシテ、今日ノ列國ノ

形勢ヲ見マスレバ、列國トモ自給自足ヲス

ル、自給自足ガ出來ナケレバ、物々交換ヲヤ

ルト云フ形勢デアリマスルカラ、日本モ印度

ガ御得意デナカタラ、單純ニ印度ノ鉄鐵ヲ

取ルト云フダケデアッタナレバ、何ノ憚ル所

ナクシテ、斷然日本ノ製鐵業ノ基礎ヲ造ル

爲ニ、輸入稅ヲ相當ナル關稅ヲカケルコト

ガ今日ハ世界ノ大勢デアアルノデアリマス、

併ナガラ一方ハ印度ニハ日本ノ綿絲綿布ト

云フモノノ最モ御得意デアアル、ソレデ、

ソレノミナラズ日本ノ競爭國タル英國ハ何

トカシテ自國品ヲ印度ニ賣リタイ、ソレニ

ハ有ラユル理由ヲ見付ケ出シテ、日本品ヲ

驅逐シヤウト云フヤウナ狀態ニアルノデア

リマシテ、其點ニ對シテ甚ダ私トシテハ、

又大阪ノ産業ト云フ點ニ付テモ皆ガ心配シ

テ居ル點デアリマシテ、是等ノコトモ委員

諸君ニ於テハ考慮ニ入レテ戴キタイト私ハ

思フノデアリマス

○政府委員(北島謙次郎君) 只今滿洲產鉄

鐵ニ對シマシテ特別ノ考慮ヲスルト申上ゲ

マシタノハ、勿論條約上當然差障ノアルヤ

ウナ方法ダトカ、或ハ特ニ外國ノ感情ヲ刺

激スルヤウナ方法ヲ避ケテ、別箇ノ方法デ

何等カノ打撃ノ緩和ノ方法ヲ講ジタイト云

フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、當然

ソノ方面カラ報復關稅ヲ受ケルヤウナ方法

ハ避ケル考デゴザイマス、報復關稅其他ニ

付キマシテハ商工省カラ御答辯ヲナスッ

方ガ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 滿洲鉄ノコトニ

付キマシテハ只今拓務省政府委員ノ御答

通リデゴザイマスガ、御承知ノ通り此前大

正十五年ニ鉄鐵ノ關稅ヲ改正スルト云フ問

題ガ起リマシタ時ニモ、印度ノ報復ヲ恐レ

テ稅ヲ引上ゲテ獎勵金ノ形ニシタ譯デモゴ

ザイマス、ニモ拘ラズ印度ハ御承知ノ通り

其後綿絲綿布ノ稅ヲ引上ゲタト云フヤウナ

コトモゴザイマシテ、ハ印度ソレ自身ノ

理由カラ矢張り世界的狀況ニ刺激サレテ、

或ハサウ云フコトニナルカナラヌカハ存

ジマセヌガ、此方デ遠慮シテ居テモ此前ノ

ヤウナ目ニ達フノデアリマスカラ致方ナイ

デヤナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ只

今申上ゲマシタヤウニ印度自身ハ今回日本

ノ企テヲシテ居ル稅ヨリ高イ稅ヲ自分ノ國

ニ輸入セラレル鉄鐵ニカケテ居ルト云フ事

情モ御了解ヲ願ヒタイトデアリマス

○森平兵衛君 別ニ御質問デハゴザイマセ

ヌガ稻畑君ノ御質問ニ付テ、外務當局ノ通

商局長ノ御意見モ承リタイトデアリマス、

委員長カラ然ルベク御取計ヒ願ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレカラ大藏

大臣ノ出席ヲ要求シテ居リマスノデ、午後

大藏大臣ノ出席ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソ

レカラ大分商工省ノ關係ノ御質問ガ進行イ

タシマシタノデ農林省ノ方ノ御質問モアラ

ウト思ヒマスカラ、農林大臣ニモ御出席ヲ

願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ外務省ノ今

ノ問題ニ付キマシテモ、外務省ノ政府委員

ノ御出席ヲ、御通知ヲ願ヒタイト思ヒマス、

ソレデハ午前中ハ是デ打切りマシテ、午後

ハ正一時半カラ開會イタシマスカラドウ

ゾ……

午後零時五分休憩

午後一時三十八分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 午前ニ引續キ

マシテ委員會ヲ開キマス、田村君御發言ヲ

求メラレテ、此際陸軍大臣ガ出席サレテ居

リマスカラ御質問ヲ願ヒマス

○田村新吉君 御繁忙ノ際御出席ヲ戴キ有

難ウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレカラ説明

モ成ルベク高聲ニ願ヒマス、部屋ガ廣イ故

デスガ聽取レヌサウデスカラ……

○田村新吉君 今六十二議會ニ關稅定率改

正法律案ヲ提出サレタノデアリマス、其改

正項目中國防ニ關スル品目ガ尠カラズアル

ヤウニ存ジテ居リマス、陸軍ニ於キマシテハ、

此改正案ニ對シテ如何ナル御意見ヲ御持

チニナッテ居リマセウカ、承リタイト思ヒマ

ス

○國務大臣(荒木貞夫君) 只今ノ田村君ノ

御質問ニ對シテ御答イタシマス、今度ノ關

稅法ノ中ニハ、幾多ノ陸軍ニ必要ナル品目

ヲ含有サレテ居リマスガ、若シ陸軍ト致シ

マシテ希望ヲ致シマスルナラバ、總テノ原料

ハ極メテ低價デアッテ、凡テノ生産ガ安價デ

アルト云フコトガ希望デアリマスガ、一面

我國ノ現在ノ國力、世界ノ製作上ノ實力等

ヲ考ヘマスルト、國防上ノ見地カラハ出來

得ル限り、最モ安全確實ナル内地ニ於ケル

工業ガ進歩發達ヲ致シマシテ、之ニ依ッテ有

事最モ安全率ヲ有ッテ居ル所ノ總テノ軍用

品ガ供給サレタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、

從ヒマシテ、其中ノ最モ大キナ問題トナッ

テ居リマスモノハ、先般來ノ衆議院デモ問題ノアリマシタ如クニ、我々ノ方ノ兵器ハ固ヨリ、戰時ニ於テ一番大ナル分量ヲ占メルモノハ鐵量デゴザイマス、此戰時ニ消費シマスル所ノ鐵量ト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデアリマスルノデ、之ニ對スル戰時ノ國家總動員ノコトヲ申シマスルト、國防ノ見地カラ言ヘバ、只今ノ日本ノ國力デハ遺憾ナガラ内地ニ於テ、即チ最モ安全ナル所ニ於テ、此自給自足ノ途ヲ講ゼラレルコトヲ期シ難イト思フテ居リマス、從ヒマシテ内地ニ於ケル所ノ是等鐵工業等ガ十分ニ發達イタシテ、サウシテ有事ニ縱令封鎖ヲ受ケマシテモ、茲ニ活力ヲ續ケルヤウニ致シタイ、就中昨今各種戰爭ニ應用セラレマスル所ノ科學的進步ニ伴ヒマシテ、幾多ノ新ラシイ原料ヲ必要トスルノデアリマシテ、鐵工業アタリカラ段々ニ生産セラレマス所ノ燃料、即チ或ハ「ベンゾール」、或ハ「トルオール」、其他石炭酸ト云フヤウナモノ、或ハ火藥ニ、或ハ毒瓦斯ニ、或ハ飛行機其他自動車等ノ燃料トシテ必要デアリマスカラ、出來ル限り内地ニ於テ是等ノ工業ヲ進步發達イタサセマシテ、茲ニ是等ノ副產物ヲ十分ニシ、多量ニアルコトガ必要ト考ヘテ居リマス、固ヨリ原料ガ極メテ低價

デアッテ、平時總テノ供給ガ安價デアルコトヲ希望イタシマスガ、遺憾ナガラ只今ノ所ノ國力ニ於テハ、多少代價ガ、是等ノ單價ガ騰貴イタシマシテモ、國內ニ於テ確實ナル發達ヲ期スルコトヲ切望イタシテ居リマスノデ、此關稅法ニ付キマシテハ陸軍トシマシテ同意ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○田村新吉君 御所見ヲ承ハリマシテ其意ノ存スル所ヲ諒承イタシマシタ、尙ホ重ネテ伺ヒ致シマスノハ、航空隊ニ必要ナモノデアリマシテ、日本デ今日供給シ得ナイ、縱令幾分ハアリマシテモ迎モ及バナイモノガアルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フヤウナモノモ此度ノ改正項目中ニアルカノヤウニ存ジマスガ、ソレ等ニ付キマシテハ如何デゴザイマス

○國務大臣(荒木貞夫君) 多々サウ云フヤウナモノモゴザイマスガ、今ノ所デ一番ニ心配ヲ致シテ居リマスノハ燃料デアリマス、ソレ等ノ點ヲ考ヘマスルト、鐵工業カラ生産シマスル所ノ「ベンゾール」ノ如キモノト云フヤウナモノハ、成ベク多數ニ内地デ以ッテ生産セラレムコトヲ希望シテ居ル次第デアリマス、其他原料ノ騰貴ニ伴フ所ノ幾多ノ不便ハアリマスケレドモ、是ハ只今申上ゲマシタ國力ニ考ヘマシテ、多少價

格ノ變動ハアリマシテモ内地ニ於テ保護シテ行クト云フコトハ現在ノ我國ノ事情ニ於テハ已ムヲ得ナイモノト斯ウ云フヤウナ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 藤原君カラ通告ガゴザイマスノデ、此際大藏大臣ガ出席デアリマスカラ、藤原君、此機會ニ於テ御質疑ヲ願ヒマス

○藤原銀次郎君 昨日來、當委員會ニ於キマシテ、政府御當局ト委員トノ間ニ質問應答ガゴザイマシテ、謹聽イタシテ居リマスルト、此關稅問題ノヤウナ色々複雑シタムザカシイ問題ヲ、此臨時議會ニ御提出ニナツタ理由ハ何處ニアルカ斯ウ云フコトニ付テ多少ノ疑ヲ御持チニナツテ居ル方モゴザイマスヤウデゴザイマシテ、拜聽イタシテ居リマシテ御尤モノヤウニ存ジテ居リマスカラ、此點ヲ大藏大臣ヨリ承ハリタイト存ジマス、ソレカラ又其次ニハ此關稅改正案ガ、若シ通過イタシマシタナラバ滿洲ニ於ケル製鐵業ニ重大ナル影響ガアルデアラウ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ考ヲ有ッテ居ルカト云フコトニ對シテモ、政府委員ヨリ一通リノ御説明ハゴザイマシタケレドモ、尙ホ十分ニ安心ヲ致シ諒解ヲ致シマスルダケニハ至ッテ居ラスヤウニ存ジテ居リマスカラ、

其點モ大藏大臣ヨリ御話ヲ承ハルコトガ出來マシタナラバ大層仕合セト存ジマス

○國務大臣(高橋是清君) 藤原君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、政府ガ此關稅ノ改正案ヲ最モ近イ議會、即チ此臨時議會ニ提出スル必要ヲ感ジマシタノハ、御承知ノ通り昨今ノ此世界ノ有様ハ各、先ヅ其内ヲ整ヘルヲ第一ト致シマシテ、内ヲ整ヘルト云フノハ、成ルベク國內ノ産業ノ助長ヲ圖リ、外國カラ這入ル品物ヲ成ルベク防止スル、是ハモウ何レノ國デモ遠慮ナク外國品ノ輸入ニ對シテハ防止ノ政策ヲ執ッテ居ルノデアリマス、デ一日モ早く我國ニ於テモ矢張り内ヲ整ヘルコトヲ第一トシ、ソレニハ國內ノ産業ヲ十分ニ保護シ、之ヲ助長シテ行ク必要ガアル、而シテ一方ニ於テハ出來得ルダケ外國品ノ輸入ヲ防遏セネバナラス、此理由カラ今期議會ニ提案スルノ必要ヲ認メタノデアリマス、故ニ此豫算ノ上ニ於キマシテモ、御覽ノ通り總テ此關稅改正法ノ通過スルモノト見テ、關稅ノ增收ヲ見込シテ歲入ノ中ニ計上シテアル次第デゴザイマス、歲出モ亦此關稅收入ノ増加ヲ見込シテ計算シテアルノデアリマス、若シ此關稅法案ニ付キマシテ或ハ御修正等ガアリマシテ、歲入ノ上ニ影響ヲ來シマス云フト、其不足ヲ補フ爲

ニ又更ニ赤字公債ヲ出ス、其公債法案ヲ出ス必要ガ茲ニ生ジテ來ルノデアリマス、又從來貴族院ニ於カレテハ歳入ガ定マラス中ハ歳出ノ御審議ガ終ラヌヤウナ状態デアリマス、此關稅ノ上ニ於テ左様ナ影響ガ來マスト云フト、結局此豫算ガ實行不可能ニナル、歳出ノ上ニ於テ……誠ニ重大ナ關係ガアリマスデスカラシテ、此非常ナ場合デアリマシテ、單ニ國內ノ産業ヲ助長シ、之ヲ保護スル必要ノミナラズ、斯ウ云フ場合デアリマスカラシテ、一方ニ於テハ又歳入ヲ圖ルト云フコトモ含マレテ居ルカラ、ドウカ御審議ノ上之ガ通過ヲ致スヤウニ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、又滿洲ノ製鐵事業ノ點ニ付キマシテハ御承知ノ通り滿洲國ハ我が國カラ見レバ矢張り外國デアリマス、獨リ此滿洲國ノ生産品ダケヲ他國ノ取扱ト例外視シテ、恰モ内地ノ製造品ノ如クニ之ヲ取扱フコトハ、國際關係上出來ナイト思ヒマス、併ナガラ滿洲ノ製鐵事業ト云フモノハ、從來滿洲、我が滿洲鐵道會社ノ經營ニナツテ居ル、鐵道會社ノ滿鐵ノ事業ノ大ナルモノヲ爲シテ居ル、故ニ之ニ關シテハ滿洲ニ於ケル我が工業ヲ補助シ、助成スルト云フ意味ニ於テ何トカ方法ガアルガラウト私ハ考ヘテ居リマス、併シ此關稅問題ニ付テ

ハ滿洲ノ生産品ヲ他國ノモノト特別ナ取扱ハ出來ナイト云フコトヲ御承知ヲ願ヒマス、
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット御諮リ致シマスガ、委員外ノ大河内子爵ガ此問題ニ聯關シテ大藏大臣ニ質問ヲシタイト云フコトデアリマスガ、御許申シテ差支ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ大河内子爵
○委員外議員(子爵大河内輝耕君) 質問ノ機會ヲ御與ヘ下サイマシテ有難ウゴザイマス、簡單ニ伺ヒマス、只今ハ會計法上ノ問題トシテ御尋ネ致シマスガ、只今大藏大臣ノ御言葉ノ中ニ貴族院デハ歳出ヲイデラナケレバ歳入ハイデラナイト云フヤウナ御言葉ガアリマシタガ、チョット誤解ガアルトイ

ケマセヌカラ、明ラカニシテ置キタイノデアリマスガ、此點ニ付キマシテハ此前競馬法ノ時ニ問題ガアリマシテ、豫算ト法律案トハ可分ナリヤ不可分ナリヤト云フコトノ大變議論ガゴザイマシタ、私共ハ實ハ不可分説ヲ執リマシタガ、三土大藏大臣ヲ始メトシテ、皆様非常ニ熱心ナ可分論デアリマシテ、是ハ衆議院ト同ジャウニ豫算ニ關聯スル法律案ガ成立タナイデモ、否決ニナツテ

モ、或ハ審議未了ニナツテモ、豫算ハ成立ツノデアルト云フコトノヤウニ決定サレタト云フコトニ私ハ承知シテ居リマス、大藏大臣モ無論サウ御認めノコトト思ヒマスガ、只今ノ御言葉デチョット其所ノ所ガ明瞭イタシマセヌカラ、念ノ爲メ伺ヒマス

○國務大臣(高橋是清君) 只今私ノ申シマシタコトニ付テ、此豫算ト豫算ニ關聯シタ法案ト不可分デアアル、或ハ可分デアルト云フコトニ付テハ、マダ不肖其コトニ付テハ十分ニ考究シテ居リマセヌ、唯申シマシタノハ、自分ノ記憶ニ依リマス、從來貴族院トシテハ不可分論デ通ツタト、斯ウ記憶シテ居ルノデ申上ゲタノデアリマス

○委員外議員(子爵大河内輝耕君) ソレデハソレハ可分デアッタト云フコトヲ御認めニナツタコトト存ジマス、尙ホ茲デ大藏省ノ政府委員ガ御出デニナリマスガ、左様ニ心得テ宜シウゴザイマスガ、主計局長ハ才出デニナリマセヌカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 今ノ問題ハ大藏大臣ダケノ説明ニ止メテ戴イタ方ガ都合ガ宜シウゴザイマス、別ノ機會ニ更ニ御尋ネヲ願ヒタイト思ヒマス、大藏大臣ニ答辯ヲ御求めニナツタノデアリマスカラ、大藏大臣ノ御説明デ一應打切りニシテ戴キタイト

思ヒマス

○委員外議員(子爵大河内輝耕君) ソレデハ可分ト云フコトヲ御認め下サレバ私ハ是レデ止メマス
○國務大臣(高橋是清君) 私ハ可分不可分ト云フコトニ付キマシテハ、私ノ意見ヲマダ決メテ居リマセヌ

○委員外議員(子爵大河内輝耕君) ソレデハ暫ク質問ヲ御許シ願ヒマス、此前ノ議會ニ於キマシテ、ソレハ競馬法ノコトデゴザイマシタカ、問題ガゴザイマシテ、豫算ヲキメナイデ置イテ、イデラナイデ歳入許リイデルノハ怪シカラヌデヤナйкаト云フ話ガ起タ、豫算ト法律トハ可分ナリヤ不可分ナリヤト云フ問題ガ出タ、ソレヲ色ミ審議ノ末、可分トスベキモノナリ、詰リ歳入ガ削ラレタナラバ削ラレタノデ仕方ガナイト云フコトニ決定シテ、其歳入ノ法律案ガ削ラレテモ、歳出ノ豫算ハ豫算トシテハ成立スルノデアアル、斯ウ云フコトニ決定シタ、主計局長ハ定メシ御承知デアラウト思ヒマス、其通り心得テ宜ウゴザイマスガ

○政府委員(藤井貞信君) 途中ニ參リマシテ御質問ノ要旨ヲ完全ニ了解イタシテ居リマセヌカ知レマセヌガ、只今御伺ヒマシタ所デ一應御答ヘ致シマスガ、關稅ノ今回ノ

改正ニ依リマシテ、豫算トシテハ、歳入ノ増額ヲ約一千六百萬圓見込シテ居リマス、デ此ノ關稅ノ改正ニ關スル法律案ト豫算案トノ關係ハ、政府ハ何ウ思ハレテ居ルカ、斯ウ云フ御質問ノ要旨ト思ヒマスガ、數年前ニ貴族院ニ於ケル豫算審議ノ期間ヲ定メラレル法律案ガ出マシテ、其後法律案ト豫算案トノ關係ニ付テ、色々御審議ニナリマシテ、只今大河内子爵ノ御話ノ如ク、豫算案ハ豫算案トシテ審議ヲ進メ、法律案ハ法律案トシテ審議ヲスル、一應貴族院トシテノ御取扱ヒハサウナッテ居ルヤウニ私ハ承知シテ居リマスガ、併シ此ノ點ニ付キマシテ、特ニ本回ノ關稅改正法ニ付キマシテ、關聯シテ申上ゲテ置キタイコトハ、不斷、普通ノ場合デアリマスナラバ、國家ノ歲計ニ於テ多クノ場合ニハ剩餘金ガアリマス、前年度ノ剩餘金ガアリマセヌニ致シマシテモ、當該年度ノ豫算ノ編成ニ於キマシテハ、多クノ場合ニアリマシテハ、歳入ノ方ガ歳出ニ超過イタシテ居リマシテ、歳入ニ過剩ガアルト云フコトガ普通ノ例デアリマス、併シ今回ハ御承知ノ如キ事情ニ依リマシテ甚ダ變則デアアル、政府トシテハ誠ニ遺憾ノ次第デアリマスガ、逆ニ歳入ガ足りマセヌ、所謂赤字公債ヲ以テ歳入歳出ノ權衡ヲ計ラ	ネバナラスト云フヤウナ状態ニナッテ居リマスノデ、若シ此際關稅改正ニ關スル法律案ガ何等カノ變化ヲ加ヘラレマシテ、延ヒテ歳入豫算ガ只今我々ノ見テ居リマスモノヨリカ、更ニ減少スルト云フコトニナリマスレバ、其結果ハ歳入ト歳出トノ關係ニ於キマシテ、更ニ歳入ノ不足ガ増額イタシテ参リマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、所謂赤字ガ多クナリマシテ、赤字公債トシテ一億六千萬圓ノ法律案ヲ出シテ御協賛ヲ願フテ居リマスガ、其法律案ヲ改正イタシマシタ何等カノ方法ヲ講ズルニアラザレバ、其儘デハ政府トシテハ歳入豫算ノ實行ガ不能ニ陥リ、普通ノ場合ニアリマスナラバ多少ノ歳入ガ減額イタシマシテモ、何トカ其剩餘金等デ支辨スベキガ普通ノ例デアリマシタガ、今回ハ全ク其點ハ例外デアリマシテ若シ此際歳入豫算ガ減額ヲサレルト云フコトニナリマスレバ、政府トシテハ此儘デハ豫算ノ實行ガ責任ヲ以テ出來ナイト云フ、斯ウ云フ結果ニ理論トシテナラウト思ヒマス、併シ只今大藏大臣ハ……私人ト來タバカリデアリマスガ、法律案ト豫算案トノ審議ノ關係ニ付テハ、自分ハマダ意見ヲ決メテ居ラナイ、斯様ニ仰セラレタヤウデアリマシテ、入ッタバカリデアリマシテ、能ク了
解イタサナカッタノデアリマスガ、政府トシテ此點ニ對シテ如何ヤウニ考ヘテ居リマスカ、實ハ政府委員トシテ此點ニ對シテハハッキリシタコトヲ申上ゲ兼ネマス、豫算ニ關スル影響ハ只今申上ゲタ事情ヲ御承知ヲ願ヒマス ○委員外議員(子爵大河内輝耕君) 私ハチヨット、途中カラ御入リニナッタカラ私ノ質問ノ意味ガ能ク御分リナカッタノデ意見ガ出テ來タノデアリマス、私ハ會計法上ノ問題トシテ御尋シタノデアリマス、是ガ豫算ガ否決ニナリマスレバ、成ル程千六百萬圓ダカ何ダカノ缺陷ガ出テ來マセウ、併シ是ハ此次ノ議會ニ於キマシテ赤字公債ノ基礎ヲ直スカ、或ハ一千六百萬圓ノコトデゴザイマスカラ主計局デ努力サレテ其位ノ歳入ノ……歳出ノ缺陷位ハ補フコトガ出來ル、殊ニ是カラ後ハ通貨ノ方ノ改正ナドモアリ、農村振興ナドモアルカラ歳入ナドモ殖エテ來ルト云フコトハ絶對否認スベキコトデナカラウト思ヒマスルシ、ソレカラ又外ニ是ハマア會計法上ノ問題デサウシロト云フ譯デアリマセヌガ、外ニ増稅ト云フ途モゴザイマセウ、是等ノ諸點カラ考ヘマシテ、サウ云フヤウナ方法ヲ執レバ、豫算ト法律トノ權衡調和ガ取レテ行カウト思フ、是ハ	會計制度ノ上ノ問題トシテ伺ヒマス ○政府委員(藤井真信君) 假ニ此際關稅ニ關スル改正法律案ノ關係ニ於キマシテ千六百萬圓位ノ歳入ノ減少ヲ生ジテモ何等カノ方法ニ依テ歳入ト歳出トノ「バランス」ヲ得ルヤウニ努メテ、政府トシテハ豫算ノ實行ガ出來ルデヤナイカト云フ趣旨ノ御尋ネデアッタヤウニ拜承シマシタガ、併シ只今御協賛ヲ願フテ居リマス追加豫算ハ政府トシマシテモ非常ナ苦心ヲ致シタ結果作ッテ居ルノデアリマシテ、歳入ニ於キマシテモ勿論見積リノ過大ヲ避クベキハ申スマデモナイコトデアリマシテ、御協賛ヲ願フタ後ニ於テ更ニ歳入ガ特ニ減少ヲ致シテ豫算ノ實行ガ出來ナクナルヤウナコトヲ出來ルダケ避ケル、正面カラ申上ゲマシタナラバ歳入豫算ノ見積リハ出來ルダケ確實ニスルト云フ意味ヲ以チマシテ不成立豫算ニ於テハ昨年ノ大體十月前後マデノ実績ヲ基礎トシテ見積リヲ立テテ居リマシタモノヲ、今日ノ如ク財界ノ變動ノ著シイ場合デアリマスカラ成ベク最近ノ事實ヲ基礎トシテ見積ヲ確カニスルト云フ意味ニ於キマシテ、本年ノ二月ヲ標準ト致シテ見積リヲ致シタ、即チ今回ノ實行豫算ハ三月ノ下旬ニ編成ヲ致シタノデアリマスカラ、其場合ニ於キマシテ出

來ルダケ最近ノ事實ヲ探ラウト云フコトデ
見積リヲ致シ、見積替ヲ致シタ、斯ウ云フ
ヤウナ狀態デアリマシテ、今後財界ノ狀況
ガ更ニ政府ノ豫期セザル點ニ於テ變更ヲ生
ズレバ是ハ別デアリマスガ、實行豫算ヲ編
成イタシマス場合ニ於テハ出來ルダケ實際
ニ近イモノヲ云フ意味ニ於テ歲入豫算ヲ見
積ッテ居ルノデアリマス、又歲出ニ於キマ
シテモ前々内閣、前内閣以來、出來ルダケ
ノ無駄ヲ少クシヤウ、又出來ルダケノ歲出
ノ節約ヲ圖ラウト云フ意味ニ於テ作ラレテ
居リマシタ節約ハ、大體ニ於テ其儘只今御
協贊ヲ願ッテ居ル豫算ニ於テモ踏襲サレテ
居ルノデアリマシテ、此上更ニ七年度即チ
本年度ノ豫算實行ノ中途ニ於テ著シキ歲出
ノ減額ヲ圖ルト云フコトハ實行上餘程困難
デハナイカト考ヘマス、デ此意味ニ於キマ
シテ歲入ニ於テモ、歲出ニ於テモ只今政府
ガ編成イタシテ居リマス實行豫算ニ千數百
萬圓ノ財源ノ不足ヲ生ズルト云フコトガ明
瞭ニナッタ場合ニ何トカナルデアラウト云
フ意味ニ於テ、政府トシテ豫算ヲ實行スル
コトハ甚ダ困難ダト考ヘマス、即チ此際政
府ト致シマシテハ、若シ歲入豫算ガ此法律
案ノ關係ニ於テ變更ヲ加ヘラレタト云フコ
トデアリマスレバ、之ニ對スル相當ノ方法

ヲ講ズルコトが必要ニナルノデハナカラウ
カ、是ハ私主計局長トシテ左様ニ考ヘマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット此際
ニ御諮リ致シタイト思ヒマスガ、今委員外
ノ大河内君カラノ御質問デアリマスガ、要
ハ關稅法ト豫算トノ關係ニナッテ居ルノデ、
我々承ハッテ居リマス、大體ニ於テ諒解
シタヤウニ思ヒマス、時日モナイコトデア
リマスカラ此上ハ御尋ネヲ打切りマシテ、
此關稅法ノ内容ニ互ッタル質問ニ戻ッタ方ガ
宜クハナイカト思ヒマス
〔サウシテ戴キタイト思ヒマス〕ト呼
フ者アリ
○委員外議員(子爵大河内輝耕君) モウ少
シアリマスカラ……
○男爵斯波忠三郎君 チョット私ハ其問題ニ
付テ申上ゲテ見タイト思ヒマス、只今大河
内子爵ノ御質問カラ端ナクモ斯ウ云フ問題
ガ起ッタノデアリマス、私ハ是ハ當然可分
ナルモノト考ヘテ議シテ居ッタノデアリマ
ス、是ガ果シテマダ分ラナイモノデアアル、
又場合ニ依テハ是ハ不可分ナモノダトナレ
バ我々茲ニ議スル必要ハナイ、此問題ハ之
ハ非常ニ大切ナ問題デアリマスガ、皆サン
ドウ考ヘルカ知リマセヌガ、私共ハ初メ
カラ可分ナモノデ宜イノダラウト云フ、自

由ナ討議ヲシテ宜イノダラウト思ッテ居タ
ノデアリマスガ、誠ニ意外ナ空氣ニ相成ッタ
ノデ……
○田村新吉君 兎ニ角今少シク繼續シテ戴
イテ我々明瞭ナ解釋ヲ得タイト思ヒマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 今主計局長ト
大河内子爵ト問答ガ明瞭ニナッタヤウナ氣
持ガ致シテ居リマスソコデ……
〔此時委員外議員子爵大河内輝耕君委
員長ト呼ブ〕
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット御待
チ下サイ發言中デスカラ……斯波男爵ノ御
質問ハ是ハ御尤モト思フノデアリマス、其
點ヲ明白ニスル必要ガアリマスナラバ、大
藏大臣ハ今外ノ席ヘ行ッテ居リマスカラ他
ノ機會ニ於テ之ヲ明白ニシテ審議ヲ致シタ
ラ宜カラウト思ヒマス、ソレデ甚ダ何デス
ガ、大河内君ノ質問ハ一應之デ御打切りヲ
願ヒタイト思ヒマス
○委員外議員(子爵大河内輝耕君) 今主計
局長ノ仰シタルノハ少シ私ノ意味ヲ取違ヘ
テ居ラッシャル、實行上ノ困難ヲ頻リニ仰シ
ヤル、私ハ會計法上ノ問題ヲ質問シテ居ル、
赤字公債ヲ出セバ實行ガ出來ル、會計法上
其事ヲ決メタラソレデ宜シイ、ソレヲスル
カシナイカ、財政上宜イカ悪イカ、ソナ

コトヲ聽イテ居ルノデナイ、法律上サウ云
フコトヲ爲シ得ル、ソレサヘ御認メ下サレ
バイツデモ質問ヲ止メマス、政策上ノ議論デ
ゴザイマセヌ、ソレハ御認メニナッタノデス
カ、御認メニナラナイノデスカ、御認メニ
ナリマシタカ、次ニ赤字公債ヲ出セバ法律
上トシテ其缺陷ハ償ヘル結果ニナル、法律
論ヲ承ッテ居ル
○政府委員(藤井真信君) 御質問ノ趣旨ヲ
少シ或ハ御答リシヤウガ惡カッタノカモ知レマ
セヌガ、現在ノ會計法ノ組織ニ於キマシテハ
申上ゲルマデモナク當該年度ノ歲入ヲ以テ、
當該年度ノ歲出ヲ支辨スベシト云フ大原則
ガ確立サレテ居ルノデアリマス、苟モ政府
ガ責任ヲ以テ豫算ヲ實行イタシマス場合ニ
財源ノ不足ヲ生ジテ居ルト云フコトヲ承知
イタシナガラ、之ヲ進ンデ何トカナルデア
ラウト云フコトデ其儘過ゴスベキモノデナ
イト、思ヒマス、只今仰セノ如キモノハ現
在ノ會計法ノ規定ノ精神ニ鑑ミマシテ適當
ナラズトス様ニ私ハ考ヘテ居リマス
○委員外議員(子爵大河内輝耕君) ソコガ
ドウモチョット政策論ト一致シテ居ナイヤ
ウニ思ヒマスケレドモ、兎ニ角成程一時ハ
赤ガ出マセウ、一時ハ赤ガ出マスガ、後ハ
ソレハ歲出ヲ節約スル、或ハ赤字公債ヲ増

加スルト云フコトヲスレバ、歳出ノ節約ノ絶對ニ出來ナイコトハ仕方ガナイ、千六百萬圓ノ不用額ガ出ナイ譯デモアリマスマイ、サウ云フコトヲスレバ事實不可能トカ可能トカハ聞クノデハアリマセヌ、豫算ノ執行ノ上カラ云ヘバ法律デハ差支ヘナヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(藤井真信君) 私ノ申上ゲテ居ルノハ一旦豫算ヲ組ミマシテ實行シタ結果、決算ニ赤字ノ出ルコトハ是ハ已ムヲ得マセスト思ヒマスガ、苟クモ豫算トシテ御協贊ヲ仰イダ場合ニ、初メカラ赤字ガ出ルト、其赤字ハ後デ何トカナルドラウト云フヤウナコトデ御協贊ヲ仰グベキデハナイ、現在ノ會計法トシテハ……斷ジテ左様ナコトヲ考ヘテ居ルノデハナイノデアリマシテ、初メカラ當該年度ノ歳入ヲ以テ當該年度ノ歳出ヲ支辨スベシト云フ原則ヲ、政府トシテ責任ヲ以テ實行スベキモノト、斯様ニ私ハ解釋シテ居リマス

○委員外議員(子爵大河内輝耕君) 餘リ長クナリマスカラ此位デ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ御質疑ヲ願ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 大藏大臣ハ御出席ニナリマスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 今相談シテ見マセウ

○子爵井上匡四郎君 今ハ陸軍ニ對シテノ御質問ニ限ッテ居リマスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) イイエ、サウデヤアリマセヌ

○子爵井上匡四郎君 質問ノ前提ト致シマシテ、現在ノ鉄鐵及ビ鋼材ノ需要供給ガドウ云フ風ナ状態ニナッテ居ルカト云フコトヲ簡單ニ述ベテ、ソレカラ質問ニ移リタイト思ヒマス、私ノ調べマシタ所ニ依リマスルト、昭和六年度ノ鉄鐵ノ産額ハ約百四十萬噸、鉄鐵業者ノ中デ所謂製鋼一貫作業トシテ、自分ノ作りマシタ鉄鐵ヲ、自分ノ工場デ鋼ニ變ヘマスル其工場ノ産額ハ、其中ノ五八、七「プロセント」、其残りノモノガ所謂製鉄業者デアリマシテ、ソレガ四一、三「プロセント」、數量ニ致シマシテ五十七萬三千噸トナルノデアリマシテ、此製鉄業者ノ鉄鐵ガ今日問題ニナル鉄鐵デアルノデ、片方製鋼ノ方ヲ見マスルト、昭和六年度ハ約百五十萬噸ノ鋼材ガ我國デ産出サレテ居ル、其中デ所謂製鋼一貫作業ニ依ッテ、製鉄所初メ其他民間ノ一貫作業ニ依ッテ産出サレル所ノ鋼材ハ五二、三「プロセント」、残りノ四七、七「プロセント」ト云フモノハ製鋼

事業者ノ造リ出ス所ノ鋼デアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、本案ノ目的ハ此製鉄事業者ノ四一、三「プロセント」ト云フモノガ、製鋼事業者ノ製鋼ノ産額、即チ四七、七「プロセント」ノ方ニウマク利用サレレバ此法案ノ目的ハ達スルノデアリマス、茲ニ然ルニ昭和六年度ニ於テハ所謂印度鉄鐵ノ十五萬噸ト云フモノノ輸入ガアリマシテ、是ガ製鋼ノ方ニ這入りマス爲ニ量ハ少量デアリマスガ、價格ニ於テ非常ナ攪亂ヲ來タシマス、從ッテ日本ノ製鉄事業者ハ非常ナ威嚇ヲ受ケテ居ルト云フコトガ實狀デアラウト思ヒマス、ソレデ本案ノ目的ハ僅デアリマスガ、百五十萬噸ノ印度鉄鐵ハ關稅ニ於テ防止スルト云フコトガ本案ノ目的デアルノデアリマスガ、茲ニ我々考ヘナケレバナラヌノハ、此製鋼事業者ノ原料ノ目的物デアル所ノ鉄鐵ノ外ニ屑鐵即チ「スクラップ」ガ二十九萬五千噸約三十萬噸印度鉄ノ丁度倍ニ達スルダケノモノハ輸入サレテ居ルノデアリマス、昭和六年度ニ於テ此屑鐵ハ無稅デアール、鉄鐵ヨリモ比較的安イ値段デ這入ッテ來ルサウデアリマスカラ印度鉄鐵ニ課稅イタシマシテ、是モドウカ分リマセヌガ、幸ニシテ十五萬噸ノ印度鉄鐵輸入ヲ防止シ得タト致シマシテモ、此屑鐵ノ輸入ガ一方ニ

於テ増加イタシマシテ、此案ノ目的ト致シマス所ノ製鉄業者ガ供給スル所ノ鉄鐵ガ圓滑ニ製鋼業ノ方ニ使用サレテ行クト云フ目的ハ到達サレナイノデハナイカト云フ疑ヲ持ツノデアリマスガ、此點ニ付テ先ヅ政府ノ御見込ヲ承リタイト思ヒマス、勿論鉄鐵使用者ト云フモノハ製鋼業者ノミデハナイ、鑄物業者トシテ「ズク鐵」ヲ鑄物ト致シマシテ使用スル相當ノ製造家ガアリマス、此中デ最モ大イナルモノハ鐵管製造者ト考ヘルノデアリマスガ、此鐵管製造者ニ對シテ此關稅ヲ上ゲタ爲ニドウ云フ風ナ影響ヲ來タスカト言ヘバ、是ハ是モ痛切ニ此負擔ヲ直接ニ感ズルノデアリマス、「ズク鐵」ノ製品ハ比較的價格ノ安イモノデアル、從ッテ原料ノ費用ガ其中ノ非常ニ大キナ部分ヲ占メル、然ルニ幸ニシテ日本ノ製管業ハ最近非常ナ發達ヲ致シマシテ、最近聞ク所ニ依ルト五萬噸バカリモ和蘭マデ輸出スルト云フヤウナ、鐵管ガ輸出サレルト云フヤウナ状態迄ナッテ來テ居ル南洋ノ瓜哇邊リハ勿論輸出サレテ居ルノデアリマスガ、歐羅巴マデ日本ノ鐵管ガ輸出、行カムトスル、モウ既ニ行ッタノデ、モウ契約ハ出來タサウデアールガ、其程度マデ此製管業ガ發達シテ居ル、斯ウ云フモノハ僅ノ原料ノ騰貴デ以テ此産業

ノ發展ヲ阻害サレト云フヤウナ狀態ニナルノデアリマス、只今申シマシタヤウニ第一此印度鉄鐵ノ輸入ヲ之ニ依テ果シテ防止スルコトガ出來ル、印度鉄鐵ノ輸入ヲ防止シ得タト致シマシテ内地製鉄業者ノ鉄鐵ガ製鋼ノ方ニウマク利用サレテ行クカドウカト云フコトニ付テ第一私ハ非常ナ疑ヲ持チマス云フコトト、之ニ依テ最モ痛切ナ負擔ヲ負ヒマス所ノ只今申シマシタ鑄物業者ニ對スル困難ハ非常ナモノガアルダラウト思フノデアリマス、幸ニシテ今海外ニ發展セムトシツツアルサウ云フ産業ニ對シテ、其發達セムトスル芽ヲ取去ルト云フコトモ甚ダ惜シイ感じガスルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ先ヅ商工大臣ノ御所見ヲ承リマシテ次ノ質問ヲ致シマス

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今ノ御質問、甚ダ相濟ミマセヌノデスケレドモ、チヨト私他ニ約束サレテ居リマスノデスガ、政府委員カラ御答ヘ致シマシテ宜シウゴザイマスカ、今其コトヲ傳ヘテ置キマシタガ……

○子爵井上匡四郎君 ドウカ……

○政府委員(福田庸雄君) 私カラ代テ御答辯申上ゲタイト思ヒマス、第一番ノ御尋ハ、一體一貫作業ニ依テ生ズル鋼材ノ

鉄鐵生産歩合ハ割合ニ少イ、寧ロ印度鉄、其他ノ材料ヲ用ヒテ、材料ヲ外カラ買ッテ、サウシテ鋼材ニ致シテ居ルト云フ工場ノ生産額ハ遙カニ多イト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレニ對スル保護ヲ如何ニスルカト云フ御尋ノヤウニ拜承イタシマシタ……

○子爵井上匡四郎君 折角御答ヲ願フノデアリマスカラ間違ノナイヤウニ致シタイノデアリマスガ、製鋼專業者ノ造ル鋼ノ方ガ一貫作業ヨリモ多イトカ少イト云フ問題デハナイノデアリマス、此製鋼材料トシテ屑鐵ガ印度鉄鐵ノ倍モ現在入ッテ居リマスサウデアリマスカラ、幸ヒニシテ課税ニ依ッテ印度鉄鐵ヲ防止シ得タトシマシテモ、製鋼業者ハモット屑鐵ヲ輸入シマシテ、屑鐵ヲ製鋼ノ原料トシテ使フデアラウカラ、内地デ出來ル所ノ鉄鐵ガ製鋼ノ方ニ捌ケテ行クト云フコトハナイノデハナイカト云フノガーツデアリマス

○政府委員(福田庸雄君) 只今ノ御質問ハ誠ニ御尤モナ御質問ト存ジマス、私共モ此鉄鐵ノ保護ヲ致シマスニ付テハ、或部分ニ於テ此鉄鐵ノ代用品ニナリマスル所ノ屑鐵ニ對シテモ、相當ノ關稅ヲ課スルト云フヤウナコトヲ考ヘナケレバナラヌノヂヤナイカト云フ風ニ一應考ヘタノデゴザイマ

ス、御承知ノ通り、金ノ輸出再禁止以前ニ於キマシテハ、屑鐵ガ非常ニ安ク輸入サレマシテ、其爲ニ内地ノ鉄鐵ノ市價ハ相當印度ノミナラズ、其方面カラ相當脅威ヲ蒙ッテ居ッタト云フ風ニ考ヘラレルノデゴザイマスガ、此關稅ヲ考ヘマスルニ、調査イタシマス時代ニナリマシテ、大分屑ノ方ガ金輸出再禁止ノ爲ニ上ッテ參リマシテ、一頃ハ噸二十九圓、斯ウ云フヤウナ輸入相場ヲ現スコトニナリマシテ、差當リ此狀勢ニ於キマシテハ、先ヅ此鉄鐵ノ關稅ヲ引上ゲマシテ鉄鐵ノ輸入ヲ防止イタシマスレバ、屑鐵ノ方ハソレ程憂フルニ足ラナイノヂヤナイカ、又併セテ之ヲ引上ゲルト云フコトニナリマスレバ、其製品ニ及ボス影響ト云フモノモ相當ニ考慮シナケレバナラナイノデゴザイマスカラ、先ヅ現狀ニ即シマシテ鉄鐵ノ關稅ヲ引上ゲ、サウシテ日本ニ非常ナ巨額ニ遣入ッテ居リマス所ノ印度鉄鐵ノ輸入ヲ防遏シテ置ク、サウシテ尙ホ其後ノ狀態ガマダソレダケデハイケナイト云フヤウナ若シモ狀態ガアリマシタナラバ、其時代ニ即シテ更ニ次ノ最近ノ機會ニ於テ何トカ考ヘル方が妥當デハナイカ、此際ノ最大ノ急務ト致シマシテハ、先ヅ此印度鉄鐵ノ輸入抑壓ニ努メルト云フコトガ最モ緊急ノコトデアラ

ウ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、取敢ヘズ輸入鉄鐵ノ課税ト云フコトニ此際ハ限定イタシマシタ次第デアリマス、又此「スクラップ」ニ付キマシテハ御承知ノ通り内地ニ於ケル生産ガマダ十分デゴザイマセヌノデ、只今御話ノ通り相當數量ノ輸入モゴザイマス、又是ハ工場ノ主產物デナクテ副產物デゴザイマスノデ、其供給ニ限りモゴザイマスカラ、稍、其性質ニ於テモ其生産物タル鉄鐵トハ趣ヲ異ニシテ居ルノヂヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第デゴザイマス、次ニ鑄鐵管ニ對スル問題デゴザイマスガ、是ハ又御話ノ通り鉄鐵ノ値上リヲ致シマスト假定イタシマスレバ最モ重大ナル影響ヲ受ケル品物デアルト承知イタシテ居リマス、併シ昨日來續々申上ゲテ居リマス通り現在ノ情勢ニ於キマシテハ、多少鉄鐵ノ關稅ヲ引上ゲマシテモ、直ニ是ガ市價ニ反映イタシマシテ、著シイ値上ゲガ生ズルトカ云フヤウナコトハ現下ノ製鐵界乃至消費者ノ狀況カラ見マシテモ考ヘラレナイコトダト思ヒマスノデ、實際上ニ於テハ鉄鐵ノ値モ大シテ上ガナライヂヤナイカ、若シ鉄鐵ニ對シテ四圓ノ稅ヲ課ケマシテ、其爲ニ四圓値ガ上ッタトシマスレバ、ソレハ今ト同ジ條件ニ於テ、外國ノ鉄鐵ガ這入リ得ルコトニナリマスノデ、

實際ハソレヨリズト下値デ賣捌カナケレバナラヌコトニナリマシテ、又非常ナル「ストック」ヲ擁シテ居リマスル現狀ニ於キマシテ、直段ノ著シキ釣上ゲト云フヤウナコトハ是ハ想像モ及バナイデヤナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、假ニ此鐵ノ市價ガ上リマシタガ爲ニ、今御話ノ鑄鐵管ノ輸出ト云フヤウナコトニ惡影響ヲ及ボスヤウナ場合ニ際シマシテモ、是モ御承知ノ通り戻稅ノ制度ガアリマスノデ、外國ノ鉄鐵ガ日本ノ鉄鐵ヨリ安イト云フ場合ニハ、其外國ノ鉄鐵ヲ無稅同様ニシテ使ヒ得ルト云フコトニモナリマスノデ、マア稍手續ハ多少繁雜ニナルカモ知レマセスガ、實際上ニ於テ、此輸出鑄鐵管ノコトニソレ程ノ影響ヲ及ボス惧レハナイデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵井上匡四郎君 只今ノ政府委員ノ御答デ、或意味ニ於テ製鋼ノ材料トナル屑鐵ト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、製鋼ノ材料ト致シマシテハ、屑鐵ガ最モ良イ材料デアアルノデアリマス、鉄鐵カラ鋼ヲ造ルト云フコトハ寧ロ是ハ費用ノ掛カル問題デア、無稅ノ屑鐵ト無稅ノ鑄石ヲ持チマシテ鋼ニ變ヘルト云フコトガ一番安イ製鋼ノ方法デアアルノデアリマス、鉄ヲ使フト云フコ

トハ寧ロ費用ノ掛カル問題デア、内地ニ於テハ御話ノ如ク日本ハ工業ノ幼稚ナ國デアリマスカラ屑鐵ノ材料ガ少ナイノデアリマシテ、已ムヲ得ズ此鉄鐵カラ鋼ニ變ヘルト云フ仕事ガ行ハレテ居ルノデアリマスルガ、歐米ニ於ケル屑鐵ノ澤山供給サル所ニ於キマシテハ、屑鐵ヲ以テ鋼ヲ造ルト云フコトガ、是ガ本業デアアルノデアリマス、デアリマスルカラ、此僅ナ鉄鐵ヲ止メマシタ所デ屑鐵ガ幾ラデモ這入ル現在ノ有様ヲ見マスルト云フト、皆様モ此經濟狀態ハイツ回復スルカ分ラヌト云フコトハ一般ニ財政經濟家ノ唱ヘル所デアアルノデアリマスガ、此經濟狀態ガ各國ヲ支配シマス間ハ、殊ニ亞米利加ノ如キハ日本ヨリモヨリ一層ヒドイ製鐵業ハ打擊ヲ受ケテ居ルノデアリマス、亞米利加ノ製鐵業ハ殆ド四分ノ一ニ縮少シテ仕事ヲシテ居ルト云フ狀態デア、從テ其意味カラ行キマシテモ、屑鐵ノ供給ハ將來十分日本ノ僅ナ四十萬噸位ノ供給ハ長ク續クコトデアアラウト思ヒマス、又一方カヲ考ヘマシテモ現在ハ工業ノ革命期デア、總テ古ク造リマシタ所ノ施設ト云フモノハ、殆ド新シイ發達ニ於テ之ヲ其儘使ッテ行クコトハ出來ナイト云フ狀態ニアルノデアリマス、極ク普通ナ例ヲ以テ言ヒマス、今マ

デ非常ナ澤山ナ數アリマシタ「ボイラー」、斯ウ云フモノハ低イ壓力ノ「ボイラー」デアッタノガ、現在ハ非常ニ高イ壓力ノ「ボイラー」ニ代ヘナケレバナライノデ、ソレ等ノモノト云フモノハ皆「スクラップ」トシテ出テ來ルノデアリマス、多數ノ船ハ又改造サレマシテ、古船ハ將來トモ長ク「スクラップ」トシテ出テ來ルノデアリマス、サウ云フ源ヲ防ガズニ於テ、サウシテ此僅ノ印度鉄鐵ノミヲ目的トシテ之ニ課稅シマシタ所デ、ソレニ依ッテ製鋼業者ト云フモノハ内地ニ出來ル所ノ高イ鉄鐵ヲ使ッテ都合ノ惡イ製鋼事業ヲヤラウト云フコトハ、是ハ政府ガ命令デモスルニ非ザレバ、唯經濟的ニ鋼ヲ造ラウト云フ製鋼業者ノ立場カラ言ヒマス云フト、到底私トシテハ其目的ヲ達スルコトハ出來ナイノデア、政府デハ、或ハソレガイケナカッタ、其時ニハ又適當ナ方法ヲ採ルト云フ御答辯デアリマスガ、此現在非常ナル場合ニ於キマシテ、斯ノ如キ課稅ヲスルト云フニ對シテハ、將來ハドウナルカ分ラヌト云フヤウナコトデ、此三十何割モスル稅ヲ増加スルト云フコトハ如何デアラウカ、モウ少シ屑鐵ニ對スル、屑鐵ト製鋼ニ對スル政府ノ將來ヲ見越サレタ所ノ御見込ヲ承リタイ、若シ斯ウ云フ風

ニシタナラバ、日本ノ鉄鐵ハドウ云フ風ニ消化サレルダラウカ、ドウ程度ニ消化セラレベキデアラウ、今マデアアル所ノ五六十萬噸ノ鉄鐵ノ大部分ト云フモノハ何年位ニシテ消費サレルモノデア、アルカト云フ御見込ハ相當ニアルノデアリマス、一ツ御腹藏ナク其點ノ御見込ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヘ申上ゲマス、誠ニ御尤モナ御質問ダト思ヒマスガ、此「スクラップ」ノ供給ニ付キマシテハ、御承知ノ通り成ル程是ハ此不況時代デゴザイマスカラ、外國ニ於テモ需要ガ少イデアラウカラ、日本ニモドン／＼必要ガアレバ輸入サレルデアラウ、斯ウ云フ御言葉デゴザイマスガ、現ニ最近爲替ノ變動ニ依リマシテ非常ナ買付ガ外國ニ對シテ起リマシテ、其結果ガ非常ナ値上リヲ見タト云フヤウナ事實モゴザイマシテ、矢張り此供給ニハ限リガアリマスノデ、此鉄鐵ノ代リニウント「スクラップ」ヲ餘計使ハウト云フコトニナッテ輸入ヲ促進スルト云フコトニナレバ、自然ソコニ「スクラップ」ノ値上リガ生ジテ來ルト云フコトニナリマシテ、矢張りサウ自由ニ安ク「スクラップ」ガ買ヘルモノデヤナカラウ、又此爲替相場ノ關係モゴザイマスノデ、從前ノ時分ニ安ク多量ニ「スクラップ」

ヲ得ラレト云フコトハ困難デヤナカラ
ウカ、現下ノ情勢ニ於テハ斯ノ如ク判斷イ
タシマシテ、此「スクラップ」ノ課税問題ハ此
際差控ヘタ次第デゴザイマス、又此將來ヲ
考ヘマス、鉄鐵ノ需要モ段々増加イタ
シテ參リマスノデ、「スクラップ」ノ需要モ亦
今日ヨリモ一層増加スル、ソレデ此鉄鐵ノ
需要ノ増加ト共ニ「スクラップ」ノ需要ガ増
加スレバ、矢張り「スクラップ」ノ値ハ相當ノ
所ヲ、輸入値段ハ相當ノ所ヲ維持スルノデ
ヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、

シテ斯ノ如キ生産減ヲ致シマシテ僅ニ今日
ヲ持シテ居ル事業ノ狀況デゴザイマスカ
ラ、セメテ外國カラ來ル鉄鐵ダケハ兎ニ角
之ヲ差止メテ置イテ、サウシテ其後ニ内ヲ
下ゲテ然ルベク滯貨ノ處分ナリ生産ノ増加
ナリ、サウ云フコトニ付十分ノ對策ヲ講
ジタイ、取敢ヘズ外國カラ來ル物ヲ抑ヘテ
置カナケレバ益、此狀態ヲ惡化サセルダケ
デア、斯ウ云フ考カラ致シマシテ、此増
徴ヲ企テヤウナ次第デゴザイマス

基礎數字トナッテ居ル所ノ鉄鐵一噸當リ三
十五圓六十五錢ト云フノハ是ハ世界的ノ考
ヘデアリマシテ少シ高過ギヤシナイカト云
フ感ジヲ持ッテ居ルノデアリマス、此鉄鐵ハ
申ス迄モナク總テノ工業ノ原料デアリマス
ルカラ、是ハ少シデモ安クナラナケレバナ
ラナイ性質ノモノデア、ルコトハ申ス迄モナ
イ、將來工業國トシテ日本ガ起ツ以上ハ、
基本點デア、ル所ノ鉄鐵ガ一圓デモ高イト云
フコトハ將來ニ於テ大キナ影響ヲ及ボスノ
デアリマスルカラ、從ッテ私ハ是モ抽象的ナ
御答デナクシテ表トシテ英米獨ニ於ケル所
ノ市價ヲ最近下ノ位ニ政府トシテハ見テ居
ラレマス、私モ調ベテ見マス、又之ヲ調
ベルコトハ容易ナコトデア、ル、先刻チヨット

其處ニアリマセヌデアリマシタカラ、私ハ
此外ニ確實ナル數字ヲ擧ゲ得マセヌ、何レ
モ三十五圓六十五錢ト云フ數字ヨリモ數圓
安イコトデア、ラウト思ヒマス、ソレヲ一ツ
表示ヲシテ御貫ヒ致シタイ、ソレト昨日伺
ヒマシタ所ニ依ルト、此製鐵業ト分離シテ
考ヘルコトノ出來ナイ炭鐵業デアリマスル
ガ、撫順ノ石炭ガ、東京ノ内地ノ市場ニ來
マシテ九圓五十錢デ内地ノ炭ト同ジヤウニ
ナルト云フ政府ノ御説明デアリマスルガ此
數字ノ内容ニ付テ御示シテ願ヒタイ、ソレ
ト印度鉄鐵ノ内地ノ市價ニ付キマシテ政府
ノ御示シマシタ此數字ニ依リマス、ト云フ
ト、日印ノ爲替相場ガ百十五「ルビー」「エ
フ・オー・ビー」「カルカッタ」二十五「ルビー」
ノ時二十五圓五十一錢トナッテ居リマスル
ガ、此輸入業者ノ反對陳情ニ依リマス、ト、
同ジ事情ノ下ニ日印ノ爲替相場ガ百圓ニ付
キ百十五「ルビー」ノ場合ニ於テ一噸三十一
圓ト云フコトヲ申出デ居リマス、此他ノ數
字ヲ見マス、ト、此反對者ノ陳情ハ此數字ガ
合ッテ居ルヤウデアリマスルガ、此數字ハ私
ニハ判斷ガ付カナイノデアリマスガ、此三
十一圓ト云フコトニ付テノ政府ノ御所見ハ
是ハ嘘デア、ルト云フ御考ヘデアリマス、カ其
點ヲ今一應伺ヒタイノデアリマス

其目度ガツイテ居ルカ、斯ウ云フ御尋ネデ
ゴザイマス、是ハ甚ダ實際上困難ナ問題デ
ゴザイマシテ、御承知ノ通り今日ノヤウニ
需要ガ不振ニナッテ居リマス際ニ、内地ノ生
産額ハ現在ノ需要ヲ大體滿タス程度ノ生産
ヲ致シテ居リマスノデ、之ヲ若シ此不況ガ
存続スルト致シマスレバ、ナカ／＼此「ス
トック」マデ消化スルト云フ方法ガ困難ニ
ナッテ參ルノデゴザイマスガ、併シ此鉄鐵ヲ
他ノ新シイ用途、例ヘバ鑄物ニ致シマシテ
瓦ニスルカ其他諸般ノ用途モ考ヘマシテ、
又其「ストック」消化ノ方法ヲ講ジナケレバ
ナラヌノデヤナイカト考ヘテ居リマス、ソ
レデ兎ニ角斯ノ如キ「ストック」ガアリ、サウ

○子爵井上匡四郎君 今回ノ關稅改正ハ此
鉄鐵ニ關スル限りハ非常ナ特別ナモノデア
ルノデ、外ノ關稅改正ハソレニ依ッテ内地ノ
産業ヲ保護シ同時ニ年二千萬圓ノ程度ノ國
家ノ收入ヲ増ス性質ノ關稅改正デア、ルヤウ
デアリマスガ、此鉄鐵ニ關スル限りハ反對ニ
國家ノ收入ヲ減ラス所ノ關稅改正デア、リマ
ス、餘程鞏固ナ確實ナ理由ガナケレバ、此
赤字公債ノ豫算ノ下ニ實行サレルト云フコ
トハ非常ナ根據ガ確實ナモノデナケレバナ
ラスト私ハ考ヘルノデアリマス、只今ノヤ
ウナ屑鐵ハ段々爲替相場ガ變ッテ、段々高ク
ナッタト云フヤウナ抽象的ノ御答デナクシ
テ、屑鐵ノ市場ニ於ケル市價ヲ一ツ表ニシ
テ御指示ヲ願ヒタイ、ソレト次ニ、私ハ此
政府ノ御提出ニナッテ居ル今回關稅改正ノ

此圖書館デモ調ベテ見マシタガ五月二十一
日ノ「エコノミスト」ヲ見マス、ト、英吉利ガ
五十一「シルリング」カラ五十七「シルリン
グ」デア、ル、是ハ或ハ爲替相場ヲ換算イタシ
マシタナラバ相當ナル値段ニナルカモ知レ
マセヌガ、日本ノ爲替相場ガ下ガリマシタ
爲ニ英吉利ノ製鐵費ガ高クナッタト云フコ
トハナイノデアリマスルカラ、之ヲ從來ノ
値段ニ換算イタシマス、ト云フト、再禁止前
ノ値段ニ換算イタシマス、ト云フト、三十五
圓ヨリモズット安イ値段デア、ル、他ニ材料ガ

點ヲ今一應伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答申シマス、

印度銑ノ内地市場ニ於テ販賣シ得ル値段ニ付キマシテハ昨日來度々御説明申上デマシタ通り、當局ト致シマシテハ確實ナル資料ニ依リマシテ「カルカッタ」受渡シニ十七「ルビー」ト云フノ十分ナル根據ノアル數字デゴザイマスカラ、之ニ基イテ算出致シマスレバ御手許ニ差上ゲテ置イタヤウナ値段ニナル、但シ此値段ノ中ニハ御斷リ致シテ居リマスヤウニ、現在ノ關稅ハ含ンデ居リマセヌ、ソレデ只今御話ノ三十一圓ト云フヤウナ引合ヒガアル、斯ウ云フ御話デゴザイマス、恐ラク其中ニハ關稅ヲ含ンデ居ルト思ヒマスガ、ソレニシテモ高過ギルト思ヒマス、現在内地ノ銑鐵ノ販賣値段ハ、御承知ノ通り「エス」號銑ト云フモノハ相當優良ナル銑鐵ト承知シテ居リマス、是ハ二十六圓二十錢位デアッタト承知イタシテ居リマスガ、普通ノ品ニナリマスレバソレヨリハ尙一圓安イ、斯ウ云フヤウナ狀態デゴザイマスカラ、若シ眞面目ニ内地ニ對シテ賣込マウト云フ意思ガアルナラバ、斯ノ如キ三十圓トカ、三十一圓ト云フヤウナ「コッパ」ガアリ得ル管ガナイト思ヒマス、サウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラチョット附加ヘテ申シマスガ、内地ノ生産費ガ三十五

圓幾ラ、ソレデ之ヲ以テ内地ノ市價トスルノハ高過ギルデヤナイカ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ承ハリマスガ、此三十五圓ハ生産費デアリマシテ、御承知ノ通り内地ノ銑鐵ニ對シテハ只今平均イタシマシテ四圓十二

テ又詳シク御説明申上ゲタイト思ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○子爵井上匡四郎君 私ノ質問ハ只今要求

イタシマシタ資料ヲ得マシタ後ニ又致スコトニシテ、一應是デ打切ッテ置キマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット此機

會ニ御諮リ致シマスガ、農林大臣ガ幸ヒ見エテ居ルノデアリマス、モウ暫ク經チマスト云フト外ヘ又取ラレマスカラ、此機會ニ農林大臣ニ御質問ガアリマシタナラバ其方ガ結構カト思ヒマス

○北村宗四郎君 幸ヒ農林大臣ガ御出デデ

ゴザイマスカラ……木材ノ關稅ハ茲ニ御引上ゲニナッテ居ルノデ非常ニ結構ト思ヒマス、南洋材ハ農林省ノ關係デハゴザイマセヌケレドモ、是ハ如何ニナッテ居ルノデアリマスカ、木材ノ關稅デアリマスカラ序デニ伺ヒマス、ソレカラ次ニ御尋ネ申シタイノハ農山村ノ疲弊困憊ト云フコトハ今更ラ申上ゲヌデモ分ッテ居リマスコトデアリマス、殊ニ林業ト云フモノハ、米ハ米穀法ニ依ッテ保護サレ、蠶業ハ補償法案ニ依ッテ保護サレルトカ色々ノ保護ガアリマスガ、林業ト云フモノハ今一段ノ保護ガ薄イヤウニ考ヘテ居リマス、殊ニ關稅ニ依ッテ保護ヲ受クマシテ、又樺太ノ輸入材ニ付キマシテハ衆議院

ニ於テ拓務大臣モ御説明ニナリ、本日本議場ニ於テモ拓務大臣カラ此コトニ付テ相當制限ヲシテ内地輸入ヲ太イニ取締ルト云フ御話モ承ハッテ我々ハ安心ヲシテ居ル、マーッ承ハリタイノハ國有林ノ伐採デゴザイマス、ドウモ民間林業デ殊ニ造林ヲヤッテ居ル樹種ト國有林ノ樹種ト同ジ樹種ヲヤッテ居リマス爲ニ、ドウモ非常ニ競争ニナッテ苦シイ、値段ガ安イト云フヤウナ傾ガアリマス、無論收入ヲ得ル爲ニ御伐採ニナルコトハ存ジマスケレドモ、是ハ何トカ相當伐採ノ制限ヲシテ、暫ク御辛棒ヲ願フコトニシマセヌケレバ、民間ノ林業家デモ金ガアルナラバ此不況ニ於テ、ジツト地ヲ置ケバ自然ニ大キクナルシ、自然財界ノ回復スル時ニ賣レバ宜シイト云フコトハ明カナ事實デアリマスガ、何分多數ノ借金ヲシタリ、又色色ノ公課諸稅ヲ負擔シテ居ル爲ニ致方ナク安クテモ賣ッテ行カナケレバナラスヤウナ狀態デアリマス、此際蠶絲ナドハ生産ニ對シテ相當制限ヲシテ戴クト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ無論民間ノ制限デゴザイマスケレドモ、今申上ゲル林業ノ制限ト云フモノハ國有林ノ伐採ヲ相當御制限下サルト非常ニ材價ノ回復ト云フモノモ明カニ現レテ來デ宜イコトデハナイカト思ヒマ

ス、我々ハ辛棒ハ出來ルガ國有林ハ辛棒出來兼ネルヤウニ我々ハ考ヘテ居ル、三年カ四年伐採ヲ二割カ三割御制限下サルナラバ三割モ四割モ材價ガ上テ來テ收益ガ上ルト思ヒマス、或ハ失業ノ問題ニ付テ御話ガアルカ知レヌケレドモ、從來國有林ノ手入ト云フモノハ我々ノ承知イタシテ居ル所ハ十分デナイ、其手ヲ……其伐採ニ制限シタ人夫ヲ國有林ノ手入ヲシテ一層林相ヲ善クシ、森林ノ發育ヲ助長スルト云フコトハ最も必要ナコトニ思フ、サウスレバ人夫ノ失業ノ問題起ラナイカト心得テ居リマス、何トカ此事ニ付テ十分御考慮ヲ願フテ相當制限ヲシテ戴キ、或ハ施業案ニ依テドウシテモソレダケハ伐レルモノデアル、伐ラナケレバナラヌト云フコトニナルゾデセウガ、此不況時ニ於テハドウシテモ米材ハ關稅ニ於テ保護ヲ受ケ、サウシテ樺太材ハ大臣ノ聲明ニ依テ格別ナ制限ヲスルト云フコトヲ御聲明ニナツタ以上ハ、此際今一步進ンデ國有林ノ伐採ヲ制限シテ相當、三千七百萬圓ナラ三千七百萬圓ヲ是非擧ゲナケレバナラヌト云フコトニ爲サラヌデ、此金額ハ他ノ方法デ補填スルコトニ御考ニ預テ伐採ヲ制限シテ戴クト云フコトニ行カヌデセウカ、無論此コトハ森林ノ特別會計ト云フコ

トニ迄或ハ及バナケレバ完全ナルコトニナラヌモノト思ヒマスケレドモ、森林ノ特別會計ヲ御設置ユナリマシテ、値段ノ宜キ時ニハ相當澤山伐リ、値段ノ惡イ時ニハ民間ノ事業ヲ壓迫セヌヤウ澤山伐ラナイト云フコトニシタイト思ヒマス、我々ノ方デモ此位材木ガ安イノダカラ是ダケヲ伐テ止メテ置カウデヤナイカト云フヤウナコトデ、借金ヲ拂ヘレバソレデ宜イト思テ居リマスガ、此借金ヲ拂フダケヲ伐タナラバ、其伐タダケノ所得稅ヲ拂フ爲ニ其積ニ付イテ居ル山ヲ伐ラナケレバ我々ノ生活ハ立行カナイ、即チ借金ト稅金ヲ二ツ拂フ爲ニ餘計伐ラナケレバナラヌト云フ現時ノ狀態ニアル、是非此事ハドウカ御考下サイマシテ御考慮ニ預リタイト思ヒマスガ、其邊ニ對スル御所見ハ如何デゴザイマスカ

○國務大臣(後藤文雄君) 南洋材ノ問題ハマダ關係當局ノ間デ審議ガ決定シテ居リマセヌ、未決ノ儘ニ今日殘テ參テ居リマス、此南洋材ハ同ジャウナ種類ノ内地ノ瀾葉樹ノ木材ノ價ニ影響ノアルト云フコトハ認メナケレバナラヌノデアリマス、同時ニ南洋ニ於テ此伐採ヲシテ内地ニ持テ來ルコトヲ致シテ居ル者ガ又概ネ日本人デアリマス、我國民ノ南洋方面ニ於ケル海外發展ノ事業ノ一

端ヲ爲シテ居ルヤウナ譯デアリマス、旁々雙方ノ利害關係ヲ見極メテ適當ノ方法ヲ致サナケレバナラヌノデアリマス、只今迄ノ所尙ホ決定致シテ居リマセヌ、今後尙ホ十分ニ考究ヲ遂ゲテ何レカノ解決ニ導キタイト思テ居ルノデアリマス、ソレデ國有林伐採ノコトニ付テ御尋ガゴザイマシタガ、此國有林ノ伐採ハ大體二ツノ理由カラ行ハレテ居リマシテ、一ツハ一定ノ施業案ニ依リマシテ山林ノ最モ能率ノアル、合理的ノ利用發達ノ狀態ヲ導イテ行カウ、斯ウ云フコトカラ一定ノ數量ヲ大體伐出サレル關係ニナツテ參ルノデアリマス、ソレト同時ニ國有林ノ伐採ニ依テ政府ニ相當ノ收入ヲ擧ゲヤウ、是ガ收入ノ中ノ相當ノモノニナツテ居リマス、今日ノ財政狀態其他カラ見マスト

ニ其點ヲ併セテ考慮致シマス、特別會計ト云フモノニモ色々ノ變更ヲ加ヘテ來ナケレバナラヌト云フコトニ相成リマスシ、御希望ノアリマシタコトハ篤ト伺テ能ク考究致シテ見ル積デアリマスガ、今直ニ其點ニ付テドウ致スト云フコトヲ申上ゲル譯ニハ參ラナイ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

云フト、俄ニ此國有林ノ伐採ヲ著シク制限シテ收入ノ狀態ニ非常ナル減少ヲ來タスト云フコトニナリマスレバ、此收入ト云フモノガ矢張り引當テニナツテ、色々ヤラレテ居ル産業上ノ施設ノ上ニモ少カラズ影響ノ來ルヤウナコトニナリマス、又此伐採ヲ一時著シク制限ヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、山林施業案ノ根本ニモ大キナ變更ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、先程御話ニナリマシタヤウ

○北村宗四郎君 南洋材ノコトハ今御話デゴザイマシタガ、我々ノ承知致シマスル所ニ依ルト三井三菱、中村某ノ三人程ノ事業ノヤウニ承テ居リマス、殊ニ三井、三菱等ハ南洋材ニ對シテ關稅ヲ掛ケルト云フコトハ正當デアルト云フコトニ我々承知シテ居リマスカラ、中村某ノ仕事ダケガ何トカ云フ話デハナイカ知ラント思ヒマス、鉄鐵ノ問題ハ私共承知致シマセヌケレドモ、印度鉄鐵ニ對シマシテモ日本ガ相當資本ヲ投ジテ居ルガソレハ構ハヌノダ、南洋材ハドウシテモ保護シナケレバナラヌト云フコトハ矛盾ガナイデハナイカト云フコトヲチヨット考ヘタノデアリマス

ケテ參リマシテ解決ヲシタイト考ヘテ居リマス

○北村宗四郎君

ソレハ農林省ノ方デ御課ケニナヌノカ、拓務省ノ御考デゴザイマスカ、農林省ノ御考デゴザイマスカ

○國務大臣(後藤文夫君)

掛ッテ是迄來テ居ッタノダサウデアリマス、掛カッテ解決ニナラズニ今度ノ關稅改正ノ場合ニ間ニ合ヒ兼ネテ居ッタノデアリマスガ、次ノ關稅改正ノ場合ニハ何等カ考慮サレル問題デハナイカト思ッテ居ルヤウナ譯デス、主務省ノドツチガドウシタト云フコトハ今此所デ申上ゲ兼ネマス

○北村宗四郎君

林業ノ問題デゴザイマス、今施業案ヲ變更スルト云フコトハイカヌト云フ御話デ、イツモ我々モ其話ハ間接ニ承ッテ居ル、施業案ガ少クナレバ不況ニ非常ニ難儀ヲシテ居ル間ハ停止シテ、施業案ヲ變更シテモ材積ハ増シテ行ク、山ヲ暫ク御置キニナレバ小サクナリハセヌ、今御ヤリニナッテ居ル天然更新ノ仕事等モ我々ノ見マシタ時ニハ是ハ増伐ノ一ツノ弊害デハ

ナイカト、昨年デアリマシタカ一昨年デアリマシタカ、秋田縣デ見テ來タコトデ、斯ウ云フコトモ天然更新ヲヤッテ、次ノ造林ト云フモノハ非常ナ不完全ナモノガ出來カケ

テ居ル、斯ウ云フコトニ對シテ、天然更新ノ爲ニオヤリニナルノヲ止メテ、必ズソレダケノ伐採ヲシナケレバナラヌト云フコトデナク、無論南洋材及樺太材ハ非常ニ影響ヲ内地林業ノ市場ニ與ヘテ居リマスケレド

モ、森林家ガ造林ヲシテ居ルノニ、國有林ガヤッテ居ル杉トカ檜ハ、直接ノ競爭者ト云フモノハ國デアル、殊ニ非常ニ安ク御賣リニナッテ、伐採ヲシテ賣レヌト、或所デハ山デ一年餘リモ腐ラシテ居ルデハナイカ知ラヌト云フコトヲ我々ハ拜見シテ居ル、斯ウ云フ施業案デアッテ、伐ラナケレバナラヌ、伐ッテモソレヲ腐ラシテ居ッテモ、施業案ガカラ伐ルト云フコトハ、多少施業案ニ御囚ハレテ居ルノヂヤナイカ知ラヌト云フコトヲ考ヘル、此事ニ付イテドウカ一ツサウ云フヤウナコトハ、施業案ハ絕對ニ保持爲サルト云フコトハ、非常ニ此難儀ナ、國難ノ時代ニ於テ……、二年三年政府デ於テ御辛抱ヲ願フト云フコトハドウシテモイカヌコトデスカ

○國務大臣(後藤文夫君)

先程モ御答ヘシマシタ通りニ、財政ノ關係ト施業案ノ基本的ナ觀察トヲ加ヘテ、ソレヲ按排シタ後デナケレバ、今ドウ云フ風ニスル見込ダト云フヤウナ御答ハ出來ヌト申シタノデアリマ

ス、施行案ソノモノニ更ニ根本的ナ技ニ改革ヲ加ヘ、或ハ一時施業案ノ從來ノ計畫ヲ修正スルトカト云フヤウナコトハ、自カラ矢張り財政問題ト林業ノ技術的見地ト、兩方カラ考ヘテ見テ結論ヲ得ルコトデアラウト思ヒマス、其何レノ點モ絕對的ナ問題、動カスコトノ出來ヌ絕對的ナ問題デアルトハ決シテ申サレナイモノデアラウト思ヒマス

○菅澤秀雄君

私ハ小麥ノコトニ付テ伺ッタ見タイノデス、今ヤ農村ノ救済ノ問題ハ覺然トシテ潮ノ湧クガ如キ勢ヲ以ッテ起ッテ來タ、斯ウ云フヤウナ見地カラ見マシテ、如何ニ農村ガ疲弊シテ居ルカト云フコトニ付テ、或ハ是マデ政府當局等ガ認識ノ不足トモ言フベキカ、或ハ考究ガ足ラナイデハナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ、此意味ニ於テ銑鐵業者ト云フモノハ、昨日來カラ非常ナル運動ヲ續ケテ、文書ニ或ハ人ニ、委員外ノ者マデモ出テ來テ、特別委員會ニ質問ヲスル、斯ウ云フヤウナコトデアルケレドモ、農村ノ問題ニ付テ何人ガ一體懸ヘ

タカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルト、私ハ實ニ農村ト云フモノハ氣ノ毒ナモノデアアル、斯ウ云フ考ヘカラ政府ノ所見ヲ伺ッテ見タイノデアリマスルガ、此今度ノ案ニ依リマスルト云フト、内地ノ小麥ノ一石ノ生産費ト云

フモノハ、我々ハ十五六圓ト見テ居リマス、昨日政府ノ當局ニモ伺ヒマシタケレドモ、矢張り私ト同ジ所見ヲ持ッテ居リマシテ、十五六圓ト想定シテ居リマス、サウスルト其生産費ハ十五六圓デアアルガ故ニ、之ヲ基調トシテ保護ヲシ、關稅ヲ引上ゲルナラバ或ハ當然デハナイカト斯ウ思ハレマスルノニ、市場ノ相場ハ參考資料ニ依リマスルト、一石九圓六十錢、此九圓六十錢ヲ基調トシテ、サウシテ關稅ヲ引上ゲルト云フコトニナッテ居ルヤウニ私ハ思ヒマス、外國カラ來ル所ノ小麥ガ六圓二十三錢デアッテ、サウシテ内地ノ農村ノ生産費ハ十五六圓ト致シマス

スト、其差額ガ八圓七十七錢デアリマスルケレドモ、今度ノ關稅引上ト從來ノ關稅トヲ合計シマシテ、一石ノ關稅ガ五圓ト相成ルノデアリマス、サウスルトマダ生産費ニ比ベテハ農村ノ百姓ノ損害ト云フモノハ一石ニ對シテ五圓ノ損害ガアルノデアリマス、デ是ヲ銑鐵ノ方ノ關稅ヲ引上ゲタモノト比ベタナラバ、銑鐵ノ方ハ生産費ガ二十八圓デアッテ、其以外ニ市場ノ運賃及ビ金利、固定資本ニ對スル利廻リ、或ハ償却ト云フヤウナモノマデモ計算シテ、之ヲ基調トシテ關稅ヲ引上ゲテ保護ヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナ見地カラ、此筆法ヲ以テ小麥ヲ作者

ノ保護ヲスルト云フコトデアレバ、生産費ノ十五六圓ニ對シテ更ニ農具代、若クハ種子代、肥料ノ……金肥ノ利子等ヲ加ヘテ、サウシテソレヲ基調トシテ考慮スルノガ當然デハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデアリマスガ、此點ニ付テ政府ハ是デモ十分ダ、農村ノ小麥ヲ獎勵スル意味ニ於テ此關稅十分デアル、斯ウ思ハレルノデアリマスルカ否ヤ、之ニ付テ私ハ尙ホ附言スレバ、從來ノ商工業ト云フモノニ當局ハ餘リ重クシテ、サウシテ農村ニ薄イト云フ評ヲ常ニ我ミハ聞イテ居リマスガ、是等ノ例ヲ以テ見テモ其農村ノ方面ニ同情ガ薄イ、認識ガ足リナイト云フコトヲ證明スルコトガ出來ルト思フ、詰リ農村ノ疲弊困憊ト云フモノハ斯ウ云フ所カラ來テ居ルデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、又一面商品ノコトニ付テ申上ゲマスレバ、商品ノ賣買ト云フモノハ各會社ガ正確ナル帳簿ニ依ッテ、サウシテ一切ノ經費ヲ差引イテ、之ニ何割カノ利益ヲ掛ケテ賣出ス、所ガ農村ト云フモノハ肥料ヲ買入レマスルニ付キマシテモ、大豆粕トカ硫酸トカ云フヤウナモノ、ソレゾレノ肥料ヲ買入レマスルノニ、商人ノ言フ通りノ相場ヲ買ッテ居ル、ノミナラズ其時期ニナリマスルト、大抵相場ニ於テ五分位引

上ゲテ、サウシテ時價ヨリモ高イモノヲ商人カラ買ッテ、サウシテ收穫ノ出來タ時ハドウデアルカト言フト、又商人ハ相場ヲ下ゲテ參ル、即チ製粉會社ノ如キモノガ小麥ヲ買入レル場合ニ於テ、自分ノ造タ所ノ製品ノ小麥粉ヲ下ゲテ、サウシテ小麥ノ原料ヲ買入レル時ニ廉ク買入レルト云フヤウナ準備ヲ造ッテ居ル、ソコデ廉イ物ヲ賣ラナケレバナラヌ、自分ガ買フ所ノモノハ商人ノ言フ通り、自分ノ賣ルモノモ商人ノ言フ通りニ賣ッテ居ルカラシテ、ソコデ農村ト云フモノハ疲弊ヲスルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ所ヲ見タ時ニ於テ、政府ノ今度ノ此關稅ガ銑鐵ト比ベテ公平ヲ得テ居ルヤ否ヤ、私共ハ銑鐵ニ比ベタナラバ、モウ少シ農村ノ方ニ同情ヲシテ、サウシテ保護ヲ加ヘテ貰ヒタイト思フ、勿論ハ生活品デアリマシテ、一般ノ消費者ノコトモ考慮シナケレバナラヌケレドモ、一面ニ於テハ此銑鐵ヲヤル人ト云フモノハ、成程或ハ國家事業ノ如キモノデモアリマセウガ、三井三菱ト云フヤウナ富豪デアリ、一方ハ農村ノ死活問題トナルベキ、所謂餓死線上ニ彷徨スル所ノ農民ノ作ル所ノモノデアル、斯ウ云フコトヲ考ヘタ時ニ於テ、ドウシテモ政府ハ宜シク其基調トスル所ノ根據ヲ誤ラ

ナイヤウニ、サウシテ私共ハ生産費ト云フモノヲ基調トシテ、矢張り銑鐵ト同ジヤウナ意味ヲ以テヤッテ貰ヒタイト思フガ、是デ政府ハ十分デアルト思フヤ否ヤ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ小麥ト云フモノガ我國ニ於テ今後増加致シマシテ、外國ノ輸入ヲ防止シテ自給自足ガ出來ルカドウカ、自給自足ノ可能性ガアリヤ否ヤト云フコトヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、私共ノ見ル所ニ依リマスルト云フト、現在我國ノ産額ハ最近五ヶ年間ノ平均ヲ見ルト云フト六百四十万石以上、サウシテ輸入ノ方ハ最近五ヶ年ノ平均ガ四百五十万、ソコデ我ミノ見地カラ見マシテ、我ミハ一地方ノコトヲ例ニ申上ゲルノデアリマスルガ、私ノ附近ニハ三里塚ノ御料牧場ト云フモノガアリマス、是ガ三千六百町歩バカリノ土地ヲ民間ニ貸シテ居ル、然ルニ此畑ヲ作ル百姓ガ大麥ヤ小麥ヲドノ位作ルカト云フト、一年ニドノ位カト云フト、其全體ノ町歩カラ比ベタナラバ僅ニ四分ノ一位シカ麥ヲ作ッテ居ラス、ドウ云フ譯デアアルカト云フト、一反歩ヲ作リマシテモ五圓以上ノ損害ヲスルカラ作ラナイ、サウシテ畑ヲ大抵遊バシテ居ル、何モ作ラナイ此現狀ヲ見マスト云フト相場ガ引上ッテ、サウシテ手間ガ

取レルナラバ私ハ農村デハ必ズ是ハ作ルモノト思フ、又況ンヤ今日養蠶ノ方面ハ非常ニ下落シテ、養蠶ヲ制限ヲ加ヘルト云フコトデアッタナラバ、桑園ハ變ジテ小麥畑ニシナケレバナラヌト私ハ思フ、斯ウ云フ意味合カラ言ッテ今ノ外國カラ入ル所ノ四百五十万石以上ノモノハ必ズ私ハ増額出來ルト、我ミノ見地カラ言ヘバ自給自足シテ餘リアルト思フ、ソレヲ唯政府ガ漫然ト農村ノ損害ヲスル所ヲ顧ズシテ置クカラデアリマスルガ、故ニ若モ自給自足ガ出來ルナラバ、年額三千二百万圓以上ノ金ガ流出ヲ防止スルコトガ出來ル、國際貸借ノ平衡ヲ得ル上ニ於テモ非常ナル利益デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ政府ノ所見ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(後藤文夫君) 小麥ノ關稅引上ノ程度ト、銑鐵關稅ノ引上ノ程度トヲ比較シテノ御話ガアッタヤウデアリマスガ、小麥ニ付キマシテハ大體御説ノヤウナ趣旨ヲ以テ此關稅ヲ定メタ譯デアリマス、唯生産費ト云フモノ、我國ノ小麥ノ生産費ト、外國カラ入ッテ來ル小麥ノ値段トノ差額ヲ、此關稅ヲ以テシテハ十分ニ補ッテ仕舞ハナイデハナイカ、ト云フヤウナ御質問ガアッタヤウデアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ

内地ノ生産費、ソレカラ輸入ノ價格ト云フモノヲ雙方睨ミ合セマシテ、先ヅ輸入税トシテハ此程度デ宜シカラウ、從テ我國ノ生産費ノ計算ノ上ニ於テ不十分ナ點ハ今後ニ於ケル小麥ノ集約的ナ増産、色々其小麥ヲ生産シマス上ノ方法技術等ノ改良、斯ウ云フコトヲ先年來努メテ參ッテ居リマスノデ、ソレニ依テ小麥ノ生産ノ方面ニ於テモ是等ノ點ノ調節ガ出來、一面ニハ安イ小麥ノ輸入ニ對シテ大概ココ等ノ程度デ我國ノ小麥ノ生産ヲ保護シ、且ツ將來ノ増産ヲ期スルコトガ出來ルデアラウ、斯ウ云フ見地デ定メマシタ譯デアリマス、生産ノ費用ヲ計算シマス上ニハ、先程モ御話ノゴザイマシタヤウナ資金ノ利子デアリマスルカ、市場ヘノ運搬費デアリマスルカ、色々ナ要素ハソレ々皆見込シテ之ヲ計算シテ居リマスノデアリマス、其上デ今申シタヤウナ今回ノ保護關稅ノ程度ヲ以テ宜シカラウ、斯ウ云フ判斷ヲ致シタ譯デアリマス、第二ニ我國ノ小麥ハ今後増産ヲスルニ十分ナ見込ガアルカドウカ、是ハ十分ナ見込ガアルト考ヘテ居リマス、先年來農林當局ニ於キマシテ小麥ノ増産ノ獎勵ヲ致シ、品種ノ改良、又ハ小麥ノ新シイ植付ケ、是等ヲ獎勵イタシテ居リマシテ、相當ナ成績ヲ擧ゲツツア

リマス、今御話ニナリマシタヤウナ新シイ畑ヲ開イテ、小麥ヲ植エマス餘地モ相當ニアリマスシ、又米ノ裏作トシテ小麥ヲ植テ得ル餘地モ可ナリ廣ク存シテ居リマス、出來得ルナラバ自給自足ノ位置ニマデ進ミタイト云フヤウナ希望ヲ有ッテ居リマス、今日ノ所デハ此關稅ヲ以テ先ヅ適當デアルト考ヘタ譯デアリマス、一面カラ考ヘマスレバ今日ノ小麥關稅ハ小麥ノ輸入ノ價格ニ對シテハ七割以上ニモナリ、國民ノ生活必需品ノ一部デアルトモ言ッテ宜シイモノニ、ソナ高イ稅ヲ掛ケルノハヒドイデハナイカト云フヤウナ議論モアリマスノデス、併シ將來ノ我國ノ小麥ノ生産ヲ考ヘ、此重要食料品ノ一ツデアアル小麥ノ我國ニ於ケル出來ルダケノ増産ヲ圖リタイト云フ見地カラ、消費者ト生産者ノ側トヲ睨ミ合セテ、矢張り一圓ダケ今度百斤ニ付テ關稅ヲ上ゲマシタ所ヲ以テ適當デアルト考慮イタシタ譯デゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 菅澤君ハモウ御濟ミデゴザイマスカ

○菅澤重雄君 アリマス、只今ノ御答ニ依リマシテ消費者ト生産者ノ方ヲ睨ミ合フテ兩方ヲ考慮シテヤッテ之デ十分デアアル、斯ウ云フコトデアリマスル、又増産ノ見込ガアル

ルカト云フコトニ付テハ、十分見込ガアルト云フコトデアリマスルガ、兎ニ角此生産費ト云フモノヲ割ッテスルナラバ私ハ到底増産ノ餘地ガアッテモ、農民ハ作ルコトハ出來ナイガラウ、何人ト雖モ農民ノ中デモ取レル畑ヲ遊バシテ置イテ、サウシテ作ラナイト云フコトハ忍ブベカラザルコトデアアルノデ、之ヲ作ラナイト云フコトハ損害ガアルガ爲デアアル、損害ノナイ程度ニ之ヲ保護シナケレバ私ハナラヌト思フノデアリマス、昨日カモ私ハ質問イタシマシタガ、亞米利加ガ小麥ノ「ダンピング」ヲ致シマシテ、亞米利加ノ國ノ倉庫ニハ二億方袋モアルガ爲ニ、昨年來非常ナ亞米利加ノ小麥ガ下ッテ、一石ソレハ僅カ四十五錢、斯ウ云フヤウナ相場デドン／＼賣出シテ居リマス、ソレデ私ハ矢張り斯ウ云フ相場ガ來タ、斯ウ思フノデアリマスルガ、サウ云フモノニ對抗スルノデスカラ、唯單ニ今日ノ市場ノ相場、輸入シタモノト内地ノモノトノ相場ダケヲ標準ニシテ考慮スルト云フコトハ、少シ足ラナイト思フ、世界ガ今ハ關稅戰ヲ、殆ド關稅障壁ヲ設ケテ、血ノ出ルヤウナ關稅戰ヲヤッテ居ルノデアアル、殆ド何處ノ國デモ禁止稅ノヤウナコトヲヤッテ居ル、我々ハ此問題ヲ當局ニ屢々陳情シタト思ヒマスクレドモ、

保護關稅ヲヤラレルトカ何トカ云フヤウナコトデ、頻リニ出來ナイト言ッテ居リマシタガ、此小麥ノ輸入ヲ見マスト云フト、亞米利加ノ分ト云フモノハ加奈陀ノ十分ノ一シカ來テ居ラス、加奈陀デヤナイ、濠洲ノ……ソレカラ加奈陀ノ方カラモ、非常ナ額ガ來ルノデ、亞米利加ハモウ僅ニ濠洲ダケニ比ベテハ十分ノ一シカ亞米利加カラ來テ居ラス、デスカラ亞米利加ガ報復關稅ヲスルト云フヤウナコトハ私ハナイト思フ、況ンヤ今ハ報復關稅ヲサレテモ、何處ノ國デモ是ハ仕方ガナイ、斯ウ云フヤウナコトデ、自分ノ國ノ産業ヲ助ク、若クハ經濟ヲ立直スト云フコトニ汲々トシテ居ル時代デアルカラ、私ハ是デハ尙足ラナイ、併シ又農家ガ作ル餘地ガアリマシテモ、損害ヲシテ作ルト云フコトハ私ハ出來ナイガラウト思フ、モウ少シ之ヲ引上ゲテ貰ハナケレバ足ラナイデハナイカト考ヘルノデ、此農村ノ窮乏ヲ之ヲ救済スルニハ、餘程思ヒ切ッタコトヲシナケレバ、私ハ農村カラドウ云フ問題ガ起ルカ、殆ド測リ知ルベカラザルモノガアルト斯ウ思フノデアリマス、デスカラスンナ、ソッチヲ考ヘ、コッチヲ考ヘ、右ヲ見左ヲ見テヤルヤウナコトデナク、モット根本的ノ其根幹ニ觸レタ思ヒ切ッタコトヲヤッテ

貰ハナケレバ、是ハ到底農村ノ救済ハ出来ナイ、來ルベキ臨時議會ニ何カ大キナ問題ヲ出ストカ云フヤウニモ聞及ンデ居リマスケレドモ、此關稅ニ現ハレタ所ダケデモ、我々ハ當局ノ認識ガ足ラナイデハナイカ、同情ガ足りナイデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデ、尙ホ今後モ當局ニ於テハ十分御考慮ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス

○國務大臣(後藤文夫君) 御話ノ外國ノ情勢等ニ付テハ今後モ機敏ナル觀察ヲ怠ラヌコトニシマシテ、只今ノ所デハ大體御趣旨ノヤウナ精神デ、是デ宜シカラウト云フ判斷ヲ致シテ參ッテアリマス、今後亦事情ノ變化ニ應ジテハ其措置ヲ誤ラナイヤウニ、注意ヲ十分イタシタイト思ッテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) モウ御濟ミデゴザイマスカ

○男爵斯波忠三郎君 先刻委員外ノ大河内子爵カラ大藏大臣ニ對シテノ御質問ニ對シテ、大藏大臣ハ此豫算ノ關係ト本案トノ關係ハ、可分デアルヤ不可分デアルヤ、チヨットマダ分ラナイ、ト云フヤウナ御話デゴザイマシタ、御退席ニナリマシタ後デ、大河内子爵ト政府委員トノ間ニ二三質問應答ガゴザイマシタ、其時ニ私ハ申シタノデアリ

マスガ、私共ハ此問題ハ豫算ノ關係ト可分的ニ考ヘテ議シテ居ルノデアッテ、若シ是ガ不可分デアルト云フコトデアレバ大變ナ……又元々是テ考ヘ方違ヘナケレバナラス、從來ノ例ニ依リマスト云フト、豫算デ法律ニ關係ノアルモノハ、是ハ主トシテ支出デアリマスガ、豫算委員會ニ於キマシテ、法律ガ通過シタナラバ、ト云フコトデ何時デモ議了サレテ居、タノデアリマス、今回ノ關係ハ是ハ收入ノ關係ニナリマスノデ、豫算委員會ハ未ダ終了イタシマセヌサウデアリマスガ、其點ニ觸レテ居ルヤ否ヤ私ハ存ジマセヌケレドモ、矢張り同ジヤウニ考ヘテ、此案ガ決議サレタラバト云フコトダラウト思フノデス、唯ソコニ違フコトハ支出ト收入デアリマス、デアリマスルケレドモ、是ハ黒字ト赤字ノ違ヒデアリマスカラ、矢張り性質ハ同ジヤウニ考ヘテ、可分的ニ考ヘテ宜イモノダラウト思フノデアリマス、矢張り從來ノ取扱通りニ考ヘテ、法律ノ方ヲ議スルモノハ豫算ノ方ハ構ハズ、豫算ハ又法律ノ方ハ構ハズ議シテ、各其所信ニ邁進シテ宜シイダラウト、斯ウ我々ハ思ッテ議シテ居、タノデアリマス、併シ其點ガマダ能ク分ラナイノダト云フヤウナコトデアリマス、其點ガハッキリ致シ

マセヌト誠ニ困リマス問題デアリマスカラ、其點ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、若シ今日御答辯ガナンヤウナラバ、何モ今日ニ限、タコトデハゴザイマセヌカラ……

○國務大臣(高橋是清君) 其點ニ付キマシテハ先刻申シマシタ通りニ、不可分デアリヤ否ヤチヨット分ラナイノデ、ソレデ其取調ベヲ爲サセマシタガ、近頃貴族院ニ於テハ、法律案ノ審議ト豫算案ノ審議トノ關係ハ、可分ニ取扱ハレテ居ルト云フコトヲ承知イタシマシタカラ、私ハ矢張り今日ハ可分ノモノトシテ取扱ハレルモノト思ッテ居リマス、サレド今回ノ此關稅改正案ニ對シマスル法律案ハ之ニ伴フ增收ガ一千六百萬圓見積、テ居ルノデス豫算……若シ本案御審議ノ結果此歳入ヲ見積ルコトガ出来ナクナリマスと云フト、本年度ノ實行豫算ニ於テハ、結局ソレダケ更ニ募債ヲ増額スルノ外ハ方法ガナイノデアリマス、若シ公債ヲ發行シツツアルモノヲ増額スル……公債ヲ増額スルト云フコトニ依ラザレバ、政府トシテハ此豫算ノ執行ガ出来ナクナルノデアリマス、關係ハサウ云フコトニナツテ居リマス

○男爵斯波忠三郎君 先程私ハ、是マデノ例ハ單ニ支出ダケノ關係デアッタト申シマ

シタガ、競馬法ト云フ問題ガ先程大河内子爵カラモ仰セニナリマシタガ、是モ矢張り收入ノ所ニ關係ガアッタモノト云フコトデアリマスカラ、ソレヲ訂正イタシテ置キマス、尙ホ是ハ只今御言明ニナツヤウニ可分デアルト云フコトデアリマシテ、此問題ハモウ是デ解決シタモノト思ヒマス、尙ホ幸ヒ、大藏大臣ガ茲ニ御出席ニナリマシタニ付キマシテ、大藏大臣ニ別ノ問題ヲ承ハリタイ、此衆議院ニ於キマシテ從量稅三割五分一律ニ引上ゲルト云フ此法律案ヲ協賛スルニ際シマシテ、附帶決議トシテ斯ウ云フ決議ガ行ハレテ居ルノデアリマス、政府ハ本案實施ノ狀況ニ鑑ミ將來一層其ノ完壁ヲ期スルハ勿論特ニ從量稅ノ三割五分一律引上ノ内容ニ就テハ各品目ニ付完全ナル調査ヲ遂ゲ稅率改正案ヲ次期通常議會ニ提出スベシト云フ決議案ガ附イテ協賛サレテ居ルヤウニ承ハッテ居ルノデアリマス、此コトニ付キマシテハ政府ハ如何御考ヘニナツテ居リマス、速記録ニ御答辯ガアッタカドウカ能ク私ハ伺ヒマセヌノデアリマスガ、幸ヒ大藏大臣ガ御出席デゴザイマスカラ、此點ニ付テ次ノ通常議會ニソレノ品目ニ付キ、完全ナル調査ヲ遂ゲテ再ビ改正案ヲ提出シヤウト云フ、此コトガ可能性ガゴザイ

マスカ如何デアリマスカ、先ヅ此點ヲ一ツ……、ドウ云フ御考ヘデアリマスカ

○國務大臣(高橋是清君) 此衆議院ノ附帶決議案ニ對シテハ、十分其決議ヲ尊重シテ行ク積リデアリマス

○男爵斯波忠三郎君 只今大藏大臣カラ御言明ニナリマシタヤウニ、此決議ヲ尊重シテ成ルベク其希望通りニスル、是ハ誠ニ結構デアルト思ヒマスガ、併シ此三割五分ヲ一律ニ引上ゲルト云フコトハ、是ハ世ノ中ニ隨分只今議論ガゴザイマスヤウニ、餘リ

慎重ニ審議サレタ結果デナク、マア十把一東ニ三割五分此際上ゲタラ、ト云フヤウナ御考ヘノヤウニ昨日カラノ質問ニ依ッテ親ハレルノデアリマス、此品目ハ隨分澤山アルノデアリマスカラ、是ノ完全ナル調査ヲ遂ゲテ稅率改正案ヲ次ノ議會ヘ出スト云フコトハ、今カラ半年ノ間ニハ中々骨ノ折レルコトダラウト思フ、併シ御言明ガゴザイ

マシタカラ、マアサウ爲サルコトダラウト思ヒマスガ、兎ニ角隨分大變デアラウト思フノデアリマス、過日モ私ハ本會議ニ於キマシテ、今回ノ關稅改正ノ如キ此廣汎ニ互々品目ニ付キ、咄嗟ノ間、ト申シテハ少シ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、比較的短カイ間ニ御調べニナッテ、サウシテタツタ一回

ノ關稅調查委員會ノ諮問ヲ經テ成案ヲ得テ出サレタ如キハ、餘リ輕率デハナイカト御尋ネイタシマシタ所、總理大臣ハ、關稅調查委員會ノ諸君ハ專門家バカリデアッテ、平素ヨリ此問題ニ付テ慎重ニ考慮サレテ居ルノ

デアルカラ、一回デ十分デアルト云フ風ニ御答ヘニナッテ居ッタノデアリマス、成程專門家ノ方モ御出デニナリマセウ、併シ又外ノ政府ノ委員會ニ於テモ斯ウ申シテ誠ニ言ヒ憎イコトデアリマスケレドモ、政府案ニ都合ノ宜イヤウナ委員諸君ガ羅列サレテ

居ル委員會ガ隨分アルデアリマス、其會ニ於テ政府案ハ皆通ルヤウナ風ニ委員會ノ組織ガ出來テ居ルヤウナコトガ隨分アルノデアリマス、關稅調查委員會ニ於テハサウ云フコトハナイカ存ジマセヌガ、又或ル見方ヲ致シマスレバ政府ガ更リマス度ニ其政府

ノ與黨ノ諸君ガ委員ニナリ、又政府部内ノ人モ澤山ニ居ラレルノデ、一般民間ノ朝野ノ學識、經驗アル人カラ較ベレバ其頭數ハ多イノデアリマス、デアリマスカラ政府ノ原案ト云フモノガ何時デモ通ルノデアリマス、其會ガ一回シカ開カレヌデ、サウシテ今回

期議會ニ本案ノ完全ナル調査ヲ遂ゲテ改正案ヲ提出サレル前ニ先ヅ以テ關稅調查委員會ノ内容ヲ御整理ナサツタ方ガ宜クハナイ

カト考ヘマス、是ハ質問デヤアリマセヌケレドモ、只今ノ御言明ニ對シテ私ノ希望ヲ申上ゲル次第デアリマス

○國務大臣(高橋是清君) 只今ノ御意見ハ了承イタシマシタ、實行イタスコトニ努力イタシマス

○子爵井上匡四郎君 大藏大臣ガ御出席デアリマスカラ、大藏大臣ニ御質問申上ゲマス、銑鐵ニ關シテデアリマスルガ、銑鐵ノ關稅ノ改正ノ基礎ガ展、論議サレマシタ如ク、内地ノ銑鐵ノ生産費ガ三十五圓六十五錢ト云フコトガ基礎トナッテ稅率ノ算出ガ

ノガ果シテ何ガアルカト云フコトヲ私ハ疑ハザルヲ得ナイ位ノ現在ノ日本ノ産業ハ萎微シテ居ルノデアルト考ヘテ居ルノデアリ

マス、製鐵業ハ是ハ日本ノミナラズ世界的ニ非常ナ悲境ノ狀態ニアル、亞米利加ノ製鐵業ノ如キハ日本ノ製鐵業ヨリモモト悲境ニアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ場合銑鐵ダケニ斯ウ手厚イ保護ヲサレルト云フコトハ他ノ基礎的産業ガ又之ト同ジダ

ケノ恩典ニ浴シタイト云フ希望ヲ政府ニ述べタ場合ニ於テ之ヲ又無視スルコトモ出來ナクナッテ益、政府ノ負擔ト云フモノハ重クナッテ財政ノ基礎ガ益、困難ニナルト云フコトニ導クノデハナイカト恐レルノデアリマ

ス、豫ネテ大藏大臣ハ斯ウ云フコトニ付テハ全ク御贊成デナイヤウナ風ノ御所論ノヤウニ承ッテ居ルノデアリマスルガ、此製鐵ニ關スル限り此悲境ノ、他ノ工業モ、他ノ産業モ非常ナ生死ノ間ニ彷徨ッテ居ルト云フヤウナ狀態ノ下ニ此製鐵業ダケガ斯ノ如キ手厚イ保護ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトガ何處ニ特ニアルノデアリマセウカ、又

他ノ産業、他ノ基礎的産業ガ同ジヤウナ要求ヲ政府ニサレタ場合ニ於テ、是ハ其時ノコトトシテ其日暮シノ御考デアリマスカ、茲ニ例ヲ舉ゲテ申シマスレバ、製鐵業ト分

ツコトノ出来ナイ炭鑛業ノ如キモノモ非常
ナ生産制限ヲシテ生産費ヲ割テ自分ノ炭
ヲ捌イテ居ルト云フ状態デアラウト思ハレ
ルノデアリマス、斯ウ云フモノガ又此恩典
ヲ要求イタシマシタ場合ニ、政府ハ之ニ對
シテドウ云フ見解ヲ御持チニナリマスカ、
大體ノ御意嚮ヲ承テ見タイト考ヘマス

○國務大臣(高橋是清君) 只今ノ御尋ノ如
キ鉄鐵ニ對シテドウ云フ計算ノ下ニ保護シ
タカト云フコトハ實ハ私ハ能ク細カナコト
ハ知リマセヌデス、矢張り商工當局者ガ御
答ヘシタ方ガ適當ナ御答ヘガ出来ラウ
ト思ヒマス、大藏大臣トシテハ其處マデ深
ク立入テ研究シテ居リマセヌ、主ニ當局大
臣即チ商工省ノ關係ノモノハ商工省ノ審議
ヲシタ其意見ヲ尊重シテ御答ヘシテ居ルニ
過ギナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒ
マス

○子爵井上匡四郎君 大藏大臣トシテ私ハ
承リタイノデアリマスルガ、一般産業ガ今
日ノ如キ悲境ニ居リマス場合ニ於キマシテ
之ヲ保護スル爲ニ關稅ヲ以テ之ヲ保護スル
ノデアリマス、併ナガラ其保護ノ高ガ、其
生産物ノ直接費ヲ超エマシテ其資本ニ對ス
ル利子、金利及び固定資本ニ對スル利廻、
償却迄モ合シテ之ヲ保護シナケレバナラナ

イノデアアルカ、是ハ大藏大臣トシテ此改正
ノ關稅率ガ其處マデ含シテ居ルモノデアアル
ト云フコトハソレハ御承知ダラウト思フノ
デアリマス、又一般ノ工業ニ於キマシテ一
般的ニ考ヘマシテ此場合基礎工業ヲ關稅ヲ
以テ保護スル場合ニ於キマシテ直接費ヲ超
エテ其固定資本ニ對スル利廻、償却及び市
場迄ノ運賃ト云フモノ迄モ含メテ此場合保
護シナケレバナラヌモノデアアルカドウカト
云フコトノ大體ノ産業ニ付テノ保護政策ト
シテノ御趣旨ヲ承リタイ

○國務大臣(高橋是清君) 私モ關稅ニ依
テ國產ヲ保護スルト云フコトハ從來カラ唱
ヘテ居ル、所謂「プロテクトリー
」其主義ヲ私ハ採テ居リマス、併シ其產
業ガ保護スベキモノガ何年經テモ外國ノ
同ジモノト競争ノ出来ナイヤウナ、見込
ナイモノヲ保護スル考ヘハ毛頭ナイノデア
リマス、是ダケノモノハ保護シナケレバ成
立ツベキモノガ今日成立タヌ、外國ノ品物
ノ壓迫ノ爲ニ内地ノ産業ガ伸ビナイト、其
處デ之ヲ關稅デ保護シテ伸バシテ行カウト
云フノガ私ノ關稅ニ依ッテ内地ノ産業ヲ保
護スル趣旨デゴザイマス、ソレカラモウ一
ツ關稅ハ或ハ場合ニ依ルト云フト産業ヲ異
ニスル爲ニ收入ノ點カラ言ッテ最モ深イ稅

ヲカケルト云フヤウナコトモ將來必要ガ起
ラヌトモ限ラヌト私ハ思フ、唯内地ノ鉄業
鐵事業はハ先年如何ニモ早ク我國ノ鐵ノ國
策ヲ樹立セナケレバナラヌ、云フ考ヘヲ以
テ居リマシタ、幸ヒ三派内閣ノ時ニ、農商
務大臣ノ任ニ居リマシテ、早速官民ノ間ニ
皆ソレノ權威者ヲ頼ミマシテ調査ノ委員ト
ナッテ貰ッタノデアリマス、其時ハ先ヅ第一

東洋ニ於テ我國鐵事業ガ東洋ノ鐵事業トシ
テ、歐米ノ鐵事業ニ對抗スルダケ樹立スル
コトガ出来ヤシナイカト云フコトガ先決問
題デ、ソレノ權威者ガ集テ日本ノ職工ノ
能力、體力ヲ初メ、原料、總テサウ云フモ
ノヲ調べテ上ゲマシテ 我國デ、鐵ノ事業
ヲ國策トシテ樹立スルコトガ確カニ出来ル
ト云フ審査ノ調査ノ結論ヲ得タノデアリマ
ス、其時モ併ナガラ初カラ外國品ト競争ス
ル位置ニ立ツ譯ニ行カヌカラ若干年ハ矢張
リ關稅ヲ以テ保護シテ行カナケレバいか
ヌ、職工ガ十分ニナリ、ソレカラ機械其他
ノ設備ト云フモノモ改善ヲシ合理的ニ出来
ルヤウニナル迄ハ、ドウモ關稅ニ依ッテ保護
セナケレバナラヌト云フコトハ、其時分か
ラ必要ヲ委員モ認メテ私モ認メタ、矢張り
今日ソレガ鐵、鉄鐵ヲ外國ノ有スル鉄鐵ニ
稅ヲカケテ、内地ノ鉄鐵業ヲ保護スルト云

フコトハ必要ナリト信ジテ居ルノデアリマ
ス、而シテ今ノ稅ノ増加スル金額ニ至ッテ、
其基礎タルモノガ投ジタ資本ノ利息等總テ
今御舉ゲニナッタヤウナモノカラ割出サレ
テ、是ダケノモノガ必要ナリト云フコト迄
ハ私ハ或ハ目ヲ通サズニ、何故ソレガ必要
デアアルカト云フ理由ニ付テハ商工省ノ方デ
十分サウナケレバナラヌト云フ根據ハ調ノ
上デ持ッテルモノト信ズルノデアリマス、如
何ニモ今日ノ不況ニシテ何レノ事業ト雖
投ジタ所ノ資本ニ相當ノ利益ヲ見、金利

ヲ見、直接ノ生産費以外十分ニ他ノ費用
等ヲ見テサウシテ、豐カニ樂ニシテ居ル事
業ハ稀レデアリマセウ、ソレハ御同感デア
リマス、然ルニ獨リ此鉄鐵ノ保護ノミサウ
云フ風ニ緩カニ計算ヲシタナラバ他ノモノ
モ同ジ恩澤ニ浴サウト思ッテ出願ヲシテ來
ルダラウ、サウ云フ時分ニハ政府ハ唯之ニ
耳ヲ假ス外アルマイト云フコトデ御尤デア
リマス、併シ保護ト云フモノハ唯徒ラニ政
府ニ頼ルト云フヤウナコトデハナラヌノデ
アリマス、此鉄鐵ノコトニ付キマシテモ當
局者ノ今日懷テ居ルアラマシノ考ヲ聽イテ
見マスト云フト、十分是カラ國策トシテ樹立
スル爲ニ著手スルノダト云フコトデアリマ
ス、ソレカラ又稅ノ外ニ今日補助、補償金

ヲヤテ居ルト云フ譯デアル、是等ハ直ニ廢スルコトヲ傳ストモ關稅力ヲ以テシタ上、從來ノ補償金ヲヤルト云フコトハ成ルベクハ速ニ廢シテ宜イヤウニ當業者ヲ鞭撻シテ、能率ヲ上げ、自然我が内地ノ鉄鐵ノ費用ヲ減ジテ、十分ニ發達スルコトヲ得セシメルヤウニサセナケレバナラヌガラウト思フ、商工當局モ固ヨリ其考デ居ラレルヤウデアリマス、此コトヲ申シテ置キマス

○子爵井上匡四郎君 大藏大臣トシテ日本ニ製鐵業ガ發展シ得ルカ、ドウカト云フコトノ御判斷ハハ御所管以外ノコトデアリマスカラ之ヲ彼は大藏大臣ニ私申上ゲルノデハナイノデアリマスルガ、只今御話ノコトハ古イ話デアリマシテ今日ニ於キマシテハ所謂滿洲ノ事情ト云フモノガ其當時トハ非常ニ變テ參リマシテ、製鉄製鋼ト云フモノハ滿洲ノ方ガ安ク出來ルト云フコトハ是ハモウ爭ヘナイ事實デアアルノデアリマス、又軍事的ニ考ヘマシテモ、從來トハ非常ニ滿洲ニ對スル日本ノ位置ト云フモノガ變テ居リマス、從來ノ如ク必ズシモ此製鐵業ガ日本内地ニ存在シナケレバナラヌト云フ事情ハ餘程薄ライデ來テ居ルト云フコトハ是ハ申スマデモナイコトデアアルノデアリマス、ソレデ私ノ申シタコトニ付キマシテ只

今大藏大臣ハ外ノ産業デモ金利トカ、資本ニ對スル利廻リトカ、償却ナドヲシテヤルモノガ幾ラアルカハソレハ自分モ疑フ、ソレハ同感デアアル、併ナガラ保護ト云フモノハ他ノモノモサウ政府ニバカリ頼テバカリ居テハイカヌノダト云フヤウナ御話デ、感ジガ致スノデアリマスガ、大藏大臣ハ此内容ニ付テ御承知ナカッタコトハ御多用中是ハ何トモ私申上ゲルノデハナイノデアリマスガ、只今私が申上ゲマスヤウニ此方ト云フモノハ直接費ノ外、市場マデノ運賃トカ、金利、固定資本ニ對スル利子、償却ト云フモノガ七圓六十五錢モ這入ッテ居ルノデアリマス、是ハ政府ノ御提出ニナッタ材料デアリマス、只今此所デ御考ヲ願ヒタイノデ、前ニ眼ヲ御通シニナラナクテモ宜イノデアリマスガ、現在ノ他ノ主要産業ガ非常ニ行詰ッテ居ル時ニ、鐵ダケ是程ノ特ニ保護ヲシナケレバナラナイ必要ガアルト大藏大臣トシテ御考ニナリマスガ、ドウデスカ、唯商工大臣ガ言ッテ來タノデアルカラ、ソレニハ理由ガアルトシテ唯自分ハソレニ賛成シタノデアアルト仰シヤルノデアレバ又ソレデ宜シイト考ヘル

リマス、一々色ミナ品物ニ付テ細カニ私ガ聽キ質スガ當リ前カモ知レマセヌガ、其暇モナクテ……、不可能デアリマス、ソレカラ只今御學ゲニナッタコトハ通常カラ考ヘマスト云フト、矢張り生産費ノ中ニ這入ルヤウニモ考ヘラレマス、運搬ナドト云フモノモ總テガ生産費ニ這入ラナイトシテ、ソレヲ除イタナラバ矢張り立チ行カヌデヤアリマセヌカ

○政府委員(福田庸雄君) 只今商工大臣ガ豫算委員會ノ方デ御答辯ニナッテ居リマシテ、チョット御出席ガ出來ナイサウデゴザイマスガ、只今ノ點ニ付キマシテ商工當局トシテノ所見ヲ私カラ代ッテ一應御諒解ヲ得タイト考ヘテ居リマス、第一ニハ固定資本ニ對スル利廻リノ計上ハ現下ノ他ノ産業トノ鈎合上オカシクハナイカ、寧ロ不鈎合デハナイカト、斯ウ云フ御意見ノヤウニ承リマスガ、是ハ昨日モ此席デ御説明申上ゲマシタ通り、此固定資本ト申シマスノハ、現在各社ガ固定シテ居ルヤウナ多額ノ固定資本デハゴザイマセヌ、若シ現在ノ安イ生産費ニ限ッテ現在ノ鉄鐵工場、及ビ之ニ必要ナル附屬設備ヲ設ケマスルナラバ、鉄鐵年産費一噸當リニ付テ幾ラ要ルカト云フ、斯ウ云フマア標準的ノ固定資本ヲ算出イタシマ

シテ、之ヲ基礎ト致シタノデゴザイマスカラ、現在ノ固定資本ヨリモ餘程事實ニ於テ安ク附イテ居ル譯デゴザイマス、サウシテ從來生産費ヲ考ヘマスル場合ニ、大體此事業ハ利益ガナケレバ成立タヌ譯デゴザイマスカラ、其固定資本ニ對シテ或程度ノ利廻ガアルト云フコトヲ見テ、サウシテ此生産費ヲ考ヘルト云フ例ニナッテ居リマスノデ、其例ニ倣ッテ斯ノ如ク計上イタシタノデゴザイマスガ、只今申上ゲマシタヤウニ、此固定資本ハ現實ノ固定資本ヨリモ遙ニ切下グラレテ居ル固定資本デゴザイマスカラ、假リニ此豫定通りノ値段、詰リ三十五圓五十六錢ト云フヤウナコトニナリマシタト致シマシテモ、現在ノ資本ニ對スル利廻トシテハ遙ニ低イモノニナル、況ンヤ先程來申上ゲテ居ルヤウニ、此不況時代ニ於キマシテ多額ノ「ストック」ヲ有シテ居ル鉄鐵界ノ現狀ニ鑑ミマシテ、關稅引上ダケノ値上リト云フヤウナコトハ到底想像モ及バナイコトデゴザイマスノデ、大體實際ノ狀況カラ申シマスレバ、逆モ斯ウ云フ利廻リハ、實際上ニ於テ固定資本ニ對スル利廻リト云フヤウナモノハ出テ來ナイデアラウ、寧ロ收支トシノト云フ位ノ所ニ參レバ、現在ノ狀態ニ於テハ結構デヤナイカ、デ詰

リ今後資本ノ償却、其他ヲ完全ニ致シマシテ、合理的ノ投資ノ形ニナラ、サウシテ鉄鐵ノ値モ相當上テ參、タ場合ニ初メテ生ジ得ル利廻リニナルノデゴザイマシテ、此不況時代ニ於キマシテハ先ヅ赤字ヲ埋メルト云フ程度ニナレバ上々デヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ此生産費ニ運賃ガ加テ居ル、サウ云フ點ハ不當デヤナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、是ハ印度ノ鉄鐵モ内地マデ運賃ヲ負擔シ且ツ陸揚諸費用、金利、「コンミッション」ト云フモノモ加ヘマシテ、内地市場ニ於テ幾ラデ販賣ガ出來ルカト云フ値段ヲ出シマシテ、ソレニ對シテ内地ノ鉄鐵ガ内地ノ市場ニ於テ幾ラデ賣リ得ルカ、斯ウ云フ、所謂販賣原價ト云フヤウナモノヲ玆ニ算出イタシマシテゴザイマスカラ、自然、市場マデノ運賃ヲ是ニ加算イタサナケレバナラス、加算イタスノガ當然デアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、斯クノ如キ生産費ヲ作ラタノデゴザイマス

○子爵井上匡四郎君 政府ノ御説明ガアリマシタカラ、私モモウ一應……御答ノヤウニ、此金利固定資本ニ對スル利子ト云フヤウナモノハ、實際ノ投資額ニアラズシテ、合理的ニ必要ナ資本ニ對スル利子、固定資

本ニ對スル利廻リ及ビ償却デアルト云フコトハ、是ハ屢、御述ベニナリマシタノデ、能ク其通り私ハ諒解シテ御尋ネヲ致シテ居ルノデアリマス、寧ロ此物ノ高イ時代ニ作タトコロノ物ヲ、現在マデソレガ投資價格トシテ製鉄業者ノ間ニ殘テ居ルト云フコト、既ニ其コトガ、私ハ製鉄業者ノ營業上ノ政策ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、多クノ工業、例ヘバ、私ハ知りマセヌガ、聞ク所ニ依リマスルト、紡績ト云フヤウナモノモ、此悲況時代ニ際シマシテ、非常ニ投資々本ノ整理ヲシテ居ラレルヤニ聞イテ居ルノデアリマスガ、此製鉄業ノ如キハ、實際今之ヲ建設シマスルト云フト、其當時ノ投資額ノ十分ノ一デ宜イト云フヤウナ、狀態デアルヤニ聞キ及ンデ居ルノデアリマスガ、其十倍モアルヤウナ老ナ資本ヲ、現在マデソレヲ投資々本トシテ、ソレナリニ整理セズニ居ルト云フコトハ、既ニ既ニモウ營利的營業ト致シマシテハ、ドウ云フ……將來ソレヲ取返ス積リデマダヤ、テ居ラレルカドウカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイヤウナ感じガ致シマス、此利廻リト云フノハ其合理的投資ニ對スル利廻リデアルト云フコトハ當然ナコトデアアルノデアリマス、ソレデ、併ナガラ其合理的の必要ナ

投資額デサヘモ、私ハ他ノ産業、他ノ重要産業ニ於キマシテモ、其合理的の必要ナル投資額ニ對スル利廻償却ト云フヤウナモノヲ、現在見テヤッテ居ル産業ガドノ位アルカト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマシテ、大藏大臣モ只今ハ、自分モサウ思フト云フヤウナ御考ヘデアッタ、其點ヲ私ハ申上ゲタノデアリマス、是ガ其老ナ資本ニ對スル償却デアルト云フコトニ私ハ其意味デ申上ゲタノデハナイ、モウソレニ對スル御答辯ハ必要ハナイト思ヒマス、是デ打切りマス

○男爵斯波忠三郎君 大藏當局ニチヨット御尋ネシタイノデスガ、大藏大臣デナクモ宜シイノデアリマス、當局者デ宜シイノデアリマス、先程私ハ衆議院ノ附帶決議ニ對シテ、次ノ議會マデニ提出スルコトガ可能デアリヤト、斯ウ申上ゲタコロガ、成ルベクサウスルト云フ御言明デアリマシタ、是非常ニ困難ナコトデアアルト思フケレドモ、サウスルト云フ當局者ノ御考ヘモサウデアッタラウト思ヒマスガ、サウ致シマスルト此三割五分稅ノ法律案ハ、今玆デ此議會ヲ假リニ通過イタシマシテモ、タッタ六ヶ月カソコラシカ有效デナイ譯デアリマス、六ヶ月延ビタ場合、現在直グ之ヲ玆デ實行スル場合ハ、ドウ云フ差ガゴザイマセウカ、

ソレヲ一ツ極ク抽象的ナコトデ宜シイノデスガ、餘リ短イ間ニ取變ヘニナリマススト云フコトハ、寧ロ今見合セテ、次ノ議會マデ延バシタト云フコトト同ジコトニナルデヤナイカト云フ風ノ感じガ致シマス、其點ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(中島鐵平君) 先刻斯波男爵ノ御尋ニ對シマシテ大藏大臣カラ御答辯ニナリマシタノハ私後ロニ居リマシタケレドモ、明瞭ニ聽取レマセヌデシタガ、私ノ聽キマシタ所デハ衆議院ノ決議ニ對シテハ出來得ル限り其趣旨ヲ尊重スルト云フヤウナ意味合デノ御答辯デアッタヤウニ拜聽イタシマシタ、若シサウデアッタトシマスレバ、矢張り出來得ル限り努力ヲ致シマシテ、三割五分ノヤウナアノ品目ノ内容ニ付キマシテ調査ヲ遂ゲマシテ出來得ル限り次ノ通常議會ニ改正案ヲ提出スルト云フ斯ウ云フ趣旨ノ御答辯デアッタト思フ、私共モサウ云フ考デ努力イタス積リデアリマス、是ダケ御答辯申上ゲマス

○男爵斯波忠三郎君 主稅局長ハ通常議會マデニ間ニ合ウト云フ御見込デアリマシタガ、是ハナカノ希望ニハ副ウヤウニシタイケレドモ、ドウモムヅカシイト云フ御議論デアリマス、私ハ先程大藏大臣カラ次ノ

議會マデニ成ルベク提出スルノダト云フヤ
ウニ承リマシタカラ、ソコデ大變ムヅカシ
イコトト思ヒマシタケレドモ、マアソレナ
ラソレト、サウ致シマセウト云ツテ、私ノ希
望ヲ……關稅調查委員會ニ對スル希望ヲ述
ベテ居ッタノデアリマス、併シ其點ニ於テ行
違ガアルカモ存ジマセヌ、私ハサウ聽イタ
ノデアリマスガ、皆サンドウデスカ知リマ
セヌガ……

○政府委員(中島鐵平君) 重ネテノ御尋ニ
對シテ御答ヘ致シマス只今御答辯イタシマ
シタヤウニ、或ハ事實不可能カモ分リマセ
ヌデスガ、アア云フ附帶決議ガ附キマシタ
以上ハ只今大藏大臣カラ御答ヘニナリマシ
タヤウニ、其決議ノ趣旨ニ對シマシテ八十
分ナル敬意ヲ尊重ノ念ヲ以チマシテ出來得
ル限り此趣旨ニ副ウヤウニ私共トシテハ致
スト云フ御答ヘスルヨリ外ナイト思ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 先程私ハ次ノ議會ニ
御提出ニナル可能性ガゴザイマスカト云ツ
テ承ツタト思ヒマス、ソレニ付テ可能性アリ
ト云フ風ニ、可能デアルト仰シヤツタカドウ
カ知リマセヌケレドモ、ソレハ何デアリマ
スカ、私ハ次ノ議會ニ御提出ハムヅカシイ
コトデナイカト思ウテ念ヲ押シタノデアリ
マス、尊重スルト云フコトハ是ハ議會ノ決

議デアリマスカラ尊重サレルコトハ無論ノ
話デ、尊重シナイト云ツテ御答辯ニナッタ
ソレコソ大問題、尊重セラレルコトハ是ハ
分リ切ッタコトデアリマスガ、次ノ議會ニ御
提出ニナル可能性ガアルカト御問ヒヲシタ、
御問ヒヲシタ所ガ可能デアル、ソレハ誠ニ
結構デゴザイマス、就テハ調查委員會ノ内
容ハ私ハ甚ダソレニ似タモノガアルガ云々
ト云ツテ希望ヲ述ベテ引下ッタ次第デゴザイ
マス、皆サンサウ云フ風ニ御聽キニナッタ
ウト思ヒマス

○稻畑勝太郎君 アナタノ御質問ハ濟ンダ
ンデスカ

○男爵斯波忠三郎君 御答ガナケレバ續イ
テ申シマスガ、ソコデ元ノ題ニ移ルノデ
スガ、次ノ議會ニ是ガ果シテ可能性ガアッテ
提出サレテ改正ニナッタト考ヘマス其場合
ト、ソレカラ是ガ延ビタ場合ト、ドウ云フ
風ニ違ヒマスカ、尙ホ能ク御了解ニナリマ
セヌケレバ斯ウ云フコトヲ申シマス、次ノ
議會ニ是ガ出マシテ衆議院ノ希望通りニ次
ノ議會ヲ通過イタシマス、次ノ議會ニ於テ
今三割五分ト云フモノガ此處ニ可決サレテ
居ッテモ、次ノ議會ニナルトソレガ次ノ議會
以後ニ於テハソレガ變更ニナリマス、タッタ
六箇月ダケノ間三割五分ト云フモノガ行ハ

レルト云フコトニナルノデアリマス、其短
時日ノ間、サウ云フコトガ行ハレル場合ト、
行ハレナイ場合ハ……行ハレナイト云フ場
合ハ、是ガ延ビタ場合、次ノ議會マデド
ナニ違ヒマスカト云フコトヲ承リタイ、是
ハ事務的ノ問題デアリマスカラ、大藏大臣
デナクテモ當局カラ承レバ宜シイ

○政府委員(堀切善兵衛君) 甚ダ私後トカ
ラ參リマシテ御質問ノ趣旨ヲ十分ニ理解シ
マセヌデゴザイマシタガ、モウ一度承リタ
イト思ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 斯ウ云フ譯デゴザイ
マス、必ズ實行出來ル、出來ヌト云フコト
ハ別問題デアリマスガ、此衆議院ノ決議通
リノ可能性ガアルト致シマシテ、サウシテ
ソノヤウニ御努力ニナリマシテ次ノ議會、
通常議會ト申シマスレバ半年後デアリマ
ス、其半年後ニ是ガ改正ニナルコトニナリ
マス、其次ニナリマスレバ、其當時是ガ改
正ニナルト致シマスレバ現在此三割五分ノ
法案ガ此處ニ提出サレテ居リマスガ、是ガ
延ビテ、延ビタト申シマスカ、或ハ此處
デ否決サレタト申シマスカ、場合ト、今
是ガ此處デ通過イタシマシテ直グニ實行サ
レタ場合ト、ドウ云フ風ナ違ヒガゴザイマ
スカト云フコトヲ……

○政府委員(堀切善兵衛君) 御答ヘ申上ゲ
マス、次ノ議會ト申シマス、次ノ臨時議
會ヲモウ一度開キタイト云フ希望モゴザイ
マスシ

○男爵斯波忠三郎君 次ノ通常議會……

○政府委員(堀切善兵衛君) 通常議會ト
ナツテ、今回成立シタノヲ又改正シテ出シテ
元通りニ致スト云フ風ニ改正デモ致シタト
致シマスレバ、其改正案ガ成立シテ、而シ
テソレニ依ッテ稅率ヲ今度減ラシテ參ラナ
クチャナラヌコトニナリマスノデ、サウ致
シマス矢張り政府ノ財政上ニ於テハ千六
百萬圓取レタモノガ取レナクナル、一年ニ
致シマス云フト二千二百萬バカリノ收
入ニナルノデアリマスカラ、ソレダケ今度
ハ取レナイコトニナリマスノデ政府ノ財政
上矢張り大ナル影響ヲ及ボスコトニナルト
思ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 私ノ質問ノ意味ヲ、
少シ申上ゲ方ガ不十分デアツカモ知レマ
セヌ、次ノ議會ニ假ニ是ガ改正ニナルト致
シマセウガ、今三割五分上ツタモノガ、場合
ニ依ッテハ次ノ議會、即チ六箇月以後ニ三割
五分デナク、精査シタ結果ト致シマシテ下
ゲナケレバナラヌヤウナモノガ起ッテ來ヤ
シナイカ、又上ゲナケレバナラヌヤウナモ

ノガ起テ來ルカモ知レマセヌ、下ゲナケレ
バナラスモノハ假ニアット致シマスレバ、
其下ゲラレタモノハ僅カ六箇月ノ中ニ上ゲ
タリ、下ゲタリスルト云フコトハ産業ノ開
發ノ上ニ於テ誠ニ困タ問題ドラウト思フ、
寧ロ今之ヲ見合セテ次ノ通常議會マデ待
方ガ宜イノジヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
ラレテ御尋ヲ致シタノデ、其意味ニ於テ尙
ホ一應御答辯下サレバ宜シウゴザイマス
ガ、併シ又私ノ聽キ方ガ惡クテ了解ガ行カ
ヌノカモ知レマセヌ、若シ何ナラバ後デ速
記録ヲ拜見シマシテ明日ニデモ伺ヒマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 今回三割五分

ヲ課税イタシマシタ、サウシテ次ノ通常議
會ニ又能ク其適不適ヲ調査イタシマシテ、
更ニ改正案ヲ提出スルト云フコトニ致シマ
スルト成程詳細ニ調査イタシマスレバ上ゲ
過ギタト思フモノハ下ゲナケレバナラスコ
トニナリ、又上ゲ方ガ足リナカッタと思フモ
ノニ對シテハ上ゲナクチャナラスカト考ヘ
マス、併シ是ハ十分ソレマデ調査研究ヲ致
シテ見ナケレバ判然是ヨリ上ゲル方ガ良ク
ナルカ、下ゲル方ガ良クナルカ其邊ノ判斷
モ只今ノ所デハ致シ兼ねマス、果シテドウ
云フ影響ヲ持ツカト云フコトハ只今ヨリ是
ガ明ニ御答ヘ申上ゲルノハ少シク是ハ私共

トシテ困難ダト感ジマス次第デアリマス

○男爵斯波忠三郎君

上ゲタリ下ゲタリス

ルコトガ比較的短時日ノ間ニ上ゲテ見タ
リ、下ゲテ見タリト云フコトガ宜シクナイ
ノデヤナイカト云フコトニ對シテハ、今カ
ラドウナルカ分ラヌト云フ、ソレハドンナ
ニ上ルモノガ多イカ、下ルモノガ多イカ、
或ハ三割五分デ良イノカソレハ分リマセヌ
ケレドモ、精査スルト云フ以上ソレハドウ
モ下ルモノハアリ得ルト思ヒマス、ソコデ
三割五分ニ上ゲルト云フノハ隨分上ゲ方ガ
多イノデアリマス、是ガ假ニ五分シカ上ラ
ナカッタ、ソレハ場合ニ依ッテハ下ゲルノダ
ト云フヤウナコトデアリマス云フト、此
短時日ノ間ニ、誠ニ是ハ産業界ニ對シテ大
キイ打擊デアリハセヌカト考ヘマシテ、御
尋ヲシタヤウナ次第デアリマス、尙此法律
案ノ一番最初ニ書イテアリマス如ク、是ハ
當分ノ中ト書イテゴザイマス、ダカラ是ハ
永久的ノモノデナイト云フコトハ分テ居
リマスケレドモ、當分ガ半年ノ當分ト云フ
ノナラバ、餘リ短イノデヤナイカト云フヤ
ウナ風ニ考ヘマシタカラ、ソレヲ御尋シタ
次第デアリマス、次官ノ御答辯デアリマス
ケレドモ、ドウモ私ノ質問ニ適中シテ居ラ
ヌヤウデアリマス、尙私モ能ク考ヘマス、

此問題ヲ處理スル上ニ於テ、能ク考ヘナク
チャナラスト思ヒマスカラ、質問ハ此程度
デ止メマス

○稻畑勝太郎君

大藏大臣御臨席ノ時ニ質

問申上ゲヤウト思ヒマシタガ、其機會ヲ逸
シマシタノデ、大藏當局ニ御伺ヒマシタイ
ト思ヒマス、只今大藏大臣ノ御話ノ如ク、
關稅ヲ以テ内地ノ産業ヲ保護スルト云フ御
趣旨ハ、私モ全然同感デアアルノデアリマス、
併シ今回ノ輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法案
ヲ御出シニナリマシタガ、從量稅ハ圓ノ下
落ノ結果其均衡ヲ得ル爲ニ三割五分ノ課稅
ヲ……稅金ヲ引上ニナルノデアリマスル
ガ、此現行ノ稅法ヲ御設定ノ時カラ比ベテ
見マスルト、今日ニ於キマシテハ、輸入品
ノ……外國品ノ價格モ外國ノ不景氣ノ結
果、相當ニ下ッテ居ルノデアリマス、シテ見
レバ從量稅ノ……圓ノ下落ノ結果、從量稅
ダケノ稅金ヲ引上ゲナサル外ニ、從價モ物
價ガ下ッテ居ルカラシテ、從價ニ對シテモ相
當ノ增稅ヲ爲サルト云フコトデナイト、均
衡ヲ失スルヤウニ思フノデアリマシテ、此
點モ伺ヒタイト思フノデアリマス、尙此間
題ニナッテ居リマスル製鐵業ノ副產物ノ染
料工業ノ如キハ……染料ノ如キハ、今回ノ
從量稅ヲ引上ニナリマシテモ、唯數量ダケ

ヲ標準トシテ居ラレル爲ニ、輸入品ハ又モ
ウ一層濃厚ナモノヲ入レテ來ルト云フコト
デアリマシテ、其恩惠ニ浴スルコトハ少イ
ノデアリマスガ引續イテ將來此關稅問題ヲ
御精査ニナリマスル時ニハ、此染料ノ如キ
ハ濃度ヲ基準トテ、其濃度ノ濃イモノ……
濃イ程度ニ依ッテ其關稅ヲ掛ケルト云フコ
トヲ、御考ノ中ニ入レテ頂キタイコトヲ私
ハ希望スル次第デアリマス、尙ホ陸軍大臣
ガ御出席ノ時ニ、陸軍大臣ノ御話ニ、本法
律案ガ通過スル曉ニハ、我國ノ産業ヲ保護
發達セシムルコトガ出來ル、續イテ此國防
上必要ナル産業ヲモ其恩惠ニ浴スルコトガ
出來ルト云フ御話デアリマシタガ、現今ノ
此製鐵業ノ副產物ノ「ベンゾール」其他ノモ
ノハ、八幡ノ製鐵所ニ於テドノ位出來ルモ
ノデアリマスルカ、又八幡製鐵所ノ官營工
場以外ノ民業ノ製鐵所ニ於テモ此副產物ガ
ドノ位出來ルノデアルカ、此法律案ガ通過
シマシタ結果、副產物ハドノ程度マデ増加
スルカト云フコトガ御答辯ガ願ヘマスレバ
結構デアリマスシ、尙ホ御調査ヲ下サレマ
スナレバ、明朝デモ其御調ヲ戴キタイト思
フノデス

○政府委員(福田庸雄君)

現在八幡デ造

テ居リマスル鉄鐵製造ニ伴フ副產物、ソレ

カラ民間ノ製鐵工場ニ於テ生ジマスル副產物ノ表ハ、今日御配リシタイト思ヒマスガ……官營ノ製鐵所ト、ソレカラ民間ノ製鐵所ト、合計シテ斯ウ云フコトニナッデ、區分ケモアリマス、ソレカラ大體、此割合デ、十五萬噸、假ニ輸入防遏ガ出來ルトスレバ、ドノ位ノ產額ガドコデ出來ルカト云フコトハ、之ヲ御覽ニナレバ大體御見當ガ付カレルト思ヒマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 只今ノ從量稅バカリデナク、從價稅モ更ニ調査ヲシテ増稅イタスベキモノモアルデヤナイカト云フ御質問ニ對シマシテハ、尙ホ引續キ調査ヲ進メマシテ、適當ノ方法ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 午前中稻畑委員ヨリ御質問ガアリマシタ、此印度ノ關稅ノコトデ、外務省ノ通商局長カ、商工省ノ貿易局長カラデモ宜シウゴザイマス、御答辯ヲ下サレタイ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外務省ノ方ハドウデスカ

○政府委員(武富敏彦君) 午前中稻畑委員カラノ御尋ハ、鉄鐵ノ關稅ヲ引上ゲル場合ニハ、印度カラノ報復關稅ヲ受ケル虞ハナイカ、ソレカラ滿洲ノ鐵ニ付テ特惠的ノ取

扱ヲスルコトハ、更ニ印度方面カラノ報復ヲ受ケルト云フ議論ガアルデハナイカ、此點ニ付テノ外務當局ノ意見ヲ聽キタイ、斯ウ云フ御趣意デアッタト承知イタシテ居リマス、此印度ノ報復云々ノ問題ハ、實ハ數年前ニ大正十五年ノ關稅改正ノ當時ニサウ云フ意見ヲ強ク伺ッタノデアリマス、併シ今日ト致シマシテハ、其當時トハ大分色々ナ情勢モ變テ居リマスルシ、殊ニ又印度ソノモノニ於ケル關稅ニ付テノ情勢ガ大分變化ヲ來シテ居ルト私共ハ見テ居ルノデアリマス、大正十五年ノ當時ハ孟買ノ綿業者ノ引上運動ガ極メテ旺盛デアリマシテ、綿業者以外ノ色々ナ勢力ハ餘リ其引上運動ニハ贊成イタシテ居リマセヌ、從テ日本側ニ於テ鉄鐵ノ引上ヲ所謂遠慮イタシマスレバ、印度ノ我が綿布及ビ綿絲ニ對スル關稅ノ引上ヲ阻止スルコトニ極メテ有力デアッタノデアリマス、併シ今日ハ印度ノ狀態ガ其當時トハ大分變テ居リマシテ、御承知ノ通り印度ノ所謂自治運動ガ、其後年ト共ニ勢力ヲ得マシテ、英吉利ノ本國ト致シマシテ、寧ロ其自治運動ヲ利用シテ、所謂「マンチエスター」ノ綿業ノ保護ヲ圖ラウト云フ機運ニナッタヤウデアリマス、其理由カラシテ、其後既ニ過去二回バカリ、一度ハ綿絲ニ付キ、

其後ハ綿布ニ關聯シテ、印度ノ關稅引上トナッタノデアリマス、昨今ノ情勢ヲ私共が見テ居リマスル所ハ、從來此印度デ英本國ニ對シテ特惠ヲ與ヘルト云フコトニ反對イタシテ居リマシタ印度ノ國民黨其他ノ政治團體デモ、少シク此頃様子ガ變リマシテ、英本國ガ自治運動ヲ贊成シテ吳レルナラバ、ソレノ代償ト致シマシテ、特惠ヲ認メテモ宜イ、言換ヘレバ印度ノ關稅ヲ差別的ニ引上ゲテモ宜イト云フヤウナ底意ガアルノデハナイカト推セラレル事情ガ澤山アリマス、從テ今日トナリマシテハ、單ニ孟買ノ綿業者ノ運動デナクシテ、一種ノ自治運動ニ伴フ所ノ政治問題トナッテ居リマス此際デアリマスルカラ、日本側デ鉄鐵關稅ノ引上ヲ遠慮イタシマシテモ、果シテ印度ニ於ケル關稅ノ引上ヲ阻止スルコトガ、其遠慮ダケデ出來ルト云フ自信モアリマセヌ、又遠慮ダケデ其引上ヲ阻止スルコトガ可能デアルトハ申サレナイト思フノデアリマス、然ラバ此所謂印度ニ於ケル特惠ヲ如何ニシテ阻止スルカト云フコトハ、是ハ別ニ對策ヲ講ズル必要ガアルト思フノデアリマス、目下其點ニ付テハ研究中デアリマス、滿洲ノ鐵ニ付テ特惠的ノ取扱ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、是ハ幾ラカ印度自身ニ於ル、英本國ノ品

物ニ付テノ特惠運動ノ口實ニハ或ハナルカモ知レマセヌ、併ナガラ此點ニ付キマシテハ、既ニ拓務當局ヨリモ御説明ガアリマシタシ、又先程大藏大臣モ御話ニナリマシタコトデアリマスルシ、私カラ特ニソレト違タ意見ヲ申上ゲル必要モナイト思ヒマスルシ、又違タ意見モナイノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○森平兵衛君 只今外務當局カラノ御答辯ニ依リマス、既ニ印度ニ於テモ自國ノ自治ヲ認メルコトガ出來レバ、特惠關稅案ヲ承認シテモ宜イト云フ空氣ガ、既ニ國內ニ漲ッテ居ルト云フコトニ私ハ了解出來ルノデアリマス、サウ云フ際デアッテモ此鐵關稅ノ引上ハヤッテモ、ソレ程ニハ效力ガ無カラウ、斯ウ云フコトヲ遠慮シテモ矢張り特惠關稅ヲヤラレルモノナラバ、ヤラレルカモ分ヲヌ、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ承リマシタガ、我共ハ大變ソレヲ杞憂スルノデアリマス、此綿絲綿布ト申シマスレバ、殆ド生絲ニ次イデノ我國ニ於ケル重要產業デアリマシテハ製鐵事業ト並行シテ重大ナル產業ト申シテモ宜イノデアリマス、此印度ノ關稅ガ引上ゲラレルト云フコトニ付テハ、成ルベクサウ云フコトヲ阻止スル意味ニ於テ、東京ニ於テハ日印協會トカ或ハ又

大阪ニ於テハ日印經濟協會トカ、有ラユル方法ヲ講ジテ他ノ國民ノ感情ヲ害セナクシテ精々諒解ヲ得ルヤウニ非常ナ努力ヲ拂ヒ、又政府ニ於テモ、之ニ付テモ少カラヌ

御考慮ヲ拂ッテ居ラレルノデアリマス、然ルニ今回此鐵關稅ノコトハ既ニ昨日來カラモ

論ジラレテ居リマス通り、相當是ハ重大ナ問題デアリマスガ、段々輸入モ減ッテ參リマ

シテ只今デハ昨年デハ十五萬噸、本年ハドノ位ニナルカ存ジマセヌガ、昨年ヨリハ是

モ減ルドラウト考ヘラレルノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ於テ、若シモ既ニサ

ウ云フ空氣ガ漲ッテ居ルト云フ場合ニ於テ、之ヲ引上ゲルト云フコトニナレバ、矢張り

印度ニ於ケル綿絲布ノ關稅特別委員會ニ於テ、近ク是ガ開カレルサウデアリマスガ、是

ハ外務省ニ於テモ既ニ御調査ノコトデアリマスガ、之ニ付テ必ズ特惠關稅ト云フモノガ主張

セラレテ通過スルト云フコトニ油ヲ掛ケテ居ルヤウナ形ニナリハセヌカ、斯ウ考ヘルノ

デアリマスカラ、私ハ是ハ全體ノ政府トシテ御同意ニナッタモノデアラウト思ヒマス

ルガ、外務當局トシテハ、餘程是ハ深甚ナ御考慮ヲ拂ッテ、此特惠關稅ハ獨リ綿絲布ノ

ミデナイ、他ノモノニ迄矢張り是ガ及ボシテ參リマスレバ、日本ノ輸出ノ上ニ於テ非

常ナル打撃ヲ蒙リハセヌカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、モウ一應其點ニ付テ御答ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(武富敏彦君) 御意見ノ次第ハ、能ク御趣旨ノアル所モ了承イタシマシ

タガ、只今御説明申上ゲマシタヤウニ、徒ラニ遠慮ヲ致シマシテモ、其效果ガ果シ

テアルカドウカ、極メテ疑ノアル今日ノ情勢トナッテ居リマス、報復ガアルト云フコト

ヲ以テ之ニ反對スルコトハ出來ナイト私共ハ考ヘテ居リマス、殊ニ英吉利ト日本トノ

條約關係、印度ト日本トノ條約關係カラ申シマシテモ、印度ガ英本國ノ品物ニ特惠ヲ

與ヘルト云フコトハ、少シク穩當ヲ缺イテ居ルノミナラズ、議論ノ立テ方ニ依リマシ

テハ、條約ニ違反スルト云フコトモ考ヘ得ラレルノデアリマス、サウ云フ點カラシテ

モ、何トカ印度ノ特惠關稅ニ付テハ對策ノ餘地ガアルデアラウト私共ハ考ヘテ居リマ

ス、印度ノ特惠ヲ行ハウトスルト云フコトニ對シマシテハ、十分色ミナ點カラ考究イ

タシマシテ、出來得ル限り之ヲ阻止シタイト云フコトデ、目下考究中デアリマス、左

様御承知ヲ願ヒマス

○森平兵衛君 政府ニ於テモ御心配ニナッテ居マスルコトハ、我々ハ諒トシテ居ルノ

デアリマスガ、只今ノ御話デハ、條約上ニ於テ特惠關稅ガ若モ成立スルヤウナコトデアレバ、相當ナ法規上ニ於テ抗議ガ申込マ

レルト云フコトニハナッテ居ルト了解シテ宜イノデゴザイマセウカ

○政府委員(武富敏彦君) 御意見通りデアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 段々ト御質問應答ヲ重ネマシタノデゴザイマスガ、本案

ハ國民經濟ニ重大ナル關係ノアル案デアリマスカラ、定メシマダ御質問モ澤山殘ッテ居

ルコトガラウトハ存ジマスガ、一面ニ於テハ會期ハ明日一日ニナッテ居リマス、而シテ

衆議院ニ於テハ全員一致ヲ以テ可決シタル所ノ案デゴザイマスカラ、是ニ對シテモ相

當ノ敬意ヲ拂ハナケレバナラスト考ヘテ居リマス、斯ノ如キ次第デアリマスカラ、過

日來ノ御質問モマダ不十分ノ點ガアルカモ知レマセヌケレドモ、一應是デ質問ヲ打切

リマシテ、明日午前十時ヨリ更ニ委員會ヲ開會イタシマシテ、尙ホ殘リマシタ質問ハ

其時ニ質問シ得ルコトト致シマシテ、今日ハ一應關稅兩案ノ御質問ヲ打切ッタコトト

御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス、如何デスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ左様

ニ決シマシタ、今日ハ是デ散會イタシマス
午後四時三十三分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君

副委員長 男爵斯波忠三郎君

委員 公爵一條 實孝君

侯爵德川 義親君

子爵井上匡四郎君

子爵片桐 貞央君

大塚勝太郎君

森 賢吾君

男爵赤松 範一君

男爵松岡 均平君

內藤 久寬君

稻畑勝太郎君

森 平兵衛君

大川平三郎君

田村 新吉君

藤原銀次郎君

菅澤 重雄君

北村宗四郎君

委員外議員 子爵大河内輝耕君

國務大臣 大藏大臣 高橋 是清君

陸軍大臣 荒木 貞夫君
農林大臣 後藤 文夫君
政府委員

外務省通商局長 武富 敏彦君

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省主計局長 藤井 真信君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

大藏書記官 賀屋 興宣君

陸軍政務次官 子爵土岐 章君

農林參與官 松村 謙三君

農林省農務局長 小平 權一君

農林省水產局長 戶田 保忠君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

農林書記官 井野 碩哉君

商工政務次官 岩切 重雄君

商工參與官 松村 光三君

商工省工務局長 竹內 可吉君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工省貿易局長 寺尾 進君

製鐵所長官 中井 勵作君

拓務政務次官 堤 康次郎君

拓務省拓務局長 郡山 智君

關東廳財務局長 西山 左內君

南洋廳長官 男爵松田 正之君

說明員

製鐵所技監 野田 鶴雄君

昭和七年六月十四日印刷

昭和七年六月十五日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局